



田貫湖 (富士宮市)

65周年記念誌

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

目次

序文	1
一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会会長	伊藤 喜章
祝辞	2
静岡県知事	川勝 平太
一般社団法人静岡県医師会会長	紀平 幸一
一般社団法人日本臨床衛生検査技師会会長	宮島 喜文
一般社団法人臨床衛生検査技師会中部圏支部長	山本 幸治
創立65周年記念式典	6
静岡県臨床衛生検査技師会のあゆみ	10
1. 歴代会長の紹介と挨拶	10
歴代会長の紹介（初代～第15代）	
挨拶	第10代会長 高木 義弘
	第11代会長 泉 正和
	第12代会長 横地 常広
	第13代会長 三宅 和秀
	第14代会長 山口 浩司
2. 創立50周年以降の主な活動記録	16
各部局の活動について	
	組織調査部長 須田 達也
	学術部長 清水 憲雄
	渉外広報部長 大石 和伸

平成15年4月以降の静臨技における活動・イベント
創立60周年記念及び一般社団法人への移行式典
中部圏医学検査学会（平成15年、21年、27年）
静岡県医学検査学会（第1回から第7回）
学術部門研修会等の活動記録
精度管理調査事業
特別寄稿 「ニューリーダー研修受講者より」

静岡県立総合病院 平松 直樹
磐田市立総合病院 大井 直樹
三島総合病院 大橋 勝春

3. 表 彰	69
叙勲受章者	
厚生労働大臣賞受章者	
県知事表彰受章者	
医療功労賞受章者等	
日臨技関連表彰受章者	
中部圏関連表彰受章者	
静臨技関連表彰受章者	
4. 静岡県臨床衛生検査技師会資料	75
歴代役員一覧	
組織図	
特集「第67回日本医学検査学会IN浜松」	77
編集後記	108



静岡県臨床衛生検査技師会 創立65周年記念誌刊行のご挨拶

一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会

会長 伊藤喜章

この度、静岡県臨床衛生検査技師会創立65周年記念事業の一環としてこの「創立65周年記念誌」を刊行いたします。前回は50周年記念誌でしたので、15年分の技師会記憶を埋めることが出来ましたら賢明と考えております。

草創期は「志を同じくする仲間が集まり勉強会や親睦を深め合おう」の呼びかけがされ、ごく少数の何も無い出発であったと伺っています。この当時の若い技術者たちの熱いエネルギーと多大な苦勞によって、着実に技術者会設立に向けた動きとなっていき、昭和27年10月に50余名によって「静岡県衛生検査技術者会」が誕生し、以来65年の歳月が経過しました。

会の発足時は、事務所も初代会長の野口政輝先生（静岡県衛生研究所長）の研究所内に設置させていただき、活動を開始されたと伺っております。それ以後、歴代会長はじめ役員の方々の努力、会員諸氏の温かいご支援並びに関係諸団体各位の多大なご指導ご協力により大きく発展し念願の事務所を設けることが叶いました。

今日の記念日を迎える事が出来たのは、多くの関係者の皆様のご尽力の賜物であり、心から感謝申し上げます。この65年の間には先輩たちの時代には想像のできなかったほど臨床検査界は進歩し、新しい分析理論に基づいた技術が開発され検査試薬や分析装置を飛躍的に進歩させ、人類の疾患発見や疾病予防に多大な貢献がなされています。そして時代は遺伝子であり、医療のAIと次のステージに突入しています。

平成4年3月には先輩たちのご努力により念願の社団法人としての認可を受け、平成12年5月には事務所を現在の静岡市稲川に移し、平成25年6月には現在の「一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会」が発足しさらに会の機能を充実し、法人として県民の健康と福祉の貢献を目指し努力を続けています。

技師会活動近況としては、数年前から静岡県医学検査学会（県学会）を復活させ、各種の研修会・勉強会の開催、かつ各支部における健康展の実施、そして日本医学検査学会の静岡県開催が37年ぶりに実現と、慌ただしい数年を過ごしてきました。そして忘れてはいけないのは精度管理事業であり、県の医師会と静岡県とのコラボレーションとして第33回を数えるに到り、県内の臨床検査精度に大きく貢献して参りました。そのような中、事務局長等の理事職を10年経験した自分が縁あって現第15代会長を任され、このような記念誌のご挨拶をさせて頂き、身に余る思いでございます。

最後に、本書の編集にご尽力を賜りました諸先輩をはじめ多くの方々に心より感謝を申し上げますとともに、この記念誌がこれからの「一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会」への道しるべとして永く活用されることを祈念し、刊行の喜びの言葉とさせていただきます。



一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会 創立65周年記念誌祝辞

静岡県知事

川 勝 平 太

一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会が、創立65周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、昭和27年の創立以来、平成4年の法人化、平成25年の一般社団法人化と組織体制の基盤強化を図りながら、一貫して、臨床検査及び衛生検査に関する知識の普及や技術の向上などに努められ、公衆衛生の向上と県民の健康保持増進に寄与してこられました。創立に関わられた方、歴代の会長、役員、並びに会員の皆様の長年の御尽力とたゆまぬ御努力に対し、深く敬意を表します。

臨床検査は、適切な診断・治療を行うために必要な客観的データを、正確かつ迅速に、医療現場に提供することが目的であり、まさに医療の根幹をなすものであります。近年、医療の高度化・専門化やチーム医療の普及に伴い、臨床検査技師の担う業務が拡大するとともに、検査内容も高度化・複雑化しております。また、検査データの二次利用や、検査手法の国際規格への対応も求められており、医療現場を支える、高度な専門性を有する臨床検査技師の重要性は、ますます高まっております。

このように臨床検査を取り巻く環境が変化する中、貴会におかれましては、県内の各検査施設の検査水準の向上や精度の標準化を図るため、日々臨床検査の精度管理に取り組まれております。本県医療の質の向上に多大な貢献を頂いておりますことに、改めて厚くお礼申し上げます。

本県は、「富国有徳の『美しい“ふじのくに”』づくり」を県政の基本理念として掲げ、誰もが努力をすれば人生の夢を実現し、幸せを実感できる「ドリームズ カム トゥルー イン ジャパン Dreams come true in Japan」の拠点を目指して魅力ある地域づくりに取り組んでおります。「県民幸福度」の最大化に向け、「生まれてよし 老いてよし」、「生んでよし 育ててよし」の日本の理想郷を築くべく、県民総ぐるみの健康づくりや、科学的知見に基づく健康施策を展開し、健康寿命の更なる延伸を図ってまいります。

県民の幸福を増進するためには、誰もが生涯を通じて安心して暮らせる医療・福祉の充実を図り、一人ひとりのライフステージに応じて、健やかに自分らしく暮らせる社会を構築することが必要です。精度の高い臨床検査は、県民が望む安心・安全な医療の前提となるものでありますことから、貴会におかれましては、今後とも検査技術向上の研鑽に努められ、県民の健康寿命の延伸に向けて、より一層のお力添えを賜いますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会のますますの御発展と会員の皆様の御活躍を心から祈念して、お祝いの言葉といたします。



静岡県臨床衛生検査技師会 創立65周年に寄せて

一般社団法人静岡県医師会
会 長 紀 平 幸 一

静岡県臨床衛生検査技師会が創立されてから、本年で65周年を迎えられましたことに、静岡県医師会を代表して心よりお慶び申し上げます。

静岡県臨床衛生検査技師会は、臨床検査技師および衛生検査技師の技術・学術の向上を図り、その職能を通じて静岡県民の健康増進及び公衆衛生の向上に寄与する活動を推進し、65年間にわたるその実績は高く評価されているところです。伊藤会長をはじめ、これまでの役員及び会員の皆さまのご尽力に深甚なる敬意を表するものであります。

また、本年で35回目となる静岡県臨床検査精度管理調査においては、静岡県における臨床検査の施設間較差の是正等、精度向上のためにご尽力をいただいておりますことに、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

医師が日常診療を行う上で、臨床検査の情報なしに、患者さんの状態の把握や治療効果の判定を行うことは不可能です。近年の医学・医療の目覚ましい発展に伴い、臨床検査の重要性は益々高まって参ります。精度の高い検査結果は、正確な診断の根拠となり、臨床医は自信をもって患者さんと向き合うことができます。国民の健康を守り、また医療に対する信頼を維持していくためにも、今後ますます検査技術と知識の習得に努められ、より良質な医療の向上に寄与されますようご期待申し上げます。

我が国は、既に、世界に類を見ない超高齢社会を迎えています。2025年問題への対応により、地域の医療提供体制が大きく変化することが予想され、日常業務で信頼できる質の高い医療・介護を提供するには、医療チームの一員として多職種が連携することが必須となります。

静岡県医師会といたしましても、現在、本会の最重点事業として実施している、本県の在宅医療体制の充実に向けた取り組みの中で、臨床検査技師ならびに衛生検査技師の皆様におかれましても、積極的なチーム医療への参画を期待しております。また、現在各地域において構築が進む、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムにつきましても、データヘルス事業における県民の疾病予防、健康維持増進といった観点から、貴会及び会員皆様のなお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

医療の世界は日進月歩であります。皆様方におかれましては、日々学術・技術の研鑽努力を重ねられ、地域医療への貢献を通じて、静岡県臨床衛生検査技師会がますます発展されますことを心より祈念申し上げ、創立65周年記念誌発刊にあたっての祝辞とさせていただきます。



創立65周年記念誌発刊に寄せて

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
代表理事会長 宮 島 喜 文

この度、貴会が創立65周年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。

昭和期から今日に至る長き道程の中で、法人団体としての組織運営基盤を整備し、社会的に認知度を広め、臨床検査技師の制度・身分の確保及び学術の振興・技術の研鑽にご尽力いただいた先輩諸氏の皆様のご労苦に敬意を表します。

また、貴会は静岡県における臨床検査技師の唯一の学術・職能団体として、1,700名を越す会員を擁し、各種の学術研修会を始め、支部医学検査学会や平成30年には第67回日本医学検査学会を担当されるなど、日頃から会員の資質向上に努めて来られました。さらに、行政機関や医療団体等と緊密な連携の下に精度管理調査事業や「がん予防フォーラム」並びに「健康と検査展」など公益事業に積極的に取り組み、多くの実績と成果を挙げられました。このように日本臨床衛生検査技師会の各種事業と常に緊密な連携を図り、積極的に技師会活動を展開する中で、多くの優秀な人材を輩出し、当会の役員として重責を担って頂いております。

さて、我が国の急速に進む超少子・高齢化時代において、医療・介護の重要性は益々高く、国はその需要を担うためにチーム医療を推進する方向が示されています。

平成17年には臨床検査技師等に関する法律（以下、臨技法と略す）が改正され、臨床検査技師の業務も「医師の指導監督の下」から「医師の具体的な指示の下」となりました。業務遂行においての自立性が確保された一方、責任も重くなっています。さらに、平成26年には臨床検査技師等に関する法律が一部改正され、新たに検体採取業務が追加されました。このことにより、病院など診療機関においては、検査説明から検体採取、検査の実施、報告書の作成、検査結果の報告まで一貫した検査業務が臨床検査技師の職務となっています。

そして勤務場所も検査室だけでなく、病棟や外来、さらには在宅など診療現場での活動が臨床検査の品質向上とチーム医療推進の観点から求められており、貴会における会員の皆様への一層の普及啓発や技術支援に期待しております。

更に、ゲノム医療が進む中、臨床検査分野においては遺伝子パネル検査の重要性が高まっています。そのような中、平成29年6月には医療機関・検査機関における検体検査の精度管理基準が医療法や臨床検査技師等に関する法律改正が行われ、診療施設における検体検査の位置づけを明確に規定することが出来ました。

日本臨床衛生検査技師会においては、更に教育研修を充実し、広く社会で認められ活躍できる臨床検査技師の輩出に努めるとともに、臨床検査の普及や臨床検査技師の身分・待遇の向上を目指す法制度・政策実現に向けて取り組んで参ります。今後とも貴会をはじめとして7万人会員を目指し、都道府県臨床検査技師会と共に事業を展開して参りますので、一層のご支援ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

貴会がさらに地域社会に貢献され、医療団体として益々発展されますと共に、会員の皆様のさらなるご活躍を祈念いたします。



一般社団法人静岡県臨床検査技師会 創立65周年記念にあたって

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
中部圏支部長 山本幸治

静岡県臨床衛生検査技師会が、創立65周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。昭和60年には社団法人静岡県臨床検査技師会として法人化され、今日まで65年の歴史を築き上げられてこられたことをお喜び申し上げます。発足当時は数百人であった会員が、今や1,700名を超える数となり中部圏支部では愛知県に次ぎ大所帯の組織となりました。この間、永きにわたり臨床検査業務に取り組み、県民の健康の維持・増進に貢献されましたことを、心から感謝申し上げます。その功績には、これまで静岡県臨床衛生検査技師会を支えてこられました現伊藤会長をはじめ歴代の会長と会員の皆様、そして関係者皆様の並々ならぬご尽力の賜物と深く敬意を表すものであります。

近年、医療を取り巻く環境は、超少子超高齢社会問題で、大きな影響を与えております。そこで、平成24年度に日臨技宮島会長（現参議院議員）が就任以来、「日臨技を新生させ、臨床検査技師の未来を拓く」をスローガンに法制度の改正や各種事業が取り込まれました。チーム医療への参画、検査説明・相談、検体採取、病棟業務、認知症、在宅医療への参画が望まれております。今後は、先進的な業務進出を行うことが、いま以上に社会で認知され貢献できると思います。各県とも試行錯誤して取り組んでおりますが、なかでも静岡県は積極的に病棟業務などに進出され模範となっております。

昨年は、『医療法等の一部を改正する法律』が改定され、医療機関、登録衛生検査所等で実施される、検体検査の精度の確保の基盤が構築されました。検体検査の精度の確保に関する事項で、病院、診療所又は助産所の管理者は、当該病院等において、臨床検査技師等に関する法律で、検体検査の業務を行う施設の構造設備、管理組織、精度の確保の方法やその他の事項を、検体検査業務の適正な実施に必要なものとして厚生労働省令で定める基準に適合させなければいけません。中部圏支部としましてもその内容を速やかに把握し実施する体制の構築が必要であり、会員一同が理解し行動することが必要であります。

我々の団体は、学術団体でもあり職能団体でもあります。貴会におかれましては、この両方での活躍と実績には素晴らしいものがあります。学術に関しては、2018年5月12日、13日に開催されました、第67回日本医学検査学会の開催で、会員が4,000名以上参加され大盛會裏に終了され学術的貢献は多大なる実績となりました。また、2015年度には、第54回中部圏支部医学検査学会、さらに、毎年県学会も開催され学生教育、会員の研究の発表の場、学術向上など沢山の企画と実績を残されております。また、職能に関して、2013年度に健康展（検査のみみつ展）を開催され、学生、一般市民にむけて臨床検査を知っていただく内容で大盛會裏に終了されて、全国的にも大変注目された内容でありました。これは、のちに日臨技開催の『検査と健康展』の先駆けであり貢献度は偉大なるものであります。そのほか県内の東部・中部・西部地区でも健康展が開催されており、県内医療機器販売会社と地域社会が活動をするメディメッセの医療展（参加者7,000名）にも参画して社会への貢献度は多大なるものであります。

2019年には、平成が終わり新たな時代が始まります。2025年問題、さらに第4次産業革命として2030年代以降の『人工知能・ロボット』の進化、産業への進出は脅威であり、臨床検査業界にも革命がおこると思われまふ。我々、臨床検査技師もどう対応してその時代を生き抜くかの戦略を考えなければなりません。まずはゲノム医療の実施、さらには病棟業務、在宅医療への参画と思われまふ。静岡県臨床衛生検査技師会様としましても今まで以上に先進的な戦略などを全国に発信していただくことを切望し、さらに、学術・職能などで社会的貢献をお願い申し上げます。今後も、静岡県臨床衛生検査技師会のご活動が臨床検査技術に対して一層の発展に貢献され、質の高い医療提供体制に繋がるようにご期待するところでありまふ。

最後に、静岡県臨床衛生検査技師会様が今後益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を心からご祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 創立65周年記念式典・祝賀会 式次第



日時：平成30年6月2日 会場：中島屋グランドホテル（静岡市）

記念式典

(敬称略)

開会の辞	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	副会長	清水 憲 雄
会長式辞	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	会長	山口 浩 司
来賓祝辞	静岡県健康福祉部	部長	池田 和 久
	一般社団法人静岡県医師会	会長	篠原 彰
	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	副会長	横地 常 広
来賓紹介	一般社団法人日本衛生検査所協会	常務理事・中部支部支部長	横山 強
	公益社団法人愛知県臨床検査技師会	会長	梶山 広 美
	一般社団法人岐阜県臨床検査技師会	会長	兼子 徹
	一般社団法人三重県臨床検査技師会	副会長	森本 誠
	一般社団法人石川県臨床衛生検査技師会	会長	田中 佳
	一般社団法人富山県臨床検査技師会	会長	南部 重 一
	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	名誉会員	泉 正 和
表 彰	静岡県	県知事表彰	豊田 次 郎
	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	名誉会員表彰	泉 正 和
	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	会長賞	三宅 和 秀
			藺田 明 広
			市川 千津子
	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	功労賞	杉澤 きよ美
			栗田 昭
	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	特別賞	山口 浩 司
	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	賛助会員感謝状贈呈	協和医科器械株式会社
			アルフレッサ株式会社
祝電披露	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	常務理事	都 築 農夫志
閉会の辞	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	理事	山田 哲 司

記念講演

『多様なニーズに対応できる臨床検査技師のあり方』

講師 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 副会長 横地 常 広

祝賀会

(敬称略)

開会の辞	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	副会長	菌田明広
会長挨拶	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	会長	山口浩司
来賓祝辞	一般社団法人日本衛生検査所協会	常務理事・中部支部支部長	横山強
	協和医科器械株式会社	社長	柴田英治
	アルフレッサ株式会社	メディカル営業本部試薬機器神奈川・東海営業部部長	桐山敏郎
乾杯	公益社団法人愛知県臨床検査技師会	会長	梶山広美
賛助会員紹介	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	事務局長	伊藤喜章
祝宴			
閉会の辞	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	副会長	杉澤きよ美

一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会賛助会員感謝状受賞会社

(順不同)

協和医科器械株式会社	アルフレッサ株式会社
アボットジャパン株式会社	積水メディカル株式会社
中北薬品株式会社	シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
富士フィルム和光純薬工業株式会社	アークレイマーケティング株式会社
株式会社アイディエス	ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
シスメックス株式会社	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社
株式会社シノテスト	バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社
日本電子株式会社	株式会社日立ハイテクノロジーズ
富士レビオ株式会社	ベックマンコールター株式会社
日本光電南関東株式会社	アーリア・メディカル株式会社
株式会社イムコア	栄研化学株式会社
株式会社エスアールエル	株式会社カイノス
デンカ生研株式会社	日水製薬株式会社
ニットボーメディカル株式会社	株式会社LSIメディエンス

以上 記念式典・祝賀会に参加いただいた賛助会員

アルフレッサファーマ株式会社	キヤノンメディカルシステムズ株式会社
極東製薬工業株式会社	株式会社ファルコバイオシステムズ
株式会社八神製作所	以上 記念式典に参加いただいた賛助会員

株式会社医学生物学研究所	株式会社エイアンドティー
関東化学株式会社	協和メディックス株式会社
小林クリエイト株式会社	株式会社三和化学研究所
株式会社スズケン	チェスト株式会社
株式会社テクノメディカ	テルモ株式会社
東ソー株式会社	東洋紡株式会社
株式会社ビー・エム・エル	株式会社日立製作所ヘルスケア
フクダ電子神奈川販売株式会社	松浪硝子工業株式会社
株式会社ミズホメディ	ラジオメーター株式会社

一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会 創立65周年記念式典の様子



会長式辞

来賓のご挨拶



池田様



篠原様



横地様

表彰



県知事表彰 豊田様



会長賞 三宅様、園田様、市川様

表彰



功労賞 杉澤様



感謝状贈呈



日臨技横地副会長による記念講演



静岡県臨床衛生検査技師会のあゆみ

1 歴代会長の紹介と挨拶

初代会長	野口政輝	昭和28年度～昭和35年度
第2代会長	石川徳市	昭和36年度～昭和42年度
第3代会長	小林芳治郎	昭和43年度～昭和50年度
第4代会長	栗原勇一	昭和51年度～昭和57年度
第5代会長	岡山虎男	昭和58年度～平成3年度
第6代会長	宇佐美元章	平成4年度～平成5年度
第7代会長	福田文男	平成6年度～平成7年度
第8代会長	川越功	平成8年度～平成9年度
第9代会長	柴崎光三	平成10年度～平成15年度
第10代会長	高木義弘	平成16年度～平成17年度
第11代会長	泉正和	平成18年度～平成21年度
第12代会長	横地常広	平成22年度～平成25年度
第13代会長	三宅和秀	平成26年度～平成27年度
第14代会長	山口浩司	平成28年度～平成29年度
第15代会長	伊藤喜章	平成30年度～

静岡県臨床衛生検査技師会の 創立65周年記念誌の発刊に寄せて

第10代会長 高木 義弘



静岡県臨床衛生検査技師会の創立65周年記念誌の発刊にあたり、一言お祝いを申し上げます。

65年の年月を振り返ると、あらゆる業種職種がコンピューターの発展や機械化によって、めざましい変化を遂げています。臨床検査の分野においても、私が検査技師になった頃は、試験管、ピペット、分光光度計、メランジュール、自家製の細菌培地等々、いわゆる、マニュアル中心の検査室でした。検査データの値も個々の施設だけでなく、教本や一般の健康本に掲載されている正常値、異常値（今の基準範囲、臨床判断値に近いもの）も違っていました。

個々の施設の精度を把握改善し、検査データの施設間差是正を最終目標に、1984年（昭和59年）11月各施設の精度を調査すべく始まったのが、現在も続けられている静岡県精度管理調査です。全県の施設を網羅した精度管理調査とその報告会の実施は、全国初と言っても過言ではありません。開始当初は、各施設の内部精度管理調査でした。まだまだ内部精度管理が定着していない時代で1日2濃度2回5日間の測定データを評価しながら、様々な調査と活動をしていました。その後、検査機器の進歩、試薬のキット化、検査法の標準化が進み、今や施設内精度管理と施設間精度管理が同じレベルに達しているのをみると驚嘆の限りです。

検体検査がそのような改善改良が進む中、診療報酬の影響も含めて生理検査や採血業務など、より臨床現場に近い検査業務への関わりが要望され、多くの施設が現在の体制となっているのではないのでしょうか。更にこれから、検査法の進歩やAIの導入で、今までとは違った臨床検査室が構築されるかもしれません。

技術の進歩によって生まれてくるものがあれば消えるものもあります。昔はほとんどの路線バスには、運転手と車掌が乗務していました。若い人は知らないと思いますが、車掌は乗車賃の徴収や行き先の案内放送、運転手の補助などをしていました。しかし、現在は運転手が全てを担っています。さらに、ドローンを使った宅配便や2020年東京（とうきょう）オリンピックの時にはAIとセンサーを使った無人タクシーが計画されており、運転手もいなくなる時代となりそうです。

23世紀の宇宙を舞台にした昔のSFテレビドラマ「スタートレック」でみたことですが、病人の診察に小形のモニターのようなものを近づけて診断していました。今風に見ればCTやMRIの簡易版のようなもので、採血や心電図検査もなく全ての病状を診察していたと思います。今は検査者の技術に委ねられる点が多いエコー検査も、プローブが勝手に検索したりプローブそのものが存在しない時代が来るかもしれません。今や遺伝子検査も一滴の血液で、かつPOCTで出来ます。爪や表在の毛細血管をスキャンするだけで検査が出来れば、患者負担の大きい採血もなくなるかもしれません。

臨床検査の精度管理も機器メーカーや試薬メーカーの企業努力によって成し得ている点も多く、POCT検査も項目を増やしつつ定着してきています。検査相談もインターネットを使えば簡単に情報が得られます。これからの臨床検査を憂うとともに、新たな臨床検査が静岡技会員諸氏から創造され、コ・メディカルスタッフとしてではなくメディカルスタッフとして活躍され、70周年80周年と迎えらるることを期待いたします。

創立65周年記念誌の発刊によせて

第11代会長 泉 正 和



この度、(一社)静岡県臨床衛生検査技師会が創立65周年を迎え、記念事業の一環として記念誌が発刊されますことを心よりお祝い申し上げます。また、この記念誌発刊にご尽力された関係者の皆様に深く敬意を表します。

温故知新(ふるきをたずぬえて新しきを知る)という言葉がありますが、創立65周年を迎えるにあたり今一度技師会の歴史を振り返ってみたいと思います。

静岡県臨床衛生検査技師会史を紐解くと、昭和24、25年頃には、多くの病院で検査は中央化されておらず、そこに働く技術者もそれほど多くなかったとあります。検査に従事していた技術者の多くは衛生研究所や保健所で仕事をしており、各施設の技術者間で相互の情報交換は多くありませんでした。そのような中、昭和26年頃より、皆が団結して「日進月歩の医療や公衆衛生などの知識と技術の向上を図り、もって医療や公衆衛生に寄与しよう」という強い声が上がりはじめたのです。この熱い思いに賛同した方々の多大なるご尽力により、翌年には衛生検査技術者会設立準備会が発足し、年明けの昭和28年1月に静岡県衛生検査技術者会が設立されたのでした。1年余りで会を設立させたことから、先輩方の情熱は並大抵のものではなかったと推察されます。

設立当時の検査は微生物検査が主でしたが、次第に血液学、生化学や免疫・血清学検査が普及し、検査項目と件数が増加しました。多数の検査を迅速に分析するための自動分析装置が導入され、その後検査のシステム化へと発展していきました。多数検体を処理する自動分析装置の導入と共に、検査分析方法の改良や開発も行われました。一方、検査精度向上に向けた多くの取り組みがなされ、検査の精確度が格段に高まっていきました。本県では、静岡県の健康福祉部、医師会、臨床衛生検査技師会が協力して毎年実施している精度管理調査により、県内臨床検査値の標準化が進んでいます。医療現場で役立っている検査データは、たゆまぬ精度管理の取り組みの上に成り立っているのです。学術面でも、技師会役員が中心となり多岐にわたる研修会が開催され、多くの会員が熱心に参加されています。ここで得られた知識・技術は日々の業務に活かされ、医師をはじめとする医療従事者から頼りにされる検査技師へと成長し続けています。

医療機能分化などが謳われている最近の医療情勢に鑑みると、社会環境の変化により従来型の検査だけに囚われてはいけなことが推測されます。医療チームは我々に何を期待しているのか、更に進んで、我々はどのような領域で社会に貢献できるのかを協議していく必要があるでしょう。しかし、そのような中においても、医療や公衆衛生に寄与しようとした先輩たちの気概を忘れず、これからも会員諸氏が団結・協力して静岡県臨床衛生検査技師会を発展させていかれることを祈念して止みません。

創立65周年記念誌発刊に寄せて

第12代会長 横地 常広



この度、貴会が創立65周年を迎えるにあたり、心よりお祝い申し上げます。今日に至る長き道のりの中で、法人団体としての組織運営基盤を整備し、社会的な認知度を広め、臨床検査技師の制度・身分の確保及び学術の振興、技術の研鑽にご尽力いただいた諸先輩方をはじめ、皆様方のご苦勞に敬意を表します。

さて、わが国の急速に進む少子・高齢化に対し、世界に誇る「国民皆保険制度」を持続可能な制度として確保するための様々な施策が、打ち出されています。団塊の世代が75歳に達し、医療や介護の需要が増大する2025年に向けて、地域包括ケアシステムの構築など医療提供体制の改革が始まり、急性期病床が減少するなど、病院を取り巻く環境も大きく変化しようとしています。更に、わが国の人口減少を克服し、安定した経済成長で持続できる社会保障制度を堅持するために、医療分野においては創薬などのイノベーションを推奨し、IoT、人工知能（AI）、ロボットなどの開発が加速されています。このような中、平成29年6月、第193国会において、「医療法及び臨検法」の一部改正が成立し、医療機関、衛生検査所（プラントラボを含む）の検体検査について、品質・精度管理に係る基準を定めた根拠基準が新設されました。また臨検法上の検体検査6分類を、新たな検査技術に対する柔軟かつ迅速に対応できるように省令委任とし、分類に遺伝子検査を追加するなど見直しが行われました。医療機関、検査機関における臨床検査の基盤が確立し、検体検査の精度保証は、我々、臨床検査技師が担うと法律に明記されたことを意味します。法改正に伴い、平成30年12月1日の施行を踏まえて、施行に向けた整備として、平成30年7月27日に改正省令が発出され、8月10日に医政局長通知が出され、各医療機関、衛生検査所において準備が進められています。このような状況を踏まえて、検査の専門家として、国民に安心安全な質の高い医療を提供するために、各種事業を展開し、会員の資質向上や社会的立場での身分・地位向上を目指し、人材育成も含めて活動していくことが必要であります。

静岡県臨床衛生検査技師会（以下、静臨技と略。）との関わりは、平成6・7年度に福田会長の下、事務局長を務め、平成20・21年度に泉会長の下、常務理事を務めさせていただきました。その後、平成22年度から2期4年間会長に就任し、「会員の顔が見える技師会活動」をスローガンに活動させていただきました。

技師会活動はどうしても基幹病院が中心の事業展開ですが、地域医療を支える中小病院の会員が参画できる事業を目指して、県内を3支部に分けて「いつでも、どこでも同じ検査結果」をめざし、検査データの標準化を進めるための知識と技術の普及を主軸として、検査室で頻発する身近なトラブルを事例として取り上げながら、検査データの標準化事業の意義について、啓発活動を県内全域で広く展開しました。

また、平成25年度には「検査のひみつ展」を静臨技主催で、一般市民向けに「健康増進」を目的に、健康診断、検診の重要性、生活習慣病の知識と罹患に対する予防の大切さを、各種検査項目の測定原理や測定意義を解説しながら、日々の生活習慣を改善することにより「健康寿命の推進」に繋がることを説明するイベントを企画しました。その内容は多岐にわたり、尿検査では腎臓の仕組みから、尿中に糖、タンパク、血液など異常値が出てくる場合の仕組みや病気との関連、細菌検査では、感染の起因菌の培養と同定の仕組み、薬剤選択のための感受性試験と薬剤選択方法、血液検査では、顕微鏡下で細胞成分（赤血球、白血球、血小板）の形態と役割、病理検査では、がん細胞の特定方法、超音波検査では、画像描写の原理とファントムを使った模擬検査などを行い、医療における臨床検査データの重要性を唱え、同時に、臨床検査の職業紹介を通して臨床検査技師の社会的認知度の向上に向けた2日間は、延べ1,600人を超える来場者を迎えることができました。その後も静臨技事業として継承され、毎年、開催されていることに敬意を表します。特に、平成20年4月から平成26年5月までの6年間は、会員をはじめ役員の方、諸先輩方のご指導のお蔭をもちまして、無事大役を務めることができましたことに感謝申し上げます。

その後、平成26年6月より、（一社）日本臨床衛生検査技師会の専務理事（常勤役員）として、臨床検査業界に関わらせていただいております。平成28年6月からは代表理事副会長として、職能団体の代表として臨床検査技師の身分確保や業務拡大に向けて、微力ながら活動しております。医療情勢が大きく変わろうとしている現状の中で、10年後、20年後の臨床検査技師のあり方を模索しながら、全国47都道府県技師会を通じて情報発信に努めております。都道府県技師会との連携が不可欠であり、今後とも静臨技のご支援とご協力をお願いしたいと思います。

最後になりましたが、静臨技の活動を通して、更に地域医療の担い手として活躍されることを祈念申し上げます。記念誌発刊に向けたお祝いとさせていただきます。

一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会 創立65周年記念誌発刊に寄せて



第13代会長 三宅和秀

一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会創立65周年記念誌の発刊おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

諸先輩方が静岡技の発展にご尽力された後を引き継ぎ、理事の皆様並びに会員の皆様のご協力をいただき、第13代の会長として職務を全う出来ました事を、この場をお借りしてお礼申し上げます。

任期中、第54回日臨技中部圏支部医学検査学会を、一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会が担当し、平成27年9月26日(土)・27日(日)の両日、静岡市のグランシップにおいて開催いたしました。メインテーマを『守 破 離』サブテーマが「臨床検査技師の目指す道、基本と今と未来を考える」と題し「道」の教えを私たちの世界に置き換え、臨床検査技師が今こそ目指さなければいけない方向を考える学会として活発な議論をしていただきました。理事・実行委員・実務委員の皆様のご協力によって、演題数170演題、参加者973名と盛会裏に開催することが出来ました。

また、平成30年5月開催の第67回日本医学検査学会の開催地が、静岡県浜松市に決定されたことも大変うれしく感慨深いものでした。昭和56年に静岡市で開催されて以来37年ぶりの大事業になりました。私が生きている間に、もう一度静岡県で全国学会を開催していただける事を切に希望いたします。

私が臨床検査技師になった頃を振り返りますと、医療業界は診療報酬が右肩上がり、護送船団の様にのんびりと、みんなで渡れば怖くないという感じの時代だったように思います。現在は、医療を取り巻く環境が大きく変化しており、団塊の世代が75歳以上になる2025年に向けた地域包括ケアシステムの構築が進むなか、臨床検査技師を取り巻く環境も変化しています。精度保証が担保されたデータを提供することは当然ですが、検査説明・相談のできる臨床検査技師の育成、また検体採取については、法改正により厚生労働省指定講習会の受講によってライセンスが追加され、メディカルスタッフとして臨床の現場に積極的に参画できる体制が整備されてきています。

このような中、平成29年通常国会にて「医療法等の一部を改正する法律」が成立し、医療機関ならびに衛生検査所における検体検査に精度管理が新たに創設されました。また、がんゲノム医療や医療分野におけるAI技術の応用など、従来の検査業務体制からの変革が強く求められます。

今後は、病棟業務や在宅医療への進出も必要になってくるでしょう。「パラダイムシフト」という言葉を耳にしますが、その時代や分野において当然のことと考えられていた認識や思想、社会全体の価値観などが、革命的にもしくは劇的に変化することで、もう少し噛み砕いて言えば、その時代や分野において主流だった古い考え方に代わり、新しい考え方が主流になることです（「パラダイムシフト」Wikipedia：フリー百科事典より）。我々、検査技師の仕事もパラダイムシフトを迎えていると言えるでしょう。

医療に対するニーズの多様化、複雑化により臨床検査技師の職域も検査室から外来や病棟へ、病院から在宅へと、より患者の身近での検査業務が求められています。患者の視点に立った医療の提供が求められ、チーム医療の推進が加速されている現状において、臨床検査技師以外の他職種の業務を我々は知る必要があります。多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会は、他職種の業務等を学び、多職種連携のチーム医療に積極的に参画することで、医療の質の向上に貢献することを目的とし、2018年度から3年継続事業として静岡技が開催されるようです。これからの臨床検査技師には必須の内容となっていますので、多くの会員に参加していただければと思います。

最後に、一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会の益々のご発展と、会員の皆さまのご活躍を祈念して発刊のお祝いとさせていただきます。

一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会 創立65周年のお祝いと更なる発展に向けて

第14代会長 山口 浩 司



この度、一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会（以下、静臨技）が創立65周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。また、この節目を迎えることができますのも、草創期の幾多の困難を乗り越え、運営を引き継がれた歴代の会長及び役員の方々のご尽力と、会員皆様の日頃のご指導と暖かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

わたしたちが行っている臨床検査技師の仕事は、明治時代に医師の行っていた検査を技術者として手伝うところから始まり、それから現在に至るまで新たな検査技術を築きながら道を進んできました。これからの道のりは、AI（人工知能）やがんゲノムなど急速に進化する新たな医療技術を活用しながら、一方で多職種連携やチーム医療にしっかりと携わっていく、そういった時代の変化に対応していくことが重要です。

2010年代の現在、世界は第4次産業革命といわれる変化の中にあり、そこで用いられるIoT・ビッグデータ・AIやロボットで医療の現場は予測できないほどの、大きな変化がもたらされると推測されます。そのひとつに第1次から第3次産業革命までは人間の労力や人間の手を介して機械を制御していたのに対して、第4次産業革命は人間の代わりにAIが機械を自動制御するという特徴が挙げられます。AIの精確性の高さや処理能力の速さは大きなメリットであり、今後のわたしたちの業務においても積極的な活用が求められますが、その結果として検体分析や画像に関する検査は省力化や省人化が進んでいくと予測され、そういったことを踏まえて人間にしか出来ないことを実践することが必要です。例えば、分析装置の管理や検体測定は可能な限りコンピューターやAIに置き換え、検査データの解析や説明などにより医師の診断や治療に繋ぐ役割を担うことや多職種連携やチーム医療として患者さんの前に行くことが、これからの役割として求められていると考えます。

また、少子高齢化社会において経済社会を維持するためには一億総活躍社会が必要となり、そういう時代にわたしたちはどうあるべきかを考えることが大切です。100歳まで生きる時代の、皆さんの仕事人生や人生設計のなかで、自分の強みやモチベーションを活かして臨床検査技師としてどのように携わり、活躍していくかを考えていきましょう。長寿社会では長く働くことが前提になりますから、医療の進化や変化に対応した認定や資格の取得によるスキルアップが重要な要素であり強みになります。これからは、臨床検査技師としてプラスアルファのスキルを身に付け評価される、そういった堅実な資格職として常に進化し人生100年時代においても活躍し続ける職種になることを願っています。

さて、2018年5月には浜松市で静臨技が担当県として第67回日本医学検査学会を開催致しました。静岡県の前回開催は1981年でしたので37年を経た開催でしたが、静臨技理事や学術部門員、会員の皆様のご支援ご協力をはじめ日臨技関係者の方々のご指導をいただき、盛会裏に開催することが出来ました。学会の準備は、3年前の招致活動からスタートしましたので理事や役員にとって2期にわたる長きプロジェクトとなりましたが、それぞれの役割を全うし準備や運営に携わった静臨技皆様の熱い思いとエネルギーは全国の会員皆様に伝わったと思います。

結びになりますが、この65周年がこれ迄の歩みを振り返り、会員及び賛助会員、また関係団体が一丸となって今後の発展と更なる活躍を目指す新たなスタートになることを願います。

2 創立50周年以降の主な活動

各部局活動について

組織調査部

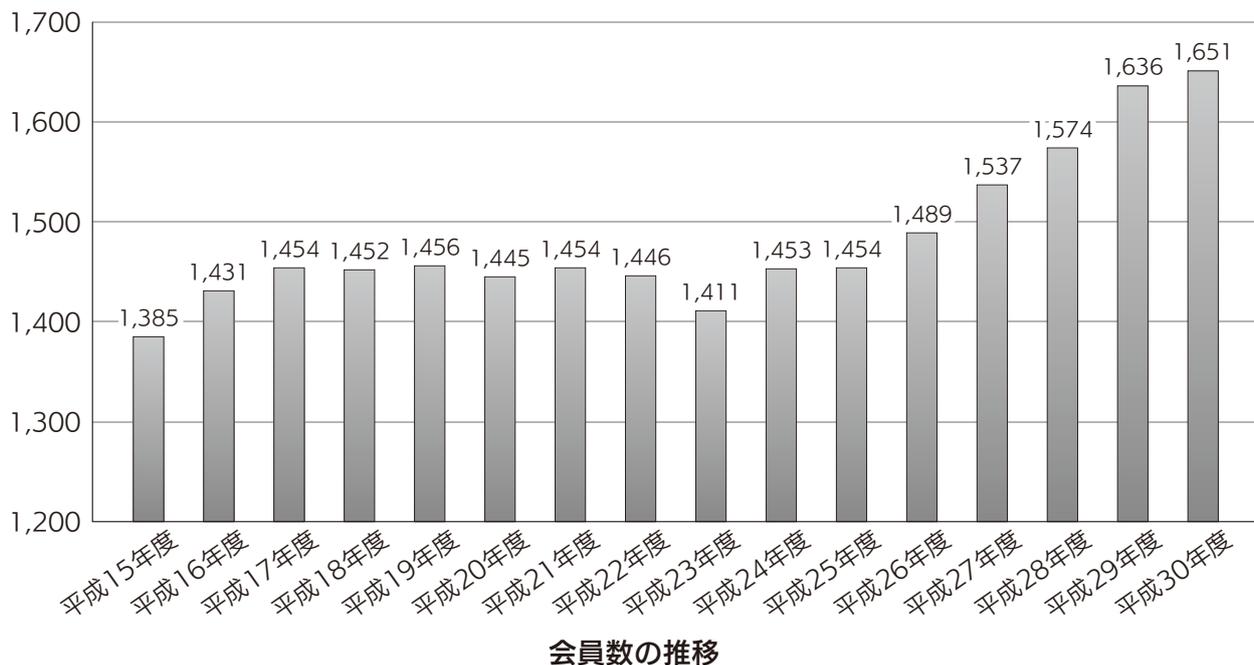


組織調査部長 須田 達也

一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会における組織調査部の役割として、会員の動向調査及び会員名簿管理、本会の推進事業及び組織強化に関することなどがあります。また、組織調査部の組織下には表彰審査委員会が設置され、表彰に関する調査等も行っています。

具体的な活動として、会員の異動調査及び確認作業から会員名簿の修正と発行を行っています。会員数は、創立50周年以降10年間は1,450名前後で横ばい状態でしたが、ここ5年間で徐々に増え、65周年を迎えて1,650名を超えました。「会員数の推移」を以下に掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。近年では、個人情報管理の問題などもあり、管理体制の強化や会員名簿発行のあり方などが課題となっており、会員数の増加は喜ばしい反面、会員名簿作成等の組織強化に繋がる作業が煩雑になりがちです。それ故、会員の皆様に関する情報は特に厳重に管理運用しなければいけないと痛感しています。

次に、推進事業として、日臨技助成事業であった臨床検査技師となって5年迄の方を対象にした「新人研修会」を、現在は「スタートアップ研修会」と名を改め本会事業として継続開催しています。日本臨床衛生検査技師会などの組織についての説明や、参加者同士が日常業務における個々の悩みなどについて状況や工夫などを披露し合い、ベテラン技師のアドバイスも参考に解決策を模索するグループワーキングと、専任講師を招いた社会人として、また技師としてのスキル向上や施設間交流に繋がる講習を行っています。研修終了時にはアンケート調査を行い、次回が更に良い研修となるよう努めています。



更に平成30年度からは、職場や当技師会の活動などでリーダーシップを発揮できる人材の育成を目標に、中堅技師を対象とした「ニューリーダー育成研修会」もスタートしています。

もう一つの活動として表彰に関わる調査があります。県などの行政機関や日本臨床衛生検査技師会などの各種団体から表彰該当者推薦の依頼が当会に届きます。その依頼に対して組織調査部から各支部長を通じて会員の皆様に協力をいただきながら調査を行い、そこから得た情報を参考に該当者を推薦しています。また、当技師会の表彰規程による名誉会員表彰・功労者表彰・学術業績者表彰・永年職務精励者表彰などの該当者も表彰審査委員会のもとで調査・推薦を行っています。

今後も会員の皆様の御理解、御協力を得ながら、調査を行い、会員の功績や貢献を表彰にて讃えられるように努めていきます。

学 術 部

学術部長 清 水 憲 雄



学術部の活動としては、参加する会員の皆様の満足度がより向上するよう研修会・講習会の開催ならびに精度管理事業、臨床検査データ標準化事業、精度保証施設認証事業の充実を図ってきました。

特に創立65周年を迎えた平成30年には、5月に「第67回日本医学検査学会」を静岡県浜松市にて開催することができ、スキルアップ研修会や学会部門企画の準備に追われるなか、学術活動の実務に貢献していただきました学術部門員、精度管理委員、静岡県標準化委員会の委員の皆様に深く感謝申し上げます。

学術部門は、平成26年度より日臨技にならって研究班から学術部門として名称を改め、現在では9部門（臨床一般、臨床血液、臨床生理、臨床微生物、輸血・細胞治療、病理・細胞、生物化学分析、染色体・遺伝子、臨床検査総合）となっており、精度管理委員、静岡県標準化委員会委員と合わせ、学術部としては、100名以上のスタッフで構成されています。

学術部門事業としては、9部門による研修会とその他の研修会等を毎年40回ほど企画、基礎的なものから最新の情報提供まで数多く開催され、各学術部門の熱意を感じるどころです。関連学会等の登録団体と連携した活動を展開している部門もあり、将来を担う人材の育成が期待されます。

平成26年度より新たに創設された臨床検査総合部門では、日臨技が推進している「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」、「認知症対応力向上講習会」、「ニューリーダー育成研修会」、「多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会」など、いわゆる専門分野以外、今後求められる臨床検査技師像を追及する分野としてますます重要性が増すものと思われまます。

精度管理事業では、静岡県臨床検査精度管理調査を静岡県医師会、静岡県健康福祉部医務課との連携により開催して、今年で第35回を迎えました。この調査は、全国的に行われる大規模精度管理調査を補完することを目的としており、特に地域サーベイの特色を生かして生試料を利用することでより実践的な調査を心掛けています。平成25年以降、日臨技の精度管理事業システム（JAMTQC）を使用して調査を行っており、より詳細な分析ならびに委員の集計作業、精度保証施設認証申請施設の負担軽減につながったと考えます。

現在までは、静岡県からの委託事業として、静岡県医師会主導のもと日臨技が協力する形で静岡県臨床検査精度管理調査が実施されてきましたが、実務はほぼ日臨技中心で行っていることから、

今後、事業主導については静臨技が望ましいのではないかとの提案もあります。引き続き事業を継続するにあたって、静岡県健康福祉部、静岡県医師会との協議が今後の課題です。

臨床検査データ標準化事業としては、日臨技が進めてきた全国規模の臨床検査データにおける基準範囲や、病態識別値の広域的な共有化実現に向け、平成19年度より基幹施設ネットワークによるデータ標準化事業を進めてきましたが、共用基準範囲の設定、精度保証施設認証制度が軌道に乗ったことから、基幹施設ネットワークは今年度をもって廃止するとの通知があり、今後、基幹施設の本来の役割を全面的に見直しすることになりました。また、静岡県内の事業では、東部地区、中西部地区にて全県を対象とした意見交換会を開催し、技師会員だけでなく賛助会員の皆様も加わり、身近に遭遇するデータ解釈からISOなど最新の話題提供まで、検査室のレベルアップを目的に活発な意見交換が行われております。

平成22年から始まった精度保証施設認証事業は、日臨技の目指す全国1,000施設認証を目標に受審資格のある施設への広報活動を行っています。施設認証の取得状況は全国で800施設以上を数え、その内静岡県は32施設となっています。県内施設の品質向上を目的に、今後、認証施設の更なる増加を目指していきたくと考えます。

近年、製造業など一般企業においても、国民の安全を脅かすような不正が繰り返し発覚していますが、我が臨床検査業界においては、平成30年8月省令公布、12月に施行される「医療法等の一部を改正する法律」により、病院などの臨床検査室においても精度管理を中心とした運営管理が重要視されることとなりました。法律を遵守するとともに、臨床検査を通じて国民に健康と安心を届けるため、静臨技學術部一同、会員の皆様への的確な情報提供ができるよう今後も活動を進めてまいりますので、何卒一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

渉外広報部

渉外広報部長 大石和伸



渉外広報部の活動は、会員だけでなく県民に対する衛生意識思想の普及や啓発に関することをはじめ、本会の啓蒙宣伝だけにとどまらず地域保健事業の広報にまで及んでおります。また、会誌、会報の編集発行そして、ホームページの管理運営にまで及んでいます。

しかし、会員皆さまに身近に感じていただける事業としては、会報誌である「静臨技ニュース」の発行であると思います。静臨技ニュースの前身は、昭和59年5月に「会報」として第1号が発行されていましたが、定期的な発行ではありませんでした。そこで、平成5年2月の第36号からは静岡県臨床衛生検査技師会会報「静臨技ニュース」と改名して毎月発行を続けて25年以上経過し平成30年11月で第344号を数えることとなりました。平成15年4月に1,410名であった会員数も平成30年4月には1,684名を数え、会員、賛助会員あてに発行している印刷部数も1,800部に増加してきています。内容も、会の事業や行事の活動報告から、会員投稿、会員の知識と技術向上のための研修会の開催案内、研修会報告、会員の入退会などの会員の異動などで平成14年当時は10ページ程度であったものが現在では15ページを超え20ページにもなろうとする情報が満載となった印刷物となっています。

静臨技のホームページは、Information and Communication Technology (ICT) 技術の発達とモバイルデバイスの普及により手軽にいち早く情報が得られるツールとして皆様の身近な存在となって

いると思います。平成9年11月の第93号の静臨技ニュースにホームページ開設のお知らせが掲載されていることからこのころよりホームページの運用がなされたと思われ20年の年月が経過しました。以前は、静臨技ニュースに掲載していました求人情報はその迅速性を考慮してホームページでの掲載とされました。また、研修会・講習会のお知らせも月1回発行の静臨技ニュースよりも早く会員皆さまに情報提供できるよう学術部と連携し迅速に対応しています。先に紹介しました静臨技ニュースも平成25年1月の第274号からのバックナンバーがカラーで閲覧できるようになっています。

今後は、継続検討中であります会員名簿の電子化について、パスワード認証などのセキュリティの問題を解決すべく各方面と協議しながら実現に向けていきたいと考えております。

30年記念誌には技師会発足の志が、「日進月歩の医療、公衆衛生などに遅れないようにと、団結し講習や教育を受け、その知識と技術を向上させ、さらに相互の親睦、連絡をはかり、医療や公衆衛生に寄与する」と記されています。これから2025年問題など社会情勢が大きく変化していくと思われる中、静臨技ニュースやホームページを通じ多くの新しい情報を会員皆さまに提供できるように取り組んでいきたいと思っております。



平成15年4月以降の静臨技における主な活動・イベント

平成15年度（2003）

4月19日	臨床化学研究班研修会	グランシップ
5月31日	静臨技通常総会	三島市民渉外学習センター
8月2日	静臨技公開講演会『健康食品の現状と問題点』	静岡県商工会議所
10月11日～12日	第42回中部医学検査学会	アクトシティ浜松研修交流センター
11月16日	臨床検査技師スキルアップ研修会	静岡労災病院
11月30日	第20回静岡県精度管理調査成績検討会	静岡県医師会

平成16年度（2004）

4月16日	研究班班長全体会議	あざれあ
6月5日	中部臨床衛生検査技師会理事会	
7月17日	インターネットの仕組みとホームページ作成研修	静臨技事務所
11月20日	第309回日本臨床化学東海・北陸支部例会	アクトシティ浜松研修交流センター
11月28日	第21回静岡県精度管理調査成績検討会	旧静岡県医師会会館
2月11日～12日	静臨技主催 一泊研修会	ホテルサンバレー富士見

平成17年度（2005）

5月28日	通常総会	静岡商工会議所
11月27日	第22回静岡県精度管理調査成績検討会	旧静岡県医師会会館
12月4日	伊豆市健康福祉まつり	修善寺生きいきプラザ
1月21日	『防災講演会』	グランシップ
2月4日	静臨技管理研修会	カリアック
2月25日	静臨技決算総会	三島商工会議所
3月5日	第45回日本臨床検査医学東海・北陸支部総会	アクトシティ浜松研修交流センター

平成18年度（2006）

5月31日	通常総会	アクトシティ浜松研修交流センター
8月19日	静臨技公開講演会『ストレスと生活習慣病』	あざれあ
9月24日	伊豆市健康福祉まつり	修善寺生きいきプラザ
10月27日～28日	第57回日本電気泳動学会	アクトシティ浜松コンgresセンター
11月16日	衛生検査所精度管理責任者研修会	浜松市保健所
12月2日	第25回日本蘇生学会シンポジウム	アクトシティ浜松コンgresセンター
12月20日	公益法人制度改革説明会	グランシップ
1月30日	県臨床検査精度管理委員会	静岡県医師会館
2月17日	資源の無駄遣いはこう防ぐ	静岡県産業経済会館
2月24日	静臨技予算総会	もくせい会館
2月24日	静臨技会員交流会	もくせい会館

平成19年度 (2007)

4月14日	研究班班長会議	静臨技事務所
4月19日	静臨技定時監査	静臨技事務所
5月26日	静臨技決算総会	三島市民文化会館
5月26日	静臨技一般公開講演会	三島市民文化センター
6月1日	ホームページリニューアル	
6月3日	日臨技データ共有会議	静臨技事務所
8月4日	静臨技公開講演会	あざれあ
9月30日	伊豆市健康福祉まつり	修善寺生きいきプラザ
11月18日	臨床検査データ共有化委員会会議	静臨技事務所
11月30日	衛生検査所精度管理責任者研修会	浜松市保健所
12月15日～16日	静臨技管理者研修会	マイホテル竜宮
2月23日	静臨技予算総会	ホテルヴィラくれたけ
2月23日	静臨技会員交流会	ホテルヴィラくれたけ

平成20年度 (2008)

4月15日	県臨床検査精度管理委員会	静岡県医師会館
4月19日	研究班班長会議	あざれあ
5月17日	静岡県臨床検査データ共有化委員会会議	静臨技事務所
5月23日	静臨技決算総会	あざれあ
5月23日	静臨技公開講座	あざれあ
8月9日	公開講演『新型インフルエンザについて』	グランシップ
9月28日	伊豆市健康福祉まつり	修善寺生きいきプラザ
10月25日	臨床化学研究班・静岡県データ共有化委員会合同研修会	グランシップ
11月29日～30日	静臨技新人研修会	ホテルサンバレー富士見
1月	ホームページリニューアル	



リニューアルされたHP画面

1月27日	臨床検査精度管理委員会	
2月21日	静臨技予算総会	三島社会福祉会館
2月21日	静臨技会員交流会	みしまプラザホテル

平成21年度 (2009)

4月17日	静臨技定時監査	静臨技事務所
5月20日	静岡県医師会精度管理調査	
5月30日	一般公開講演	浜松地域情報センター
5月30日	静臨技決算総会	浜松地域情報センター
7月12日	医療安全静岡フォーラム	グランシップ
9月13日	伊豆市健康福祉まつり	修善寺生きいきプラザ
9月29日	静岡県厚生部 静臨技状況検査	静臨技事務所
11月22日	第26回静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会	あざれあ
2月27日	静臨技予算総会	あざれあ
2月27日	静臨技会員交流会	伊太利亜酒房
3月13日	県民公開講演会	静岡県看護協会会館

平成22年度 (2010)

4月16日	静臨技定時監査	静臨技事務所
5月19日	静岡県医師会精度管理調査	
5月29日	静臨技決算総会	浜松地域情報センター
5月29日	第1回静岡県医学検査学会	浜松地域情報センター
10月30日	静臨技新人研修会	浜松メイワン
11月20日	静臨技新人研修会	サンウェルぬまづ
2月26日	静臨技予算総会	三島市民文化会館
2月26日	静臨技会員交流会	三島K's Diner

平成23年度 (2011)

5月18日	静岡県医師会精度管理調査	
5月21日	第2回静岡県医学検査学会	あざれあ
5月21日	静臨技決算総会	あざれあ
10月1日	メディメッセージ2011	アクトシティ浜松
2月25日	静臨技予算総会	浜松カンファレンスステーション
2月25日	静臨技会員交流会	ホテルクラウンパレス浜松
3月10日	静臨技スキルアップ講座	静岡産業経済会館

平成24年度 (2012)

4月5日	静臨技定時監査	静臨技事務所
5月16日	静岡県医師会精度管理調査	
5月26日	第3回静岡県医学検査学会	三島市民文化会館
5月26日	静臨技通常総会	三島市民文化会館
12月1日	健康浜松体感フェア	アクトシティ浜松
12月1日	伊豆市社会福祉大会	修善寺生きいきプラザ
2月2日～3日	静臨技スタートアップ研修会	ホテル・サンミ倶楽部
2月23日	静臨技予算総会	あざれあ
3月2日	第2回ステップアップ講座	静岡県産業経済会館

3月2日	第19回日本神経生理検査研究会中部支部研修会	静岡市立静岡病院
3月9日～10日	けんさのひみつ展 来場者1,551人	ツインメッセ静岡



けんさのひみつ展 ポスター

平成25年度 (2013)

4月1日	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会へ法人移行	
4月6日	研究班班長会議	あざれあ
4月18日	静臨技定時監査	静臨技事務所
5月14日	静岡県医師会精度管理調査	
6月22日	第4回静岡県医学検査学会・静臨技定時総会	あざれあ
6月22日	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会 創立60周年記念・法人移行記念式典および祝賀会	グランドホテル中島屋
7月13日～14日	日本未病システム学会 栄養部会・臨床検査部会合同セミナー2013	あざれあ
8月31日～9月1日	メディメッセージ2013	キラメッセぬまづ
9月27日	役員候補者選考委員会	静臨技事務所
10月26日	伊豆市健康福祉大会	修善寺生きいきプラザ
12月1日	減塩・低カロリープロジェクト2013	浜松市医師会館
12月8日	第30回静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会	あざれあ
12月14日	静岡県登録衛生検査所精度管理責任者研修会	静岡県産業経済会館
2月1日	第3回日臨技中部圏支部幹事会	静臨技事務所
2月23日	静臨技スタートアップ研修会	静岡県産業経済会館
3月9日	健康食品管理士中部支部研修会・一般市民公開講座	富士市フィランセ
3月20日	役員候補者選考委員会	静臨技事務所

平成26年度 (2014)

4月1日	研究班の名称変更	
4月5日	静臨技学術部門長会議 (旧研究班班長会議)	あざれあ
4月10日	静臨技定時監査	静臨技事務所
5月13日	静岡県医師会精度管理調査	
6月14日	第5回静岡県医学検査学会・静臨技定時総会	あざれあ
6月14日	会員交流会	グランドホテル中島屋
10月22日	衛生検査所精度管理責任者研修会	浜松市口腔保健医療センター
10月25日～26日	メディアメッセージ2014	ツインメッセ静岡
10月25日	伊豆市健康福祉大会	修善寺生きいきプラザ
11月22日	臨床検査データ標準化事業講習会	ペガサート
12月14日	第31回静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会	あざれあ
12月14日	減塩・低カロリープロジェクト2014	浜松市医師会館
1月17日～18日	検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会	静岡県立総合病院
2月22日	静臨技スタートアップ研修会	あざれあ
3月1日	第54回静岡県病院学会	グランシップ

平成27年度 (2015)

4月4日	静臨技学術部門長会議	あざれあ
4月6日	静臨技定時監査	静臨技事務所
4月11日～12日	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会	名古屋市立大学
5月12日	静岡県医師会精度管理調査	
6月6日	静臨技定時総会	あざれあ
6月13日～14日	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会	名古屋市立大学
6月27日～28日	検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会	遠州病院
7月4日	災害感染症対策セミナー in SHIZUOKA 2015	城東保健福祉エリア
8月3日	役員候補者選考委員会	静臨技事務所
9月26日～27日	第54回日臨技中部圏支部医学検査学会	グランシップ
10月24日	伊豆市健康福祉大会	修善寺生きいきプラザ
11月14日	静岡県標準化事業講習会	グランシップ
11月21日～22日	メディアメッセージ2015	アクトシティ浜松研修交流センター
11月29日	減塩・低カロリープロジェクト2015	浜松市医師会館
12月13日	第32回静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会	あざれあ
2月13日	『静臨技賀詞交歓会』および『静臨技組織強化セミナー合同支部会』	GRILL 炙之介
2月28日	静臨技スタートアップ研修会	静岡県産業経済会館

平成28年度 (2016)

4月2日	静臨技学術部門長会議	あざれあ
4月11日	静臨技定時監査	静臨技事務所
4月12日	静岡県医師会臨床検査精度管理委員会	静岡県医師会館
5月10日	静岡県医師会精度管理調査	

6月1日	宮島よしふみ会長 静岡県施設挨拶回り 宮島よしふみと語る会	静岡市・浜松市医療施設 アクトシティ浜松
6月11日	第6回静岡県医学検査学会・静臨技定時総会	あざれあ
7月23日～24日	検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会	沼津市立病院
8月31日～9月4日	第32回世界医学検査学会	神戸国際会議場 他
9月1日～4日	第63回日本臨床検査医学会学術集会	神戸国際会議場 他
9月3日～4日	第65回日本医学検査学会	神戸国際会議場 他
10月	ホームページリニューアル	



リニューアルされたHP画面

10月28日	浜松市衛生検査所精度管理責任者等研修会	口腔保健医療センター
10月29日	伊豆市健康福祉大会	修善寺生きいきプラザ
11月6日	検査と健康展	アピタ静岡店
11月23日	第33回静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会	あざれあ
11月27日	減塩・低カロリープロジェクト2016	浜松市医師会館
12月17日～18日	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会	名古屋市立大学病院
1月17日	静岡県医師会臨床検査精度管理委員会	静岡県医師会館
1月18日	静岡市衛生検査所精度管理責任者等研修会	
2月18日	静臨技スタートアップ研修会	あざれあ

平成29年度(2017)

4月8日	静臨技学術部門長会議	あざれあ
4月11日	静岡県医師会臨床検査精度管理委員会	静岡県医師会館
4月12日	静臨技定時監査	静臨技事務所
4月27日	日臨技担当役員医学検査学会会場視察&運営部会	アクトシティ浜松
5月9日	静岡県医師会精度管理調査	
6月10日	第7回静岡県医学検査学会・静臨技定時総会	あざれあ
6月23日	日臨技創立65周年・法人化55周年記念祝賀会	霞山会館
7月8日～9日	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会	名古屋市立大学病院
8月19日～20日	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会	名古屋市立大学病院
8月22日	静岡県医師会臨床検査精度管理委員会	静岡県医師会館
9月5日	全国学会実行委員会	静臨技事務所

10月17日	全国学会実行委員会	静臨技事務所
10月22日	第34回静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会	あざれあ
10月28日	認知症対応力向上講習会B	静臨技事務所
10月28日	伊豆市健康福祉大会	修善寺生きいきプラザ
11月7日	全国学会実行委員会	静臨技事務所
11月12日	検査と健康展	エスパルスドリームプラザ
11月26日	減塩・低カロリープロジェクト2017	浜松市医師会館
12月2日～3日	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会	名古屋市立大学病院
12月5日	全国学会実行委員会	静臨技事務所
12月9日	全国学会運営委員会	日臨技事務所
12月18日	全国学会実行委員会(学術)	静臨技事務所
1月15日	全国学会実行委員会(学術)	静臨技事務所
1月16日	静岡県医師会臨床検査精度管理委員会	静岡県医師会館
2月14日	全国学会展示ブース抽選会+日臨技運営部会	フクラシア品川
3月3日	静臨技スタートアップ研修会	あざれあ

平成30年度(2018)

4月7日	静臨技学術部門長会議	あざれあ
4月9日	静臨技定時監査・理事会・拡大実行委員会	静臨技事務所
4月10日	静岡県医師会臨床検査精度管理委員会	静岡県医師会仮事務所
4月26日	日本医学検査学会拡大実行委員会	静臨技事務所
5月11日	行列ができるスキルアップ研修会 Part IX	アクトシティ浜松 他
5月12日～13日	第67回日本医学検査学会	アクトシティ浜松 他
5月15日	静岡県医師会精度管理調査	
6月2日	静臨技定時総会・静臨技創立65周年記念式典	グランドホテル中島屋

一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会 創立60周年 法人移行記念式典・祝賀会

日時：平成25年6月22日 会場：静岡グランドホテル中島屋（静岡市）

記念式典

(敬称略)

開会の辞	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	副会長	原 田 勉
式 辞	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	会 長	横 地 常 広
祝 辞	静岡県健康福祉部	部 長	宮城島 好 史
	一般社団法人静岡県医師会	理 事	大 岩 茂 則
	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	会 長	宮 島 喜 文
	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部副支部長		梶 山 広 美
来賓紹介	公益社団法人愛知県臨床検査技師会	会 長	松 本 祐 之
	一般社団法人岐阜県臨床検査技師会	会 長	北 村 顕
	一般社団法人三重県臨床検査技師会	会 長	小 林 圭 二
	一般社団法人石川県臨床衛生検査技師会	会 長	油 野 友 二
	一般社団法人富山県臨床検査技師会	会 長	今 村 伸 一
	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	名誉会員	川 越 功
表 彰	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	会長賞・功労賞表彰	
	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	永年職務精励者表彰	
	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	わかふじ奨励賞表彰	
	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	感謝状贈呈	
祝電披露	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	理 事	加 藤 智 行
閉会の辞	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	副会長	原 田 勉

記念式典の様子と表彰者の紹介



式辞 横地静臨技会長



祝辞 宮島日臨技会長

一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会 表彰者

(敬称略)

会長賞	松岡敏彦		
功労賞	泉正和	齋藤辰男	
永年職務精励者表彰	菌田明広	市川千津子	
わかふじ奨励賞	佐藤晃	五十嵐正人	和田侑子
	小林祐子	野口絵梨	島田誠
	望月茜	田口さやか	
感謝状贈呈	アルフレッサ株式会社	株式会社スズケン	



祝賀会

(敬称略)

開会の辞	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	副会長	三宅和秀
会長挨拶	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	会長	横地常広
来賓祝辞	公益社団法人愛知県臨床検査技師会	会長	松本祐之
	一般社団法人臨床衛生検査技師会	副会長	松本祐之
	協和医科器械株式会社プロフェッショナル営業本部	本部長	高田宣明
	中北薬品株式会社医薬品本部試薬部	部長	藤原隆志
乾杯	一般社団法人岐阜県臨床検査技師会	会長	北村 顕
賛助会員紹介	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	事務局長	伊藤喜章
祝宴			
閉会の辞	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	副会長	山口浩司

一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会賛助会員感謝状受賞会社

(順不同)

株式会社アイディエス	アークレイマーケティング株式会社
アボットジャパン株式会社	アーリア・メディカル株式会社
アルフレッサ株式会社	アルフレッサファーマ株式会社
株式会社医学生物学研究所	エーディア株式会社
株式会社エイアンドティー	栄研化学株式会社
株式会社エスアールエル	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
株式会社カイノス	関東化学株式会社
協和医科器械株式会社	協和メディックス株式会社
極東製薬工業株式会社	小林クリエイト株式会社
株式会社三和化学研究所	塩野義製薬株式会社
シスメックス株式会社	株式会社シノテスト
シーエス薬品株式会社	シーメンズヘルスケア・ダイアグノスティックス株式会社
株式会社スズケン	積水メディカル株式会社
チェスト株式会社	株式会社テクノメディカ
テルモ株式会社	デンカ生研株式会社
東ソー株式会社	東芝メディカルシステムズ株式会社
東洋紡績	中北薬品株式会社
日水製薬株式会社	ニットーボーメディカル株式会社
日本光電南関東株式会社	日本電子株式会社
株式会社ビー・エム・エル	バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社
日立アロカメディカル株式会社	株式会社日立ハイテクノロジーズ
フクダ電子神奈川販売株式会社	富士フイルムメディカル株式会社
富士レビオ株式会社	ベックマンコールター株式会社
松浪硝子工業株式会社	株式会社ミズホメディー
三菱化学メディエンス株式会社	株式会社八神製作所
ラジオメーター株式会社	ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
和光純薬工業株式会社	

社団法人から一般社団法人化への検討と経過について

平成20年12月1日から公益法人改革三法が施行され、明治以来続いていた公益法人制度が全く新しいものに生まれ変わりました。

公益法人改革三法が施行されたことにより、今まであった社団法人・財団法人は「一般社団法人」「一般財団法人」「公益社団法人」「公益財団法人」の4つに分かれることになりました。また、移行期間が平成25年11月末までの5年の間となり、その間に移行しなければならなくなりました。

この法改正により、当技師会においても公益社団法人化の検討をすることとなりました。その経過については、以下に示します。

平成22年2月27日

平成22年度予算総会にて、年度事業計画の一つとして公益社団法人化に向けた検討について報告される。

検討は、常務理事会・理事会・支部会・法人化移行検討委員会などで行われる。

平成22年9月10日西部支部・9月30日中部支部・10月6日東部支部

各支部にて、会員に対して公益社団法人化の説明会が開かれ、意見交換がされる。

平成22年12月

静岡県健康福祉部によるアンケート調査が行われ、移行申請の工程表を作成する。

平成23年1月

検討を重ねてきたが、公益法人となるには難しいと判断され、まずは「一般社団法人化」として登録をし、状況を見ながら「公益社団法人化」へ移行することとなる。

平成23年2月26日

平成23年度事業計画として、平成24年度4月の申請を目指して準備作業をするとなる。

平成24年3月21日

総会にて「一般社団法人」への移行決議案として定款案及び施行細則等を提示することにする。

平成24年5月26日

総会にて、「一般社団法人」への移行決議案は賛成多数で承認され、平成25年4月に一般社団法人化に向かうことになる。

平成25年4月1日

一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会となる。

静岡県で開催された中部医学検査学会・ 日臨技中部圏支部医学検査学会

第42回中部医学検査学会

メインテーマ「医学検査のサバイバル作戦」
— Never Give Up! Go Forward Anyway! —
会 期 平成15年10月11日～12日
会 場 アクトシティ浜松・研修交流センター
学 会 長 柴崎 光三（聖隷浜松病院臨床検査センター）
（社）静岡県臨床衛生検査技師会会長
実行委員長 高木 義弘（静岡県立こども病院）
事務局長 泉 正和（浜松医科大学医学部附属病院）



教育講演 「21世紀の国民病：血管病を診断する」
鹿児島大学医学部 臨床検査医学講座教授 丸山 征郎

公開講演 「テレビで言えない天気の話」
お天気キャスター・気象予報士 森田 正光

シンポジウム 「検査室のこれからの展開—パイオニアからの熱きメッセージ」

- | | | |
|--|--------------------------|----------------|
| | 司会 静岡県立こども病院
静岡市立清水病院 | 高木 義弘
松本 誠司 |
| 1. 経営への侵略は可能か（岐阜県） | 関中央病院 | 中村 秀博 |
| 2. 当院における Infection Control Team の活動について
～病棟ラウンドを中心に臨床検査技師の役割～（石川県） | 公立能登総合病院 | 小林 浩 |
| 3. 海外での臨床検査、検査技師の実情（愛知県） | 藤田保健衛生大学医学部 | 坂本 秀生 |
| 4. 画像診断領域への参画は、ここまでやらなければ参画と言えない（三重県） | 済生会松坂総合病院 | 山本 幸治 |
| 5. 日本医療機能評価機構による病院の第三者評価（富山県） | 市立砺波総合病院 | 伊藤 峻 |
| 6. 検査室から、外へ（静岡県） | 伊豆保健医療センター | 田代 守義 |

部門別研究班企画

- 生理検査研究班：シンポジウム

	司会 静岡県立静岡がんセンター 袋井市立袋井市民病院	米山 昌司 鈴木 秀明
--	-------------------------------	----------------

「日常検査におけるわたしの工夫 ピットフォールに陥らないために」
- 一般検査研究班：講演会

	司会 磐田市立総合病院	川原 教次
--	-------------	-------

「静岡県寄生虫研究会—寄生虫症対策のためのネットワーク作り—」
浜松医科大学医学部寄生虫学講座 石井 明
- 微生物検査研究班：講演会

	司会 沼津市立病院	佐野 克典
--	-----------	-------

「抗生剤の選択—開業医からみた感受性検査」
やなせ内科呼吸器科クリニック 柳瀬 賢次
- 輸血検査研究班：ラウンドテーブルディスカッション

	司会 静岡県立総合病院	村井 信夫
--	-------------	-------

「輸血検査におけるリスクマネジメント」

- 臨床化学検査研究班：講演会
 司会 社会保険桜ヶ丘総合病院 高島 吉則
 「糖尿病臨床における最近の知見；チーム医療の中で療養指導士期待される役割」
 静岡赤十字病院 村上 雅子
- 細胞検査研究班・病理検査研究班共催
 司会 順天堂伊豆長岡病院 酒井 満
 遠州総合病院 大井 賀広
 「外部標準管理・インターネットを利用したフォトサーベイ」
 静岡県細胞検査研究班・病理検査研究班 酒井 満
 「細胞判定と報告について」
 静岡赤十字病院 大塚 証一
- 一般演題**
- 左膝窩動脈外膜嚢腫の一例
 市立島田市民病院 平口 晶美
- 動脈硬化検査で発見された左鎖骨下動脈完全閉塞の一例
 聖隷浜松病院臨床検査センター 鈴木那央美
- 心エコー図検査が有用であった右室梗塞の一例
 聖隷三方原病院 宮本 悦子
- 心エコー図検査で認められた心周囲の腫瘍様構造物の検討
 静岡市立静岡病院 高村比路華
- 胎児期より経過観察している心臓腫瘍の一例
 聖隷浜松病院臨床検査センター 馬場 紀子
- 65歳で発見された unroofed coronary sinus の一例
 静岡市立静岡病院 杉山 弥生
- 検診における乳房エコーの有用性について
 聖隷予防検診センター 阿部千恵美
- 腹部超音波検査で有用であった肝嚢捻転症の一例
 聖隷三方原病院 齋藤 晴義
- 当院人間ドックに於ける肝腫瘍性病変について
 中伊豆温泉病院 高橋 詩帆
- 当院における新生児聴覚スクリーニングの現状
 県西部浜松医療センター 小池 淑恵
- 聴力検査と ABR により、機能性難聴と診断された一症例
 聖隷三方原病院 太田 美哉
- 偶発性低体温症にみられた異常心電図の一症例
 聖隷三方原病院 藤田 順子
- 環境要因によるスパイロメータの機器異常
 浜松医科大学医学部附属病院 浜田 悦子
- 腺房細胞癌の 2 症例
 市立島田市民病院 橋本 裕美
- 集団検診における子宮頸癌と乳癌の重複癌の一例
 聖隷予防検診センター 古田 政敏
- Pap 染色にてクリプトコッカス症と推定された 2 症例
 聖隷三方原病院 野中 茂
- 骨髓風乾標本に papanicolaou 染色を施行し腺癌の骨髓転移を推定し得た一例
 富士宮市立病院 小林 勝弥
- 胸椎圧迫骨折より検索された非分泌型多発性骨髄腫の一例
 聖隷三方原病院 清田 真代
- 凍害保護剤作用時の造血幹細胞の変化像
 聖隷浜松病院臨床検査センター 佐藤 和文
- 全血血小板凝集能測定装置 WBA Analyzer を用いての抗血小板剤の有用性について
 藤枝市立総合病院 小林 千春

- 染色体メタフェーズ展開装置“HANABI”を用いた染色体分析方法の検討
静岡県立こども病院 佐野 元裕
- 検査部のイントラネット戦略—1. 背景と病院システムとの連携—
浜松医科大学医学部附属病院 近藤 光
- 検査部のイントラネット戦略—2. 検査情報システムとの連携—
浜松医科大学医学部附属病院 名倉 理教
- 薬剤副作用検査チェックプロジェクトチームを実践してみる
聖隷浜松病院臨床検査センター 梅山実耶子
- 私たちのリスクマネジメント
聖隷浜松病院臨床検査センター 福田 真弓
- 住民検診におけるHCV-RNA検査について
聖隷予防検診センター 鈴木妃佐子
- UV法を用いた脂質測定試薬の検討
浜松医科大学医学部附属病院 富永 祥子
- 妊婦糖尿病発症におけるインスリン抵抗性の検討
静岡赤十字病院 原 毅
- 当院における糖尿病療養指導の実際
聖隷三方原病院 鈴木伊都子
- グラム染色における喀痰洗浄前後の比較
袋井市立袋井市民病院 戸塚 晃子
- 洗浄後喀痰におけるグラム染色の評価
共立菊川総合病院 伊藤 君江
- セントラップMBを用いた抗酸菌小川培養における喀痰溶解剤の必要性
聖隷三方原病院 小澤 道子
- 精子生存試験（SST）を用いた配偶子培養環境の比較
聖隷浜松病院臨床検査センター 牧野 有紀
- 体外受精・胚移植における移植手技の工夫
聖隷浜松病院臨床検査センター 青葉 幸子
- 自己免疫疾患で自己抗E抗体を検出した症例
浜松医科大学医学部附属病院 工 治男
- 血小板輸血後に抗E抗体を検出した一例
浜松医科大学医学部附属病院 鈴木 妙子
- 酵素処理赤血球により同定された抗体の重要性
聖隷三方原病院 田中 清乃
- Type & Screen導入による血液製剤の有効使用
聖隷三方原病院 松岡ひとみ
- 適正な輸血療法に向けて —輸血検査室から輸血療法室へ—
聖隷浜松病院臨床検査センター 井口 桃子
- 静岡県のI & Aの活動状況
県西部浜松医療センター 鶴田せつ子

一般演題 座長

- 生理機能
聖隷三方原病院 岡井 直子
聖隷浜松病院 齋藤 博
- 血液
焼津市立総合病院 新村 宏美
藤枝市立総合病院 小林 千春
- 遺伝子・染色体
聖隷浜松病院臨床検査センター 浅野 正宏
- 臨床化学
清水厚生病院 勸山 正弘
社会保険桜ヶ丘総合病院 高島 吉則
- 病理
藤枝市立総合病院 浅井 弘明
- 微生物
富士宮市立病院 小林 裕美
- 輸血
聖隷三方原病院 高橋 保子

第48回中部医学検査学会

メインテーマ 「今日より明日!～基礎からさらなる創造～」
 会期 平成21年11月7日～8日 会場 三島市民文化会館
 学会長 泉 正和 (浜松医科大学医学部附属病院)
 実行委員長 高島 吉則 (社会保険桜ヶ丘総合病院)
 事務局長 藤原 誠 (伊豆赤十字病院)



市民公開講演

1 部講演

「がんという病気—患者・家族の心構え」

静岡県立静岡がんセンター総長 山口 建

2 部講演

全盲のオルガニスト 大島 彰氏のトークアンドコンサート
 ～人間だれでも、やればできる～

大島彰音楽事務所 大島 彰

シンポジウム 「精度保証 —依頼から実施までの落とし穴—」

1. 病理検査の精度管理

司会 静岡県立総合病院 横地 常広
 静岡県立静岡がんセンター 佐藤 智明

2. 生理検査の精度保証

藤田保健衛生大学病院 田中 浩一

3. 微生物検査の精度保証

山田赤十字病院 別當 勝紀

4. 輸血検査の精度保証

公立学校共済組合東海中央病院 宮部 高典

5. 形態検査の精度保証

聖隷三方原病院 高橋 保子

6. 検体検査の精度保証

金沢赤十字病院 油野 友二

厚生連滑川病院 土井 彰



部門別研究班企画

1. 病理・細胞・血液検査研究班：シンポジウム

「悪性リンパ腫の診断・治療戦略のためのアプローチ」

司会 浜松医科大学医学部附属病院 加藤 智行
 沼津市立病院 杉澤きよ美
 静岡医療センター 関戸 康友

- 血液検査での検査の進め方

静岡赤十字病院 黒山 祥文

- 悪性リンパ腫の治療選択＝検査の総力戦

静岡県立静岡がんセンター 血液・幹細胞移植科部長 池田 宇次

2. 臨床化学検査研究班：シンポジウム

「日臨技臨床検査データ標準化事業の現状と今後の継続に向けて

～3年を経過し、各県の活動状況と今後の取り組みについて考えよう～」

司会 静岡県立総合病院 菌田 明広

3. 生理検査研究班：パネルディスカッション

「それぞれの生理検査のあり方」

司会 富士市立中央病院 鈴木 雅人
 磐田市立総合病院 角越 信郎

4. 微生物検査研究班：シンポジウム

「微生物検査の標準化 “はじめの一步……”」

司会 富士市立中央病院 渡邊 修
 静岡市立静岡病院 杉本 直樹

助言 静岡県立静岡がんセンター 沖中 敬二

- 適切な微生物検査を実施するための検査依頼

静岡県立静岡がんセンター 杉山 知代

- 検査採取と保存における注意点

掛川市立総合病院 岩崎さおり

- 検査材料が検査室に届いてから、どう検査するか

静岡県立総合病院 大石 和伸

5. 一般検査研究班：パネルディスカッション

「一般検査技術の質を高めるために」

司会 遠州病院 鈴木 泰秀

- 静岡県内の医療機関における寄生虫検査の実態調査

遠州病院 川出 智子

6. 輸血検査研究班：シンポジウム

「安全な輸血への精度を上げるには……」

司会 焼津市立総合病院 橋ヶ谷尚路

一般演題

- 著明な右室拡大をきたした若年性心不全の一例

市立島田市民病院 村松志保美

- 当院における下肢静脈エコー検査の現状 疾患の発生頻度の検討

聖隷浜松病院 山津 桂子

- 当院で経験した原発性硬化性胆管炎の2症例

三島社会保険病院 富田 奈央

- 造影超音波検査が診断に有用であった肝多血性過形成結節の一例

聖隷浜松病院 竹内 幹

- CKDにおける超音波検査の有用性

NTT東日本伊豆病院 石井 浩崇

- 人間ドック腹部超音波検査において遭遇し得た症例～悪性リンパ腫～

聖隷健康診断センター 松村 利恵

- 乳房エコー検査と、スレテオガイド下またはエコーガイド下マンモトーム生検の比較検討

聖隷三方原病院 和久田真澄

- 検診機関における超音波組織弾性イメージング導入による変化
聖隷健康診断センター 河原崎綾乃
- 同時両側乳腺腫瘍の一例
静岡医療センター 鈴木 幸代
- 当院が導入した生理検査システムの運用状況 現在の稼働状況の問題点について
聖隷三方原病院 山本 祐子
- 生理機能検査室における循環器関連検査総合システムの活用状況
静岡県立総合病院 鈴木 駿輔
- 当院における小児肺炎の培養材料比較検討
焼津市立総合病院 石原美弥子
- 当院の喀痰材料における塗沫結果と培養結果の比較
沼津市立病院 稲葉 優香
- プロカルシトニンの有用性と血液培養との比較検討
静岡県立総合病院 大石 和伸
- 血液培養陽性までの時間差を利用したカテーテル関連血流感染判定の有用性について
静岡県立静岡がんセンター 川島 順子
- *Listeria*による髄膜炎および敗血症の一例
静岡市立静岡病院 渡部 友芸
- フルオロキノロン耐性 *Shigella sonnei*による細菌性赤痢の一例
静岡市立静岡病院 杉本 直樹
- 当院における麻疹、風疹、水痘、ムンプスのウイルス感染対策の状況
浜松医科大学医学部附属病院 石川 仁子
- 前年のアウトブレイク経験から得たノロウイルス病院感染対策の試み
市立島田市民病院 栗田 泉
- Linezolidの耐性化が認められたMRSA感染症の一症例
浜松医科大学医学部附属病院 名倉 理教
- 当院におけるバンコマイシンのMRSAに対するMIC値
静岡県立静岡がんセンター 塚原 美香
- 治療上および医療関連感染管理上重要な薬剤耐性GNRの検出状況
静岡市立静岡病院 楠山 美保
- 当院における採血支援システムの運用と評価
静岡市立静岡病院 綾部 涼夫
- コアプレスタ2000の基本的性能評価および運用経験
浜松医科大学医学部附属病院 山中 勝正
- C型慢性肝炎に対するPEG-INF + Ribavirin併用療法における関連項目の動態
共立蒲原総合病院 中西 巧
- 脾摘後ITP母体から出生した、頭蓋内出血を来した重症新生児血小板減少症の一例
沼津市立病院 杉澤きよ美
- 一過性に幼若細胞が末梢血に出現した染色体異常を伴う全前脳胞症児の一例
焼津市立総合病院 村山 和子
- Mast cellの増加を伴ったMDS (RARS) の1症例
沼津市立病院 川口 詳司
- 当院で経験したHLA-R陰性non-M3AML9例の比較検討
沼津市立病院 勝又ちとみ
- ビトロス5600導入時の問題点と対策
静岡県こども病院 鈴木 薫
- 自動前処理測定が可能なBM9130を用いたHbA1c酵素法の検討
静岡県立総合病院 大石由希子
- ヘモグロビンA1c分析装置D-10システムを用いたJDSL Lot4によるHbA1cの評価
静岡県こども病院 高木 義弘
- トロポニンIの有用性の検討
聖隷三方原病院 弘島 大輔

- 同一サンプルでのNT-proBNPとBNPに影響する因子の差に関する検討
静岡県立総合病院 山内 久世
- IgD型骨髄腫の一例
沼津市立病院 渡辺真理子
- CA19-9測定試薬の比較検討～EモジュールとCentaurを比較して～
静岡県立総合病院 松島 江理
- 排尿機能検査士としての臨床検査技師の役割—尿流動体検査をとおして—
焼津市立総合病院 新村 宏美
- U-SCANNER IIの使用状況
県西部浜松医療センター 坪地 利美
- 尿中赤血球測定と形態鑑別における問題点
静岡医療センター 仁科 正樹
- Flow Cytometry法を活用した尿路感染症診断の有用性
静岡医療センター 磯部 有紀
- 中枢神経腫瘍において術中圧挫すり合わせ細胞診の有用性
静岡県立静岡がんセンター 志村美保子
- 当院のEUS-FNAにおける細胞診の現状と判定結果の検討
静岡医療センター 川口 直美
- 当院におけるホルムアルデヒド濃度低減対策
静岡県立静岡がんセンター 永田かおり
- 乳癌HER2の免疫組織化学的方法、Fluorescence in situ hybridization法における固定条件の検討
静岡県立静岡がんセンター 本田 勝丈
- AIHA患者における同種抗体を検出した一症例
静岡県立静岡がんセンター 梁瀬 博文
- 白血病患者の皮膚腫瘍から分離された*Nocardia otitidiscaviarum*の一症例
浜松医科大学医学部附属病院 山影 望
- 主要検出グラム陰性桿菌の従来法による同定
静岡県立静岡がんセンター 枝元みどり
- カンピロバクター選択培地の比較検討
SRL沼津ラボトリー 加藤美由紀
- 下肢動脈バイパス術における皮膚灌流圧（skin perfusion pressure：SPP）の評価
静岡赤十字病院 宇賀田章乃
- 皮膚灌流圧検査における症例検討と有用性
静岡県立総合病院 見崎奈都美
- 安全で信頼性の高い不妊治療とは
聖隷浜松病院 中川千恵美
- 当院のType and Screenの依頼状況について
静岡医療センター 浅香 敏之
- 当院における異型適合輸血の運用と現状について
聖隷三方原病院 清水美千絵
- 腹囲の基準について
聖隷健康診断センター 藤田くみ子

一般演題座長

- 生理検査
県西部浜松医療センター 小田 孝巳
静岡済生会総合病院 淀川 千尋
焼津市立総合病院 大村 博保
- 化学・血清
静岡県予防医学協会 森 大祐
静岡市立清水病院 松本 誠司
- 病理
袋井市立袋井市民病院 石堂 統
磐田市立総合病院 栗田 昭
- 微生物
静岡市立静岡病院 杉本 直樹
静岡県立総合病院 神田 成夫

平成27年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第54回）

メインテーマ 「守 破 離 ～臨床検査技師の目指す道、基本と今と未来を考える～」
—シミュレーションからイノベーションへ—

会期 平成27年9月26日～27日
会場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
学会長 三宅 和秀（清水厚生病院） 静岡県臨床衛生検査技師会会長
実行委員長 山口 浩司（聖隷三方原病院）
会計 豊田 次郎（榛原医師会臨床検査センター）
事務局長 藪田 明広（静岡県立総合病院）



教育講演

「緑茶粗挽きパウダー服用継続の健康改善効果に関する研究」

地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立総合病院
臨床医学研究センター部長（兼検査部長） 島田 俊夫
座長 浜松医科大学臨床検査医学講座 教授 前川 真人



特別講演（公開）

「リージョナル航空会社 フジドリームエアラインズの描く夢」

株式会社フジドリームエアラインズ 代表取締役社長 須川 恒次

文化講演（公開）

「僕の職場は富士山です」

富士山登山学校ごうりき 代表 近藤 光一

シンポジウム 臨床検査技師としての「守 破 離」

～臨床検査技師の目指す道、基本と今と未来を考える～

—シミュレーションからイノベーションへ—

- | | | |
|------------------------------|-------------------------|----------------|
| | 司会 磐田市立総合病院
焼津市立総合病院 | 清水 憲雄
三原 利仁 |
| 1. ISO15189 認定取得について | 三重大学医学部附属病院 | 池尻 誠 |
| 2. 災害医療と臨床検査技師としての活躍と課題 | 富山赤十字病院 | 大西 秀典 |
| 3. 共用基準範囲をどうするべきか? | 公立学校共済 東海中央病院 | 多和田嘉明 |
| 4. チーム蘇生から考えるチーム医療 | JA愛知厚生連 海南病院 | 志水 貴之 |
| 5. 医療情報とICTの利活用による臨床検査への支援活動 | 国立大学法人金沢大学附属病院 | 長原三輝雄 |

学術部門企画

- | | | |
|--|-----------------------------------|----------------|
| 1. 臨床検査総合部門：「検査説明・相談のできる臨床検査技師をめざして」 | 司会 浜松市リハビリテーション病院 | 弘島 大輔 |
| • 中部圏支部6県の検査説明・相談実施状況アンケート集計報告 | 聖隷三方原病院 | 清水美千絵 |
| • 実際に検査説明・相談を実施している施設報告① | 浜松医科大学医学部附属病院 | 濱田 悦子 |
| 2. 臨床微生物部門：「次の一手が打てる検査技師になろう～グラム染色から始まる症例提示～」 | 司会 市立島田市民病院
焼津市立総合病院 | 栗田 泉
石原美弥子 |
| 3. 臨床一般部門：「尿沈渣を見つめなおそう」 | 司会 浜松医科大学医学部附属病院
浜松医科大学医学部附属病院 | 藤原 彩乃
藤原 彩乃 |
| 4. 臨床生理部門：『「治療」に関わる生理検査』～守をもって破を見極め、離を志す～ | 司会 静岡県立静岡がんセンター
富士脳障害研究所附属病院 | 米山 昌司
植野 道治 |
| 5. 生物化学分析部門：「検体採取から結果報告～基本を踏まえて今と未来を考える～」 | 司会 遠州病院 | 高林 保行 |
| • 法改正に伴う検体分析部門の取り組みについて | 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 | 横地 常広 |
| 6. 臨床血液部門：「汎血球減少を知ろう～症例から学ぶ～」 | 沼津市立病院
三島総合病院 | 勝又ちとみ
大橋 勝春 |
| 7. 輸血・細胞治療部門：「輸血業務におけるチーム医療」 | 浜松医科大学医学部附属病院 | 古牧 宏啓 |
| 8. 病理・細胞部門：「病理検査の未来像～大切にしたいこと、変革（挑戦）すべきこと～」 | 磐田市立総合病院 | 栗田 昭 |
| 9. 染色体・遺伝子部門：「染色体・遺伝子検査への一歩を進めよう」 | | |
| 学術奨励賞 受賞者 平成26年度 日臨技中部圏支部医学検査学会（第53回） | | |
| • 臍 Solid pseudopapillary neoplasm 6例の免疫組織学的検討 | 静岡県立こども病院 | 窪田 亜希 |

一般演題

- | | | |
|-------------------------------------|-----------------------|-------|
| • レムナント様リポ蛋白コレステロールを導入して | 聖隷健康サポートセンター Shizuoka | 長坂ゆみ子 |
| • 自動グリコヘモグロビンHLC-723G11における基礎的検討 | 静岡厚生病院 | 清水 良祐 |
| • 動脈硬化指標としてのL/H比、Non-HDL、AL指数の比較・検討 | 熱海所記念病院 | 佐藤 晃 |

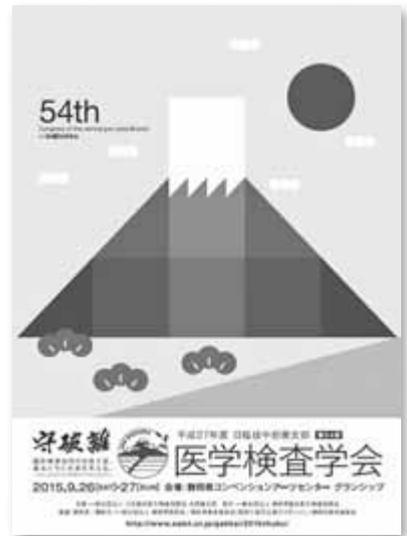
- 高感度トロポニンIとトロポニンT簡易法の比較検討
富士宮市立病院 小林 実穂
- 当院における感染症（HBs抗原、HCV抗体）検査の運用
市立島田市民病院 原田 雅章
- 高感度HBs抗原測定法導入による有用性
清水厚生病院 北野 遼
- HCVとオカルトHBV重複感染患者におけるHBc抗体陽性率の現状
聖隷三方原病院 藤森 彩子
- CA19-9の院内導入における検討
富士宮市民病院 小野田勝美
- CA19-9の測定において異好抗体が示唆された1症例
リハビリテーション中伊豆温泉病院 大城賢太郎
- 国内臨床株を用いたヘリコバクター・ピロリ抗体キットの検討
清水厚生病院 原 宜紀
- 肝線維化マーカーであるM2BPGiの基礎的検討
NTT東日本伊豆病院 田中 芳次
- CLL症例におけるAg-NORs染色の有用性
静岡赤十字病院 須藤 敬文
- フィブリノゲン低値、静脈血栓症の発症を契機に異常フィブリノゲン血症が疑われた1例
聖隷三方原病院 北畑 友美
- 体腔液検体をXN-3000にて測定した際の検査運用案の検討
磐田市立総合病院 川井 孝太
- 便中*H. pylori*抗原検査の除菌判定に対する有用性
リハビリテーション中伊豆温泉病院 大熊 悠樹
- 当院における輸血後鉄過剰症の実態調査と診療支援
富士宮市民病院 石川 明彦
- 当院における緊急輸血依頼状況及び時間外輸血担当者呼び出し対応状況
焼津市立総合病院 田中 里波
- ORTHO VISIONにおける血球試薬架設状況の検討
富士宮市立病院 赤池 陽子
- 血液型特異性のない自己抗体を保有する赤芽球癆患者への赤血球輸血の1例
聖隷三方原病院 石戸谷典明
- 継続的な輸血実技トレーニングの効果
聖隷浜松病院 今枝 洋美
- 当院の急性胃腸炎患者から分離された*Campylobacter*の薬剤感受性
静岡市立静岡病院 袴田 知里
- 質量分析導入による血液培養結果報告日数と抗菌剤に関する検討
静岡赤十字病院 黒山 祥文
- 職員における結核菌暴露後のクオンティフェロン検査が有用であった2事例
市立島田市民病院 岡野 真弓
- 当院における抗菌薬PCRの感度と特異度について
中東遠総合医療センター 鈴木 健之
- プラスチック容器を使用した2%小川培地の発育支持力についての検討
静岡県立総合病院 深澤 真
- Versa Trekの発育陽性ボトルにおける*Streptococcus pneumoniae*の生存率
中東遠総合医療センター 小柳 紀人
- MALDI-TOF MSを用いた尿検体からの病原菌直接同定
静岡市立清水病院 野中 春那
- 簡易的なスライドカルチャーにより診断に役立った*Sporothrix schenckii*の1例
遠州病院 岡田 宇史
- *Schizophyllum commune*（スエヒロタケ）が分離同定されたABPMの1例
静岡県立総合病院 内藤 真希

- 血液培養より *Capnocytophaga canimorsus* が分離された 1 症例
浜松医療センター 坂口 実悠
- 血液培養から無莢膜型 *Haemophilus influenzae* が分離された細菌性副鼻腔炎の 1 例
富士市立中央病院 渡邊真理子
- 軟骨肉腫における SOX9 抗体の染色性評価
浜松医科大学医学部附属病院 波多野真衣
- 固定条件による免疫染色への影響
浜松医科大学医学部附属病院 馬場 正樹
- 当院の薄切における内部精度管理の取り組みと問題点
静岡県立総合病院 岩崎 朋弘
- 当院での病理支援システムについて
浜松医療センター 大塚 有紗
- 当院における病理結果報告の確認忘れ防止対策
富士市立中央病院 内野 有子
- 騒音検診における聴力低下について
聖隷予防検診センター 原田 佳奈
- 当院における術中モニタリングの現状と課題について
静岡県立総合病院 菊池 秀明
- 聖隷浜松病院てんかんセンターにおける臨床検査技師による脳波判読
聖隷浜松病院 山田 紗暉
- 心不全に合併したチェーン・ストークス呼吸を伴った中枢型無呼吸症候群の 1 例
NTT 東日本伊豆病院 佐々木祐美
- 頸動脈内膜剥離術における血行動態の変化が術中モニタリング (SEP) に与える影響
富士脳障害研究所附属病院 杉山 聡
- 刺激電極の違いによる経頭蓋筋誘発電位 (Br-MsEP) コントロール波形の導出率
浜松医療センター 平澤 英典
- 幼児期のアブレーションにより房室ブロックをきたしたと思われる一例
静岡県立総合病院 須田 雄亮
- 心エコー図法を用いた心不全重症度と BNP 濃度の比較検討
静岡県立総合病院 鈴木 駿輔
- 三尖弁人工弁輪が脱落した 1 例
市立島田市民病院 菅原安津美
- 超音波検査にて下行大動脈より分岐する異常動脈を認めた肺分画症の一例
静岡市立静岡病院 伊藤 彩
- 右冠動脈拡大・蛇行を伴った右冠動脈右室瘻の一例
静岡県立総合病院 小林久見子
- 脚気心の 1 例
遠州病院 山内 久実
- 当院で経験した CAT が疑われた一例
市立島田市民病院 八木 文悦
- granular sparkling は心アミロイドーシスの所見になりえるか
静岡県立総合病院 伊藤 佳尚
- 血管内皮カテーテル治療 (EVT) における足関節上腕血圧比 (ABI) の有用性について
富士市立中央病院 岩崎佐知子
- NYHA 心機能分類の実践的有用性の検討
静岡県立総合病院 鈴木 駿輔
- 乳腺細胞診外来を開始して
聖隷健康診断センター 土屋早誉佳
- 診断に苦慮した腓神経鞘腫の 1 例
磐田市立総合病院 松浦 由佳
- 超音波検査にて診断できた腸回転異常症に伴う中腸軸捻転の 4 歳児例
磐田市立総合病院 大井 直樹

- 短期間に発生した多発性肝腫瘍の1例
浜松労災病院 井上 良太
- 新生児脊髄超音波検査が有用であった一例
磐田市立総合病院 鈴木 悠子
- 腸重積が重症化し腸切除となったアレルギー性紫斑病の一例
聖隷三方原病院 中垣内有沙
- 下腹部超音波検査の最適条件の検討
聖隷予防検診センター 宮城 杏莉
- 当院における妊婦健診エコーの現状と将来性
富士市立中央病院 山本 純子
- JA 静岡厚生連臨床検査技師研修会での取り組み 人材育成を考える
遠州病院 鈴木 泰秀
- Burkitt様リンパ腫の一例
遠州病院 大井 賀広
- 膀胱原発 paraganglioma の1例
聖隷三方原病院 大場加央里
- 病棟で行なう四肢静脈エコー検査に対するCQI活動の取り組み
聖隷浜松病院 家本 知恵
- KYT活動の取り組みとその効果について
聖隷浜松病院 山田 茉樹
- 当院検査科の24時間体制の取り組み
静岡徳洲会病院 永原 隆之
- 糖尿病性腎症連携パスの取り組みについて
焼津市立総合病院 森 綾香
- 臨床検査技師の糖尿病教育入院への介入 ～第一報～ 介入事前調査 糖尿病教育入院アウトカム
静岡県立総合病院 村越 大輝
- 臨床検査技師の糖尿病教育入院への介入 ～第二報～ 検査説明の実践
静岡県立総合病院 久住 裕俊
- 地域医療連携 はままつCDE研究会活動報告 ～臨床検査技師に求められる事?～
遠州病院 伊藤 尚美
- インスリンポンプ導入指導における臨床検査技師の役割
静岡県立総合病院 小杉山晴香
- 当院における臨床検査技師としてのICTへの介入状況
市立御前崎総合病院 小栗 里美
- 血液培養陽性時におけるICT早期介入について
聖隷三方原病院 武田 貴子
- 心肺運動負荷試験への取り組み報告
聖隷三方原病院 秋山 安里
- 末梢血管カテーテル治療時における臨床検査部の取り組み
聖隷三方原病院 大隅 茜
- 当地区における排泄機能障害の実態
静岡厚生病院 黒田 倫枝
- 排泄ケア管理委員会の活動
静岡厚生病院 鈴木 篤
- 生理検査室における検査前説明に対する患者アンケート
静岡赤十字病院 栗原 五美
- 経腸栄養剤変更による状態改善例の報告
静岡県立こども病院 佐野 友紀
- 検査技師のNST参加方法の一考 不飽和脂肪酸管理用シート作成の試み
静岡県立こども病院 太田原慎也

一般演題座長

- 免疫血清 遠州病院 高林 保行
- 血液 三島総合病院 大橋 勝春
- 輸血 市立島田市民病院 亀山 拓哉
- 微生物 静岡県立総合病院 大石 和伸
- 静岡県立清水病院 池ヶ谷佳寿子
- 伊東市民病院 加藤美由紀
- 生理 富士脳障害研究所附属病院 植野 道治
- 聖隷浜松病院 谷高由利子
- 静岡県立総合病院 小林久見子
- 焼津市立総合病院 大村 博保
- 細胞 静岡県立静岡がんセンター 本田 勝文
- 管理運営 浜松市リハビリテーション病院 弘島 大輔
- チーム医療 聖隷三方原病院 清水美千絵
- 焼津市立総合病院 石原美弥子
- 焼津市立総合病院 内藤 章
- 静岡県立総合病院 匂坂 博美



平成27年度 日臨技中部圏支部 医学検査学会(第54回)

Home
ご挨拶
開催概要
プログラム
演題要項
講演要項
マスコットキャラクター
会場案内
アクセス
お問い合わせ
セミナー
展示会場
新設情報
過去の案内

学会テーマ

守破離

～ 臨床検査技師の目指す道、基本と今と未来を考える ～

— シミュレーションからイノベーションへ —

手 会 長 / 三宅 和秀 山形県厚生連 清水厚生病院 一般社団法人 静岡県臨床検査技師協会 会長

実行委員長 / 山口 浩司 聖隷三方原病院 一般社団法人 静岡県臨床検査技師協会 副会長

事務局長 / 齋田 明広 静岡県立総合病院 一般社団法人 静岡県臨床検査技師協会 幹事長

主 催 / 一般社団法人 日中臨床検査技師協会中部圏支部 後 援 / 一般社団法人 静岡県臨床検査技師協会

2015年
会 期 9/26(土)
27(日)

会 場 静岡県コンベンションアーツセンター (グランシップ)

新設情報！！

2015.02.04 「アクセス」を更新しました。

2015.01.31 「演題要項」を掲載しました。

2015.01.31 「お問い合わせ」および「新設情報」を公開しました。

2014.10.30 「定章(三章)」の公表の掲載しました。

平成27年度
日臨技中部圏支部
医学検査学会(第54回)

【学会事務局】
聖隷三方原病院 臨床検査部
〒420-0855
浜松市東区三方原南3453
TEL: 053-436-1251(代表)
FAX: 053-437-4600

【学会事務局】
静岡県立総合病院 検査部
〒420-0857
静岡市東区北安東4丁目2番1号
TEL: 054-247-6111(代表)
FAX: 054-247-6140

【運営事務局】
株式会社 ティオコンベンションアーツセンター
〒420-0903
静岡市東区道楽町7-6
TEL: 054-271-1015

静岡県医学検査学会

— 平成22年度スタート —

第1回静岡県医学検査学会

平成22年5月29日「浜松市地域情報センター」

【シンポジウム】

「時間外緊急検査（当直業務）のピットホール」

座長：上林 寛司（浜松労災病院）

1. 臨床化学「臨床化学における
時間外緊急検査（当直業務）のピットホール」
山本 剛（聖隷三方原病院）
2. 血液検査「血液検査は検体確認から」
市川佐知子（遠州病院）
3. 「時間外輸血検査を実施する時、知っておきたいこと」
塩崎 恵美（静岡県立総合病院）

【一般演題】

座長：松岡 敏彦（県西部浜松医療センター）

日本海裂頭条虫とランブル鞭毛虫の重複感染が見られた一症例

鈴木 泰秀（遠州病院）

フルオロキノロンに低感受性・耐性を示す三類感染症起因菌の検出推移

楠山 美保（静岡市立静岡病院）

ARCHITECT i 1000によるProGRPの基礎検討 ～時間経過に伴う値の変動～

落合 真澄（静岡県立総合病院）

HbA1cの測定法（免疫法とHPLC法）における基礎的比較検討

山本 計希（浜松労災病院）

聖隷臨床検査部門における超音波習熟度試験の試み

長田 真幸（聖隷三方原病院）



第2回静岡県医学検査学会

平成23年5月21日「男女共同参画センターあざれあ」

【シンポジウム】

「検査部におけるクレーム対応」

座長：高島 吉則（社会保険桜ヶ丘総合病院）

1. 採血業務における事例
橋本 仁美（順天堂大学医学部附属静岡病院）
2. 検体検査部門における事例
児玉由美子（順天堂大学医学部附属静岡病院）
3. 生理検査部門における事例
松岡 敏彦（浜松医療センター）
4. 検査機器トラブルによる検査報告遅延による事例
藪田 明広（静岡県立総合病院）

【一般演題】

座長：宇治川昌克（藤枝市立総合病院）

穏やかな経過をたどった熱帯熱マラリアの一症例

佐々木奈津美（浜松医療センター）



脳波検査で経験した中心側頭部焦点小児良性てんかんの一症例	齋藤 文香 (浜松医科大学附属病院)
β -Dグルカンの院内導入について学んだこと	久米 克英 (遠州病院)
ノロウイルス抗原迅速キットの比較検討	大竹麻衣子 (静岡県立こども病院)
特異な経過を示したたこつば型心筋障害と考えられた一例	村松志保美 (清水厚生病院)
採血について～標準採血法ガイドライン～	北野 遼 (清水厚生病院)
NTproBNPのおける有用性の検討～健康体力測定前のスクリーニング検査になるか？～	田中 芳次 (NTT東日本伊豆病院)
静岡県内12施設 303株における緑膿菌の薬剤感受性調査	佐野 克典 (沼津市立病院)

第3回静岡県医学検査学会

平成24年5月26日「三島市民文化会館ゆうゆうホール」

【シンポジウム】

「検査技師のスキルアップと認定制度」

座長：原田 勉 (沼津市立病院)

1. 各種認定資格取得に関するアンケート調査報告
勝又 俊郎 (順天堂大学医学部附属静岡病院)
2. 資格を取ってスキルアップを！
三原 利仁 (焼津市立総合病院 中央検査科)
3. 検査技師のスキルアップと認定制度
～認定一般技師を中心に～
岩崎佐知子 (富士市立中央病院)
4. 認定資格取得とスキルアップ
大畑 雅彦 (静岡赤十字病院)



【一般演題】

本院における微生物検査室からの情報発信	座長：海野 和浩 (共立蒲原総合病院)
結核菌群特異的分泌タンパクMPB64検出キットによる偽陽性を示した事例	石井 浩崇 (NTT東日本伊豆病院)
インフルエンザ混合ワクチン接種後における A (H1N1) pdm09型とB (ビクトリア系統) 型の抗体価の経時的変化について	栗岡 純子 (静岡県立総合病院)
F波検査が有用であった頸部脊柱管狭窄症の一症例	村越 大輝 (静岡県立総合病院)
本院におけるリウマチ患者関節エコー検査の取組みと課題 —関節エコー検査の撮像手段と評価方法の確立に向けて—	佐藤 晃 (熱海所記念病院)
HbA1cの国際標準化～本院の取組み～	長田 真幸 (聖隷三方原病院)
Pyro sequence法を用いたKRAS遺伝子変異の検出	中村 和也 (清水厚生病院)
	阿部 将人 (静岡県立静岡がんセンター)

第4回静岡県医学検査学会 平成25年6月22日「男女共同参画センターあざれあ」

【教育講演】

座長：横地 常広（静岡県立総合病院）
『日臨技としてのチーム医療への取り組み』
～優先課題「検査説明・相談のできる検査技師育成」～
日臨技チーム医療推進検討委員会委員長 奥田 勲 先生



【シンポジウム】

『チーム医療と求められる臨床検査科技師』～検査室の質向上を目指して～

座長：松岡 敏彦（浜松医療センター）

1. 「臨床検査情報管理室の活動報告」
清水美千絵（聖隷三方原病院）
2. 「当院の感染対策の活動報告」
谷崎 隆行（順天堂大学医学部附属静岡病院）
3. 「聖隷浜松病院臨床検査部のチーム医療への取り組み」
弘島 大輔（聖隷浜松病院）
4. 「新しいチーム医療の形：救命救急チームへの参加」
須田 雄亮（静岡県立総合病院）

【一般演題】

- 座長：加藤 智行（浜松医科大学附属病院）
- 自動分析法の導入における梅毒検査の効率化について
佐藤 晃（熱海所記念病院）
- Spring-roll法とSpiral array法を用いた免疫染色コントロールへの応用
五十嵐正人（浜松医療センター）
- JCI受審に向けた細菌検査室の取り組み
和田 侑子（聖隷浜松病院）
- 著明な白血球増多が見られた慢性白血病の1例
小林 祐子（遠州病院）
- 高感度トロポニンI測定試薬の基礎的検討～低濃度域測定を主眼とした検討結果からの考察～
野口 絵梨（静岡県立総合病院）
- トイレ一体型尿流量測定装置導入での臨床検査科の取り組み
島田 誠（熱海所記念病院）
- 聖隷三方原病院における病棟出張生理検査実地について
～脳卒中科病棟を対象とした活動と今後の展望～
望月 茜（聖隷三方原病院）
- 腹部超音波が発見契機となった腎静脈血栓症の15歳女児の一例
田口さやか（浜松医療センター）

第5回静岡県医学検査学会 平成26年6月14日「男女共同参画センターあざれあ」

【特別講演】

座長：横地 常広（静岡県臨床衛生検査技師会会長）
『超高齢化社会における臨床検査技師』
～私たちに“出番”はあるのか～
日本臨床衛生検査技師会会長 宮島 喜文 先生



【シンポジウム】

『施設の壁を越えた人材育成』～技師会として何ができるか～

座長：三宅 和秀（清水厚生病院）
施設の壁を越えた人材育成～技師会として何ができるか～病理編
加藤 智行（浜松医科大学附属病院）
「検査説明・相談ができる臨床検査技師」を目指して
弘島 大輔（聖隷浜松病院）
脱若手、中堅となる自分に何ができるか
鈴木 駿輔（静岡県立総合病院）
学術活動を人材育成の共有の場に～施設の壁、技師とメーカーの壁を越えて～
藺田 明広（静臨技学術部）

【一般演題①】

座長：市川千津子（静岡済生会総合病院）
ADVIA導入の効果
高崎 将一（静岡赤十字病院）
汎用自動分析装置によるCK-MBmassの性能評価と有用性について
小杉山晴香（静岡県立総合病院）
結核菌遺伝子検査LAMP法導入による効果について
島田 誠（熱海所記念病院）
聖隷浜松病院における脳波ネットワーク構築とその効果
深澤 聡（聖隷浜松病院）

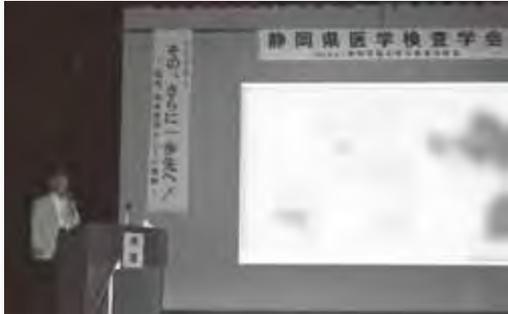
【一般演題②】

座長：栗原 五美（静岡赤十字病院）
バーコードを利用した病理検査の誤認防止
須藤 淳（静岡市立清水病院）
「胃がんリスク評価（ABC分類）」における偽A群の検討
古川由香利（伊豆保健医療センター）
院内感染対策への取り組み
岡田 宇史（遠州病院）
視野検査装置の検討～緑内障の早期発見を目指して～
福井 望（聖隷健康診断センター）

第6回静岡県医学検査学会 平成28年6月11日「男女共同参画センターあざれあ」

【特別講演】

テーマ『まんがと文学の中の寄生虫症』



座長：山口 浩司（静岡県臨床衛生検査技師会会長）

浜松医科大学 感染症学ウイルス学・寄生虫学分野
准教授 石井 明 先生



【シンポジウム】

『その、さらに一步先へ!』～“臨床”検査技師としての貢献～

座長：藪田 明広（静岡県立総合病院）

「検査室から一步先へ」検体採取を含む病棟業務の紹介

鈴木 貴之（聖隷袋井市民病院）

検査相談室を活用した検査説明・相談～臨床検査の専門家として～

濱田 悦子（浜松医科大学医学部附属病院）

糖尿病療養指導における臨床検査技師の取り組み

山内 久世（静岡県立総合病院）

【一般演題①】

座長：稲村 義男（順天堂大学医学部附属静岡病院）

当院での病棟採血の運用報告

川井 孝太（磐田市立総合病院）

外来患者インフルエンザウィルス検査における検体採取への取り組み

吉見太志郎（静岡厚生病院）

私が考える理想の臨床検査技師像！～学生の視点から～

伊藤 江美（静岡医療科学専門学校）

【一般演題②】

座長 鈴木 雅人（富士市立中央病院）

ソナゾイド造影超音波において 特異な造影所見を認めた細胆管細胞癌の一例

加藤 成美（聖隷浜松病院）

ソナゾイド造影超音波における肝血管腫診断の条件

藤田 悠乃（すずかけセントラル病院）

当院におけるICD遠隔モニタリングの導入と現状

細井 麻純（静岡市立静岡病院）

【一般演題③】

座長：杉澤きよ美（沼津市立病院）

初検時に汎血球減少が見られた悪性貧血と診断されるまでの一症例

土屋 明実（順天堂大学附属病院静岡病院）

XN3000における体空液検体測定の見直し

滝 創紀（富士宮市立病院）

当院病理検査室におけるホルムアルデヒド曝露への対策

宇野 圭祐（聖隷浜松病院）

自家製陽性コントロールを用いた輸血検査の試み

坂本 望泰（熱海所記念病院）



第7回静岡県医学検査学会 平成29年6月10日「男女共同参画センターあざれあ」

【特別講演】

座長：山口 浩司（静岡県臨床衛生検査技師会会長）
『共用基準範囲とJLAC検査項目コードの現在と未来：
臨床検査データの有効利用に向けて』
九州大学大学院医学研究院臨床検査医学分野教授
康 東天 先生



【シンポジウム】

『Open up a future～道をひらく！～』
座長：清水 憲雄（磐田市立総合病院）
臨床検査技師の内視鏡業務への参入
大井 直樹（磐田市立総合病院）
病棟業務量調査について
渡辺 真世（聖隷浜松病院）
熊本地震での臨床検査技師活動について
深澤 聡（聖隷三方原病院）



【一般演題①】

座長：羽切 政仁（聖隷沼津病院）／松本 誠司（静岡市立清水病院）
心電図検査において緊急性を認めた二症例
原田 紗希（静岡県立総合病院）
呼吸機能検査の予測式LMS法導入による結果判定への影響
増田 未優（静岡市立静岡病院）
検査室にとどまらない臨床検査技師になりたい
青木 真美（静岡医療科学専門学校）
術中経食道心エコー検査への参画について
中田 亜希（聖隷三方原病院）

【一般演題②】

座長：中島 和浩（市立島田市民病院）／勝又 隆子（富士宮市立病院）
在宅における検査業務（～検査の流れを中心に～）
大橋 悟（坂の上在宅医療支援医院）
当院が行ってきた廃棄血削減への取り組みとその経過報告
緑川沙也華（熱海所記念病院）
地域住民への健康意識向上のためのアプローチ法〈体験型イベントを通じて〉
鈴木 由花（岐阜医療科学大学）
当院における乳腺超音波検査の役割と位置づけ
鳥居 見咲（すずかけセントラル病院）



静岡県医学検査学会実行委員

第1回

平成22年度静岡県臨床衛生検査技師会役員

第2回

学会長：横地 常広 実行委員長：高島 吉則 副実行委員長：山口 賢 上林 寛司
事務局長：伊藤 喜章 他：平成23年度静岡県臨床衛生検査技師会役員

第3回

学会長：横地 常広 実行委員長：原田 勉 副実行委員長：三宅 和秀 松岡 敏彦
事務局長：伊藤 喜章 他：平成24年度静岡県臨床衛生検査技師会役員

第4回

学会長：横地 常広 実行委員長：松岡 敏彦 副実行委員長：原田 勉 三宅 和秀
事務局長：伊藤 喜章 他：平成25年度静岡県臨床衛生検査技師会役員

第5回

学会長：横地 常広 実行委員長：三宅 和秀 副実行委員長：松岡 敏彦 原田 勉
事務局長：伊藤 喜章 他：平成26年度静岡県臨床衛生検査技師会役員

第6回

学会長：鈴木 雅人 実行委員長：稲村 義男
学会事務局：井川 千春 杉澤きよ美 都築農夫志 渡邊 時治
他：平成28年度静岡県臨床衛生検査技師会役員 東部支部役員

第7回

学会長：清水 憲雄 実行委員長：直田健太郎 学会事務局：佐原 卓夫 鈴木真紀子
他：平成29年度静岡県臨床衛生検査技師会役員 西部支部役員

学術部門研修会等の活動

(平成14年度から29年度)

平成14年度

開催日	研修会名	開催会場
4/11	第2回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
4/13	肝・脾における診断プロトコール	静岡グランドホテル中島屋
5/25	チーム医療「糖尿病第3回」	あざれあ
6/1	肺気量とDLCO	静岡市立静岡病院
6/1	梅毒血清検査におけるBFPの反応メカニズム	あざれあ
6/1	血液検査研修会	静岡赤十字病院
6/13	第3回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
6/26	西部地区微生物研究班勉強会	聖隷三方原病院
6/29	生理検査研究班 心臓超音波検査研修会	富士市立中央病院
6/29	チーム医療「糖尿病第4回」	グランシップ
7/11	第4回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
7/13	血清検査研修会	アクトシティ浜松
7/27	一般検査研修会	田方保健医療対策協会附属病院
7/27	平成14年度微生物研究班研修会	ふしみやビル
7/27	第1回血清・血液・輸血研究班合同講演会「HLA」	グランシップ
7/27	病理細胞診従事者講演会	アクトシティ浜松
8/31-9/1	平成14年静岡県生理検査研修会	ウェルサンピア浜松
9/12	第5回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
9/21-22	第9回中部地区臨床化学検査研修会「翔—チーム医療—」	熱海ホテルパサニア
9/28	血液検査研修会	静岡赤十字病院
9/28	第2回輸血検査研究班講演会	あざれあ
10/5	中部支部細胞検査研修会	静岡赤十字病院
10/10	第6回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
11/16	第3回輸血検査研究班講演会	アクトシティ浜松
11/21	第7回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
11/30	輸血後肝炎の現状と将来	アクトシティ浜松
11/30	日本臨床細胞学静岡県支部従事者講習会	アクトシティ浜松
12/1	第19回静岡県医師会精度管理成績検討会	静岡県医師会館
12/7	生理検査研修会 超音波の基礎	聖隷健診センター
12/7	一般検査研修会	静岡市立清水病院
12/7	血液検査研修会	アクトシティ浜松
12/8	第3回中部地区遺伝子・染色体検査研修会	アクトシティ浜松
12/14	細胞診従事者講習会	静岡市立静岡病院
1/18-19	第20回管理研修会	バルパレス鷹匠
1/18	輸血検査における異常反応の考え方	静岡市
1/25-26	第19回中部地区一般検査研修会	清水ナショナルトレーニングセンター
2/2	第3回静岡血液フォーラム	静岡赤十字病院
2/13	第1回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
2/15	細胞診従事者講習会	県西部浜松医療センター
2/22	一般検査研修会	磐田市立総合病院
3/1	第4回輸血検査研究班講演会	アクトシティ浜松
3/1	ASP型精度管理システムQCLinxについて	三島市民文化会館
3/8-9	微生物検査研修会	グランシップ
3/15	血液・遺伝子検査研修会	あざれあ

平成15年度

開催日	研修会名	開催会場
4/10	第2回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
4/19	免疫学的便潜血検査における大腸癌検診のTQCについて	静岡市立清水病院
4/19	BCPを用いた新しい血清アルブミン定量法	グランシップ
4/26	中部支部細胞検査研修会	静岡赤十字病院
4/26	第1回静岡県輸血検査研究班基礎講演	アクトシティ浜松
4/27	生理検査研修会	富士市立中央病院
5/24	第2回静岡県輸血検査研究班基礎講演	あざれあ
5/24	形態セミナー	静岡赤十字病院
5/25	形態セミナー	沼津市立病院
5/31	レジオネラ 最近の話題	三島いきいきホール
6/12	第3回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
6/14	静岡県生理検査研修会	清水ナショナルトレーニングセンター
6/21	一般検査研修会	磐田市立総合病院
6/28	第3回静岡県輸血検査研究班基礎講演	アクトシティ浜松
7/5	絵で見る免疫学	グランシップ
7/10	第4回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
7/12	血液検査研修会	アクトシティ浜松
7/12	中部支部細胞検査研修会	静岡赤十字病院
7/13	初心者尿沈渣講習会	静岡市立清水病院
7/19	第1回血液輸血研究班合同講演会	静岡ホテルアソシア
8/9	細胞診従事者講習会	アクト研修交流センター
8/16	静岡県輸血検査研究班講演	あざれあ
9/11	第5回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
9/27	第17回日本臨床細胞学会関東連合会学術集会	あざれあ
9/27	「基礎の基礎」臨床検査のベーシック統計学①	三島商工会議所会館
10/18	「基礎の基礎」臨床検査のベーシック統計学②	あざれあ
10/18	中部支部細胞検査研修会	静岡赤十字病院
11/1	血液・遺伝子検査研修会(1)	あざれあ
11/1	第1回輸血研究班実技講習会	アクトシティ浜松
11/2	血液・遺伝子検査研修会(2)	静岡赤十字病院
11/8	第6回静岡県一般検査研修会	伊豆長岡温泉 けんぽ長岡
11/9	「呼吸機能ベッドサイド応用編」	焼津市立総合病院
11/14	第6回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
11/22	楽しく学ぼうHIVの基礎知識と最前線治療	クリエート浜松
11/29	BNPの臨床的意義と測定法について	アクトシティ浜松
12/6	超音波の基礎	聖隷健診センター
12/13	細胞診従事者講習会	静岡赤十字病院
12/20	第4回輸血検査研究班基礎講演会	アクトシティ浜松
1/10	第5回静岡県輸血検査研究班基礎講演	あざれあ
1/24	一般検査研修会	磐田市立総合病院
2/1	初心者尿沈渣講習会	静岡市立清水病院
2/7	西部細胞診研修会	クリエート浜松
2/12	平成16年第1回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
2/15	第4回静岡血液フォーラム	静岡赤十字病院
2/22	生理検査研修会	市立島田市民病院

平成16年度

開催日	研修会名	開催会場
4/8	平成16年第2回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
4/17	プロモーションコードの概要	あざれあ
5/29	第1回輸血研究班実技講習会	三島市民生涯学習センター

6/5	血液検査研修会	アクトシティ浜松
6/10	平成16年第3回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
6/26	静岡県基準範囲設定と脂質検査の基礎について研修会	ふしみやビル
6/26	細胞・病理研究班合同 尿路系細胞診講演会と症例検討会	浜松市地域情報センター
7/3	第18回中部地区生理検査研修会	ウェルサンピア浜松
7/8	平成16年第4回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
7/10	静岡県一般検査研修会	静岡厚生病院
7/10	輸血検査研究班臨時特別講演会	静岡県総合社会福祉会館
7/17	平成16年度第2回血液研修会	あざれあ
7/24	「基礎からの勉強」脂質検査の勉強会 第2回脂質異常検体の解析	あざれあ
7/31	絵で見る免疫学 基礎編	三島市民文化会館
7/31	中部支部細胞検査研修会	静岡赤十字病院
8/7	公開講演会「生活習慣病と検査」	あざれあ
8/7	第2回輸血検査講演会	アクトシティ浜松
8/21	脂質検査の基礎シリーズ(第3回)「脂質検査総論」	あざれあ
9/9	平成16年第5回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
9/11	第1回輸血・血液・免疫検査合同講演会	グランシップ
9/18	基礎シリーズ 代謝編1「更年期と生化学検査」	あざれあ
9/25	微生物班研修会(血液培養について)	静岡市民文化会館
10/14	平成16年第6回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
10/16	静岡県一般検査研修会	富士宮市立病院
10/16	細胞病理講演会	静岡済生会総合病院
10/23	基礎シリーズ 代謝編2「腎機能関連項目について」	あざれあ
10/30	中部支部細胞検査研修会「症例検討会」	静岡赤十字病院
10/30	甲状腺の基礎	あざれあ
11/6	第3回血液検査研修会	あざれあ
11/6	第11回中部微生物検査研究班宿泊研修会	カリアック
11/11	平成16年第7回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
11/18	第22回日本食品微生物学会学術セミナー(静岡):共催	あざれあ
11/20	基礎シリーズ 代謝編3「腎臓の代謝と検査データの見方」	あざれあ
11/23	腹部超音波講習会(初心者対象)	焼津市立総合病院
12/4	臨床化学基礎シリーズ 酵素編1「酵素項目の流れ」	ふしみや
12/4	超音波の基礎	聖隷健診センター
12/11	中部支部細胞検査研修会	静岡赤十字病院
12/11	第4回血液検査研修会	あざれあ
12/18	第2回血液・輸血研究班合同講演会	あざれあ
1/15	第5回血液検査研修会	三島市民文化会館
1/21	初心者のための心電図勉強会	アルフレッサ(株)沼津支店
1/29	第4回輸血検査研究班講習会	静岡県産業経済会館
1/29	臨床化学基礎シリーズ 酵素編2「AMY, Ch-E, 酵素項目の今後の進展」	あざれあ
2/10	平成17年度第1回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
2/11	静岡技研修会「もっと ² コミュニケーション」	ホテルサンバレー富士見
2/11	臨床化学研修会「どっぷり統計学」	ホテルサンバレー富士見
2/11	すぐに役立つ輸血実技講習会	ホテルサンバレー富士見
2/12	初心者のための尿沈渣 Ver. 2	遠州病院
2/26	細胞診従事者講習会	静岡赤十字病院
3/6	第5回静岡血液フォーラム	もくせい会館
3/25	初心者のための心電図勉強会	(株)スズケン

平成17年度

開催日	研修会名	開催会場
4/2	病理・細胞研究班合同研修会	静岡市立静岡病院
4/7	平成17年度第2回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院

4/9	第1回輸血研究班講演会	あざれあ
4/16	平成17年度第1回血液検査研修会	グランシップ
4/23	ドライケミストリーの最新事情	あざれあ
5/21	平成17年度第2回血液検査研修会	あざれあ
5/21	LIA法とTIA法の基礎と応用及びラテックスの匠	あざれあ
5/29	第3回寄生虫検査・実習研修会	浜松医科大学
6/9	平成17年度第3回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
6/11	中部細胞検査研修会	静岡赤十字病院
6/24	初心者のための心電図勉強会	アルフレッサ沼津支店
6/25	免疫グロブリンのサーベイにおける問題点および免疫項目の汎用機における留意点	あざれあ
7/2-3	静岡県微生物検査研究班 宿泊研修会	KKR宮ノ下
7/7	平成17年度第4回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
7/16	静岡県一般検査研修会	静岡厚生病院
7/16	第2回輸血研究班講演会	静岡県労政会館
7/23	安全なデータを提供するために ～PRT(検査実績課金方式)の場合～	あざれあ
8/6	(社)静岡県臨床衛生検査技師会公開講演会	あざれあ
8/20	第3回輸血研究班講演会	あざれあ
9/3	平成17年度第3回血液検査研修会	静岡市産学交流センター
9/8	平成17年度第5回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
9/10	静岡県寄生虫症研究会 第10回研究総会	アクトシティ浜松
9/18-19	平成17年静岡県生理検査研修会	グランシップ
10/1	中部細胞検査研修会	静岡赤十字病院
10/10	平成17年度第4回血液検査研修会	もくせい会館
10/13	平成17年度第6回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
10/15	HBV変異とオカルトHBV	三島市民文化会館
10/22	第4回輸血研究班講演会	フォルテ
10/29	膠原病を疑ったときの検査の進め方	あざれあ
10/29	糖尿腎症における検査の重要性	あざれあ
11/10	平成17年度第7回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
11/12	ペースメーカー勉強会(ペースメーカーの基礎～最新情報まで)	島田市保健福祉センターはなみずき
11/19	静岡県一般検査研修会	富士宮市立病院
11/19	第5回輸血研究班講演会	あざれあ
12/10	第6回輸血研究班講演会	あざれあ
12/10	中部細胞検査研修会	静岡赤十字病院
12/11	第10回血液形態セミナー	あざれあ
2/4-5	静臨技管理技研修会「これからの臨床検査技師に求められるもの」	カリアック
2/4	細胞診従事者講習会	浜松市地域情報センター
2/18	細胞診従事者講習会	焼津市立総合病院
2/18	ISO15189の求めているもの(審査を受けてみて)	静岡赤十字病院
2/19	第6回静岡血液フォーラム	もくせい会館
3/4	第1回輸血研究班症例検討会	静岡市商工会議所

平成18年度

開催日	研修会名	開催会場
4/21	平成18年度第1回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
5/27	平成18年度第1回血液検査研修会	あざれあ
6/17	平成18年度静岡県輸血検査研修会	静岡産業経済会館
6/17	国際標準法と整合性を有する血清鉄測定試薬について	静岡商工会議所
6/24	中部支部細胞検査研修会	静岡赤十字病院
7/1	静岡糖尿病療養指導スキルアップの会	富士通富士フォーラム
7/1	第1回西部地区微生物検査研究班研修会	浜松医科大学

7/1	静岡県一般検査研修会	クリエート浜松
7/14	平成18年度第2回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
7/15	平成18年度第2回血液検査研修会	静岡赤十字病院
7/22	腎機能評価と臨床化学検査・腎臓病マーカー（シスタチンC）	あざれあ
7/29	静岡県中部地区微生物検査研究班研修会	市立島田市民病院
7/29	HIV検査の重要性	浜松プレスタワー
8/5	平成18年度第2回静岡県輸血検査研修会	アクトシティ浜松
9/2	平成18年度第3回血液検査研修会	静岡赤十字病院
9/9	静岡県寄生虫研究会 第11回研究総会	アクトシティ浜松
9/30	平成18年静岡県生理検査研修会	清水ナショナルトレーニングセンター
9/30	第3回微生物検査研究班研修会（西部担当）	浜松医科大学
9/30	平成18年度第3回静岡県輸血検査研修会	あざれあ
9/30	細胞検査研修会（中部担当第2回）	静岡赤十字病院
10/14	平成18年度第4回血液検査研修会	もくせい会館
10/14	静岡県微生物検査研究班研修会	あざれあ
10/27	第57回日本電気泳動学会総会	アクトシティ浜松
11/10	聴力検査の基礎講習会	沼津市立病院
11/11	静岡県一般検査研修会	静岡厚生病院
11/11	第1回静岡いびき・睡眠時無呼吸研究会	浜松市地域情報センター
11/17	平成18年度第3回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
11/19	静岡県輸血特別研修会	焼津市立総合病院
11/19	平成18年度静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会	静岡県医師会館
12/2	超音波の基礎	聖隷浜松病院
12/2	静岡県中部地区微生物検査研究班研修会	静岡市立清水病院
12/9	平成18年度第11回血液形態セミナー（講義）	静岡赤十字病院
12/9	微生物検査研究班研修会（西部第4回）	アクトシティ浜松
12/10	平成18年度第11回血液形態セミナー（実習）	静岡赤十字病院
12/16	中部担当細胞検査研修会（第3回）	静岡赤十字病院
1/20	細胞検査研究班研修会（日本臨床細胞学会静岡県支部合同）	アクトシティ浜松
1/20	静臨技研修会「新人研修会Freshman集合」	富士ハイツ
1/27	微生物検査研究班研修会（西部第5回）	浜松医科大学
1/27	蛋白分画の基礎	静岡商工会議所
1/27	静臨技研修会	三島商工会議所
2/17	平成18年度第4回静岡県輸血検査研修会	アクトシティ浜松
2/18	血ガス研修会	富士市立中央病院
2/25	第7回静岡血液フォーラム	もくせい会館
3/10	第11回中部免疫血清検査研究班研修会	熱海ニューフジヤホテル
3/10	一般検査研修会	静岡厚生病院
3/17	中部担当細胞検査研修会（第4回）	静岡赤十字病院

平成19年度

開催日	研修会名	開催会場
4/20	平成19年度第1回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
4/21	微生物検査研究班研修会（西部第1回）	聖隷浜松病院
5/12	平成19年度第1回静岡県輸血検査研修会	静岡労政会館
5/12	静岡県一般検査研修会	静岡厚生病院
5/20	第4回寄生虫検査・実習研修会	浜松医科大学
5/26	平成19年度第1回血液検査研修会	クーポール会館
6/9	一般検査研修会	静岡厚生病院
6/23	微生物検査研究班研修会（西部第7回）	掛川市立総合病院
6/29	平成19年度第2回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
6/30	中部担当細胞検査研修会（第1回）	静岡赤十字病院
6/30	静岡糖尿病療養指導スキルアップの会	共栄火災富士研修センター

7/14	平成19年度静岡県微生物検査研究班宿泊研修会	アルパインハウス
7/21	平成19年度第2回静岡県輸血検査研修会	アクトシティ浜松
7/28	心筋マーカー関連項目とヘモグロビンA1cの標準化について	静岡商工会議所
9/8	静岡県寄生虫症研究会 第12回研究総会	アクトシティ浜松
9/8	平成19年度第2回血液検査研修会	静岡赤十字病院
9/16	心電図セミナー初級編	静岡労政会館
9/29	中部担当細胞検査研修会(第2回)	静岡赤十字病院
10/6	乳腺超音波を学ぶ・基礎を中心に	聖隷浜松病院
10/20	平成19年度第3回静岡県輸血検査研修会	静岡労政会館
10/27	平成19年静岡県生理検査研修会	清水ナショナルトレーニングセンター
10/27	第2回いびき・睡眠時無呼吸研究会	アクトシティ浜松
10/27	第5回中部地区病理研究班、第3回中部地区細胞診研究班合同研修会	浜松医科大学
11/10	免疫血清・臨床化学合同研修会「NT-proBNP」について	静岡県産業経済会館
11/16	平成19年度第3回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
11/17	微生物検査研究班研修会(西部第3回)	磐田市立総合病院
12/1	第23回中部地区血液検査研修会	グランシップ
12/1	静岡県微生物検査研究班研修会	グランシップ
12/1	ホルター心電図勉強会	焼津市立総合病院
12/8	平成19年度第4回輸血検査研修会	静岡労政会館
12/8	中部担当細胞検査研修会(第3回)	静岡赤十字病院
1/26	免疫血清・臨床化学合同研修会	もくせい会館
2/9	平成19年度第5回静岡県輸血検査研修会	三島市民文化会館
2/9	微生物検査研究班研修会(西部第4回)	浜松医科大学
3/2	第8回静岡血液フォーラム	もくせい会館
3/22	中部担当細胞検査研修会(第4回)	静岡赤十字病院
3/29	静岡県一般検査研修会	遠州病院

平成20年度

開催日	研修会名	開催会場
4/25	平成20年度第1回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
5/17	平成20年度第1回静岡県輸血検査研修会	あざれあ
6/21	平成20年度静岡県微生物検査研究班・第1回研修会	静岡市立静岡病院
6/21	細胞検査研修会(中部担当第1回)	静岡赤十字病院
6/27	平成20年度第2回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
6/29	静岡県初級輸血実技研修会	三島オリパス株式会社
7/5	平成20年度静岡糖尿病療養指導スキルアップの会	共栄火災富士研修センター
7/12	平成20年度静岡県微生物検査研究班・第2回研修会	静岡市立静岡病院
7/12	平成20年度第1回血液検査研修会	ふしみやビル
8/29	第48回日本臨床化学会年次学術集会	静岡文化芸術大学
9/6	平成20年度第2回静岡県輸血検査研修会	浜松フォルテ
9/7	心電図セミナー初級編	グランシップ
9/13	静岡県寄生虫症研究会 第13回研究総会	アクトシティ浜松
9/13	平成20年度細胞検査研修会西部担当第1回	聖隷三方原病院
9/27	平成20年度細胞検査研修会(中部担当第2回)	静岡赤十字病院
10/18	平成20年度静岡県微生物検査研究班・第3回研修会	クリエイト浜松
10/18	平成20年度第2回血液検査研修会	静岡赤十字病院
11/8	平成20年生理検査研修会	静岡済生会総合病院
11/16	平成20年度静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会	静岡県医師会館
11/21	平成20年度第3回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
11/22	第3回静岡いびき・睡眠時無呼吸研究会	アクトシティ浜松
11/29	静岡臨技新人研修会「目指そう!スキルアップ」	ホテルサンバレー富士見
11/29	静岡県一般検査研修会	もくせい会館
11/29	血液・細胞研究班合同研修会	沼津市立病院

12/6	病理検査・細胞検査 免疫染色研修会	グランシップ
12/6	平成20年度静岡県微生物検査研究班・第4回研修会	静岡がんセンター
12/13	平成20年度第3回静岡県輸血検査研修会	静岡県産業経済会館
12/13	中部担当細胞検査研修会(第3回)	静岡赤十字病院
1/17	臨床化学免疫血清研究班合同研修会	あざれあ
1/17	超音波の基礎勉強会	聖隷健康診断センター
1/23	日本総合健診医学会第37回大会	グランシップ
1/31	中部地区臨床化学検査研修会	浜名湖ロイヤルホテル
2/7	平成20年度第4回静岡県輸血検査研修会	三島商工会議所
2/14	第25回中部地区一般検査研修会	浜松医科大学
2/28	細胞検査研究班研修会(日本臨床細胞学会静岡県支部合同)	クリエイト浜松
2/28	一般公開講演	あざれあ
3/7	平成20年度静岡県微生物検査研究班・第5回研修会	静岡市立静岡病院
3/8	第9回静岡血液フォーラム	あざれあ
3/14	中部担当細胞検査研修会(第4回)	静岡赤十字病院

平成21年度

開催日	研修会名	開催会場
4/4	平成21年度病理検査研修会(第1回目)	あざれあ
4/18	平成21年度静岡県微生物検査研究班・第1回研修会	アクトシティ浜松
4/24	平成21年度第1回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
5/9	平成21年度第1回静岡県輸血検査研修会	あざれあ
5/16	平成21年度静岡県微生物検査研究班・第2回研修会	静岡市立静岡病院
5/24	静岡県寄生虫研究会・第5回寄生虫検査実習研修会	浜松医科大学付属病院
5/30	平成21年度静岡県生理検査研修会	グランシップ
6/6	平成21年度第1回血液検査研修会	遠州病院
6/13-14	静岡県微生物検査研究班・技術講習会(第1回)	静岡がんセンター
6/13	中部支部細胞検査研修会(第5回)	静岡赤十字病院
6/19	平成21年度第2回東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
6/20-21	静岡県微生物検査研究班・技術講習会(第2回)	静岡がんセンター
6/27-28	静岡県微生物検査研究班・技術講習会(第3回)	浜松医科大学付属病院
6/27	平成21年度第1回静岡県一般検査研修会	もくせい会館
7/4-5	静岡県微生物検査研究班・技術講習会(第4回)	浜松医科大学付属病院
7/5	第1回“みんなで学ぼう”糖尿病研究会—静岡	グランシップ
7/25	平成21年度第2回静岡県輸血検査研修会	アクトシティ浜松
9/5	平成21年度第2回血液検査研修会	静岡赤十字病院
9/12	静岡県寄生虫研究会 第14回研究総会	アクトシティ浜松
9/12	平成21年度第3回静岡県輸血検査研修会	あざれあ
9/26	臨床化学免疫血清合同研修会	静岡赤十字病院
10/3	中部担当細胞検査研修会(第4回)	静岡赤十字病院
11/7-8	第48回中部医学検査学会	三島市民文化会館
11/20	平成21年度東部細胞診症例検討会	沼津市立病院
11/21	平成21年度新人研修会	アクトシティ浜松
11/21	第6回細胞検査研究班研修会	遠州病院
12/12	平成21年度微生物検査研究班第3回研修会	静岡市立静岡病院
12/12	第7回細胞検査研修会(中部支部担当)	静岡赤十字病院
1/17	平成21年度静岡臨技管理監督者研修会	アクトシティ浜松
1/23	超音波検査の基礎研修会	聖隷浜松病院
2/13	平成21年度微生物検査研究班第4回研修会	静岡市立静岡病院
2/13	平成21年度第4回静岡県輸血検査研修会	静岡県産業経済会館
2/20	平成21年度第2回静岡県一般検査研修会	もくせい会館
3/7	第10回静岡血液フォーラム	静岡市立静岡病院
3/13	細胞診従事者講習会	静岡市立静岡病院

3/13	静岡県臨床検査データ標準化事業報告会	静岡県看護協会会館
3/21	平成21年度病理検査・細胞検査合同研修会	アクトシティ浜松

平成22年度

開催日	研修会名	開催会場
4/23	平成22年度第1回細胞検査研修会（東部地区）	沼津市立病院
5/22	平成22年度第1回静岡県輸血検査研修会	あざれあ
5/29	第1回静岡県医学検査学会	浜松市地域情報センター
6/12	平成22年度第1回血液検査研修会	静岡赤十字病院
6/18	平成22年度第2回細胞検査研修会（東部地区）	沼津市立病院
6/19	平成22年度第1回静岡県病理検査・細胞検査合同研修会	あざれあ
6/26-27	平成22年度静岡糖尿病療養指導スキルアップの会	富士研修センター
6/26	平成22年度微生物検査研究班第1回研修会	掛川市立総合病院
7/11	静岡県生理検査研修会・心電図勉強会（初級～中級）	静岡済生会総合病院
7/24-25	第15回中部臨床衛生検査技師会・輸血検査研修会	静岡市立静岡病院
7/24	第1回静岡県一般検査研修会	パルシェ静岡
7/24	平成22年度第3回細胞検査研修会（中部地区）	静岡赤十字病院
7/31	平成22年度第2回静岡県病理検査研修会	あざれあ
9/4	平成22年度微生物検査研究班第2回研修会	あざれあ
9/4	平成22年度第2回血液検査研修会	静岡赤十字病院
9/11	静岡県寄生虫症研究会 第15回研究総会	アクトシティ浜松
9/25	平成22年度第4回細胞検査研究班研修会	遠州病院
10/2	静岡県臨床検査データ標準化委員会研修会	グランシップ
10/2	第2回静岡県一般検査研修会	アクトシティ浜松
10/9-10	第17回中部臨床衛生検査技師会・微生物検査研修会	あざれあ
10/23	第5回静岡いびき・睡眠時無呼吸研究会	アクトシティ浜松
11/6	平成22年度第2回静岡県輸血検査研修会	静岡県産業経済会館
11/6	平成22年度第5回細胞検査研究班研修会	遠州病院
11/13	平成22年度第3回血液検査研修会	静岡市立静岡病院
11/15	静岡県標準化事業（焼津・榛原地区意見交換研修会）	焼津市立総合病院
11/19	平成22年度第6回細胞検査研修会（東部地区）	沼津市立病院
11/19	浜松市衛生検査所精度管理責任者研修会	浜松市保健所
11/25	静岡県標準化事業（富士地区意見交換研修会）	富士市立中央病院
11/26	平成22年度第2回生理検査研修会	富士市立中央病院
11/27	静岡県・静岡市・衛生検査所精度管理責任者研修会	あざれあ
12/11	平成22年度第3回静岡県輸血検査研修会	静岡労政会館
12/12	平成22年度静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会	あざれあ
12/18	平成22年度微生物検査研究班第3回研修会	あざれあ
12/18	平成22年度第7回細胞検査研修会（中部地区）	静岡赤十字病院
12/25	第3回生理検査研修会・超音波の基礎勉強会	聖隷浜松病院
1/22	平成22年度第3回一般検査研究班研修会	富士市立中央病院
2/5	平成22年度第4回静岡県輸血検査研修会	静岡県産業経済会館
2/19-20	第24回中部臨床衛生検査技師会・生理検査研修会	浜名湖カリアック
2/19	平成22年度第8回細胞検査研究班研修会	静岡赤十字病院
2/20	第11回静岡血液フォーラム	パルシェ静岡
3/12	平成22年度第4回一般検査研究班研修会	あざれあ
3/16	静岡県標準化事業（浜松地区意見交換研修会）	遠州病院

平成23年度

開催日	研修会名	開催会場
4/23	平成23年度微生物検査研究班第1回研修会	三島市民文化会館
5/14	平成23年度第1回血液検査研修会	静岡赤十字病院
5/21	第2回静岡県医学検査学会	あざれあ

5/28	平成23年度第1回静岡県輸血検査研修会	静岡労政会館
5/29	日臨技認定更新指定講習会 寄生虫検査実習研修会	浜松医科大学
6/17	平成23年度第1回細胞検査研修会	沼津市立病院
6/18	平成23年度第2回細胞検査研修会	静岡赤十字病院
6/25	平成23年度第1回静岡県一般検査研修会	あざれあ
7/2	平成23年度第2回静岡県一般検査研修会	静岡パルシェ
7/2	平成23年度第2回血液検査研修会	静岡赤十字病院
7/9	平成23年度第3回静岡県一般検査研修会	静岡パルシェ
7/16	平成23年度第1回静岡県病理検査研修会	遠州病院
7/30	平成23年度第1回生理検査研修会	静岡県立総合病院
7/30	平成23年度第2回静岡県輸血検査研修会	沼津労政会館
9/10	静岡県寄生虫症研究会	アクトシティ浜松
9/10	平成23年度微生物検査研究班第2回研修会	あざれあ
9/17	平成23年度第3回細胞検査研修会	静岡赤十字病院
9/22	静岡県標準化事業・東部地区意見交換研修会	三島商工会議所
10/1	平成23年度微生物検査研究班第3回研修会	市立島田市民病院
10/1	平成23年度第4回細胞検査研究班研修会	遠州病院
10/1	平成23年度第3回静岡県輸血検査研修会	アクトシティ浜松
10/15	平成23年度第3回血液検査・第5回一般検査合同研修会	グランシップ
10/16	平成23年度第2回生理検査研修会	ふじさんめっせ
10/29	平成23年度第2回静岡県病理検査研修会	静岡市立静岡病院
10/30	平成23年度健康食品管理士会中部支部研修会	浜松市地域情報センター
11/5	平成23年度第4回血液検査研修会	静岡市立静岡病院
11/18	平成23年度第5回細胞検査研究班研修会	沼津市立病院
11/22	静岡県標準化事業・東部地区意見交換研修会	三島商工会議所
11/24	平成23年度浜松市衛生検査所精度管理責任者等研修会	浜松市口腔保健センター
11/26	平成23年度第4回輸血検査研修会	静岡労政会館
11/27	平成23年度静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会	あざれあ
12/10	平成23年度静岡県衛生検査所精度管理責任者等研修会	あざれあ
12/11	平成23年度第3回静岡県生理検査研修会	浜松医療センター
12/17	平成23年度第6回細胞検査研修会	静岡赤十字病院
1/21	免疫測定機器の比較	静岡市立静岡病院
1/22	静岡県標準化事業・東部地区意見交換研修会	沼津市立病院
2/4	平成23年度第7回細胞検査研究班研修会	遠州病院
2/11	平成23年度第5回静岡県輸血検査研修会	静岡労政会館
2/18	臨床検査データ標準化委員会研修会	静岡労政会館
2/18	平成23年度第3回病理検査研修会	静岡赤十字病院
2/26	第12回静岡血液フォーラム	あざれあ
3/10	平成23年度第8回細胞検査研究班研修会	静岡赤十字病院
3/17	平成23年度微生物検査研究班第4回研修会	静岡パルシェ

平成24年度

開催日	研修会名	開催会場
4/21	平成24年度第1回臨床化学研究班研修会	静岡赤十字病院
5/12	平成24年度第1回血液検査研究班研修会	ふしみやビル
5/19	平成24年度第1回一般検査研究班研修会	ペガサート
5/19	平成24年度日本臨床細胞学会静岡県支部春季学術集会	静岡市立静岡病院
6/23	平成24年度第1回静岡県標準化事業講習会	静岡県立総合病院
6/30-7/1	平成24年度静岡糖尿病療養指導スキルアップの会	静岡第一ホテル
6/30	平成24年度第1回輸血検査研究班研修会	労政会館
6/30	平成24年度第2回病理細胞検査研究班研修会	静岡がんセンター
7/7	平成24年度第2回血液検査研究班研修会	静岡商工会議所
7/20	静岡県標準化事業 第5回東部地区意見交換会	三島市民文化会館

8/25	平成24年度第3回病理細胞検査研究班研修会	静岡赤十字病院
9/8	静岡県寄生虫研究会 第17回研究総会	アクトシティ浜松
9/8	平成24年度第3回血液検査研究班研修会	静岡市立静岡病院
9/16	平成24年度第1回生理検査研究班研修会	静岡済生会総合病院
9/22	平成24年度第2回輸血検査研究班研修会	沼津労政会館
9/29	平成24年度第2回一般検査研究班研修会	富士市立中央病院
10/5	静岡県標準化事業 第1回志太中遠地区意見交換会	市立島田市民病院
10/13	平成24年度日本臨床細胞学会静岡県支部秋期学術集会	静岡市立静岡病院
10/20	第7回静岡いびき・睡眠時無呼吸研究会	グランシップ
10/27	平成24年度臨床化学・静岡県標準化委員会合同講習会	静岡県立総合病院
10/27	平成24年度第4回血液検査研究班研修会	ペガサート
11/8	平成24年度浜松市衛生検査所精度管理責任者等研修会	口腔保健医療センター
11/10	平成24年度第2回生理検査研修会	浜松医療センター
11/16	静岡県標準化事業 第6回東部地区意見交換	三島市民文化会館
11/17	平成24年度第1回微生物検査研究班研修会	静岡県立総合病院
11/18	平成24年度日本臨床細胞学会静岡県支部秋期研修会	静岡赤十字病院
11/22	平成24年度第4回病理細胞検査研究班研修会	沼津市立病院
12/8	平成24年度「西部地区細胞診従事者講習会」	遠州病院
12/9	平成24年度第3回生理検査研究班研修会	三島市民文化会館
12/15	平成24年度第2回微生物検査研究班研修会	ふしみやビル
12/16	平成24年度静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会	グランシップ
12/22	平成24年度病理・細胞診に関する講演会と症例検討会	クリエート浜松
1/12	平成24年度第5回病理細胞検査研究班研修会	静岡赤十字病院
1/12	平成24年度第2回病理・細胞診に関する講演会	アクトシティ浜松
1/19	平成24年度第3回輸血検査研究班研修会	あざれあ
1/19	平成24年度第6回病理細胞検査研究班研修会	静岡市立静岡病院
1/26-27	平成24年度中部圏支部微生物検査伝達講習会	静岡市立静岡病院
2/2	平成24年度細胞診従事者講習会	沼津市立図書館
2/15	静岡県標準化事業 第7回東部地区意見交換会	三島市民文化会館
3/2	平成24年度細胞診従事者講習会	静岡赤十字病院
3/9	平成24年度第7回病理細胞検査研究班研修会	静岡赤十字病院
3/17	平成24年度第3回微生物検査研究班研修会	静岡県立総合病院
3/24	第13回静岡血液フォーラム	あざれあ

平成25年度

開催日	研修会名	開催会場
4/13	平成25年度第1回臨床化学研究班研修会	静岡赤十字病院
4/20	平成25年度第1回血液検査研究班研修会	静岡市立静岡病院
4/27	平成25年度第1回一般検査研究班研修会	浜松市地域情報センター
5/11	平成25年度第1回輸血検査研究班研修会	あざれあ
5/18	平成25年度日本臨床細胞学会静岡県支部春期学術集会	静岡市立静岡病院
5/24	静岡県標準化事業第2回中西部地区意見交換会	市立島田市民病院
5/26	第7回寄生虫検査・実習研修会	浜松医科大学
6/14	平成25年度第1回病理細胞検査研究班研修会	沼津市立病院
6/28	静岡県標準化事業 第8回東部地区意見交換会	三島市民文化会館
7/6	平成25年度第2回血液検査研究班研修会	ニッセイ静岡駅前ビル
7/13	平成25年度第2回輸血検査研究班研修会	アクトシティ浜松
7/20	平成25年度第1回静岡県標準化事業講習会	静岡県立総合病院
7/27	平成25年度第2回病理細胞検査研究班研修会	静岡赤十字病院
8/23	静岡県標準化事業 第1回静岡市(地区)意見交換会	静岡県立総合病院
9/14	静岡県寄生虫研究会 第18回研究総会	アクトシティ浜松
9/28	平成25年度第2回臨床化学研究班研修会	静岡赤十字病院
9/28	平成25年度第2回一般検査研究班研修会	グランシップ

10/12	平成25年度第1回微生物検査研究班研修会	あざれあ
10/18	静岡県標準化事業 第2回西部地区意見交換会	遠州病院
10/19	平成25年度第3回血液検査研究班研修会	静岡市立静岡病院
10/26	平成25年度第1回生理検査研究班研修会	焼津市立病院
10/26	平成25年度日本臨床細胞学会秋期学術集会	静岡市立静岡病院
11/8	静岡県標準化事業 第9回東部地区意見交換	三島市民文化会館
11/14	平成25年度浜松市衛生検査所精度管理責任者等研修会	口腔保健医療センター
11/15	平成25年度第3回病理細胞検査研究班研修会	沼津市立病院
11/16	平成25年度秋期研修会「第1回ワークショップ」	静岡がんセンター
11/23	平成25年度第2回生理検査研究班研修会	三島市民文化会館
11/24	平成25年度秋期研修会「第2回ワークショップ」	静岡赤十字病院
11/29	静岡県標準化事業 第3回中西部地区意見交換会	市立島田市民病院
12/14	平成25年度第3回生理検査研究班研修会	浜松医療センター
12/14	平成25年度第2回微生物検査研究班研修会	中東遠総合医療センター
12/15	第14回静岡血液フォーラム	静岡市立静岡病院
1/19	平成25年度第3回輸血検査研究班研修会	沼津血液センター
1/25	平成25年度第3回臨床化学研究班研修会	静岡赤十字病院
1/25	平成25年度第4回輸血検査研究班研修会	あざれあ
1/25	平成25年度第4回病理細胞検査研究班研修会	静岡赤十字病院
2/15	平成25年度第3回一般検査研究班研修会	静岡がんセンター
2/22	細胞診従事者講習会	静岡赤十字病院
2/24	平成25年度第3回微生物検査研究班研修会 災害感染症対策セミナー in SHIZUOKA	静岡県立総合病院
3/1	平成25年度第2回静岡県標準化委員会講習会	静岡県立総合病院
3/7	静岡県標準化事業 第10回東部地区意見交換	三島市商工会議所
3/15	平成25年度第4回微生物検査研究班研修会	静岡県立総合病院

平成26年度

開催日	研修会名	開催会場
4/26	平成26年度第1回輸血・細胞治療部門研修会	あざれあ
5/17	静岡県臨床細胞学会 第35回春期学術集会	静岡市立静岡病院
5/24	平成26年度第1回生物化学分析部門研修会	静岡赤十字病院
5/31	平成26年度第1回臨床血液部門研修会	ペガサート
6/7	平成26年度第1回臨床一般部門研修会	パルシェ
6/21	静岡県標準化事業 第4回中西部意見交換会	市立島田市民病院
6/21	平成26年度第1回病理細胞部門研修会	静岡赤十字病院
6/29	平成26年度第2回病理細胞部門研修会	静岡市立静岡病院
7/1	平成26年度第1回臨床微生物部門研修会	静岡市立静岡病院
7/18	静岡県標準化事業 第11回東部地区意見交換	三島市民文化会館
7/26	平成26年度第2回輸血・細胞治療部門研修会	あざれあ
9/13	静岡県寄生虫症研究会 第19回研究総会	アクトシティ浜松
9/13	平成26年度第2回臨床血液部門研修会	静岡市立静岡病院
9/20	平成26年度第2回生物化学分析部門研修会	静岡赤十字病院
10/13	平成26年度第1回臨床生理部門研修会	静岡市立静岡病院
10/18	第8回静岡いびき・睡眠時無呼吸研究会	グランドホテル浜松
10/19	平成26年度医療安全研修会	静岡市立静岡病院
10/25	平成26年度第2回臨床一般部門研修会	三島商工会議所
10/25	平成26年度第2回臨床微生物部門研修会	磐田市立総合病院
10/25	平成26年度静岡県臨床細胞学会秋期学術集会	静岡市立静岡病院
10/25	平成26年度第3回輸血・細胞治療部門研修会	アクトシティ浜松
10/31	静岡県標準化事業 第5回中西部地区意見交換会	市立島田市民病院
11/14	静岡県標準化事業 第12回東部地区意見交換会	三島市民文化会館
11/16	平成26年度秋期研修会「第1回ワークショップ」	静岡市立静岡病院

11/22	平成26年度第2回臨床生理部門研修会	ふじさんめっせ
11/22	平成26年度第3回臨床微生物部門研修会	静岡県教育会館
11/22	平成26年度第4回輸血・細胞治療部門研修会	静岡労政会館
11/29	平成26年度秋期研修会「第2回ワークショップ」	静岡がんセンター
12/13	平成26年度第1回染色体・遺伝子部門研修会	静岡赤十字病院
12/20	平成26年度静岡県衛生検査所精度管理責任者等研修会	静岡県産業経済会館
1/10	超音波基礎研修会	聖隷浜松病院
2/8	第15回静岡血液フォーラム	静岡市立静岡病院
2/13	静岡県標準化事業 第13回東部地区意見交換	三島市民文化会館
2/15	平成26年度第5回静岡県輸血検査研修会	静岡県赤十字血液センター
2/28	平成26年度第2回遺伝子・染色体部門研修会	静岡赤十字病院
3/14	平成26年度第3回病理細胞部門研修会	ペガサート
3/14	平成26年度第4回臨床微生物部門研修会	ペガサート

平成27年度

開催日	研修会名	開催会場
4/25	平成27年度第1回臨床血液部門研修会	静岡市立静岡病院
5/23	静岡県臨床細胞学会 第36回春期学術集会	静岡市立静岡病院
5/24	第8回寄生虫検査・実習研修会	浜松医科大学
6/6	第5回伊豆長岡糖尿病療養指導士セミナー	プラサ ヴェルデ
6/27	平成27年度第1回染色体・遺伝子部門研修会	静岡赤十字病院
7/4	平成27年度第1回生物化学分析部門研修会	静岡市立静岡病院
7/5	平成27年度第1回臨床生理部門研修会	ふじさんめっせ
7/11	平成27年度第1回臨床一般部門研修会	パルシェ
7/11	平成27年度第1回臨床微生物部門研修会	静岡市立静岡病院
7/18	平成27年度第1回病理細胞検査研修会	静岡赤十字病院
7/18	平成27年度第1回輸血・細胞治療部門研修会	あざれあ
7/25	平成27年度第2回病理細胞検査研修会	静岡赤十字病院
7/25	平成27年度第2回臨床血液部門研修会	静岡市立静岡病院
9/11	静岡県標準化事業 第6回中西部地区意見交換会	市立島田市民病院
9/12	静岡県寄生虫症研究会 第20回研究総会	浜松研修交流センター
10/24	平成27年度第3回臨床血液部門 第2回臨床一般部門 合同研修会	静岡市立静岡病院
10/29	平成27年度衛生検査所精度管理責任者等研修会	口腔保健医療センター
10/31	平成27年度静岡県臨床細胞学会秋期学術集会	静岡市立静岡病院
11/7	平成27年度第2回臨床微生物部門研修会	静岡市立静岡病院
11/7	第9回静岡いびき・睡眠時無呼吸研究会	グランシップ
11/8	平成27年度第2回臨床生理部門研修会	静岡県立総合病院
11/15	平成27年度第1回秋期細胞診講習会「第1回ワークショップ」	静岡赤十字病院
11/27	静岡県標準化事業 第14回東部地区意見交換会	三島市民文化会館
11/28	平成27年度第2回秋期細胞診講習会「第2回ワークショップ」	静岡がんセンター
11/29	平成27年度第2回輸血細胞治療部門研修会	静岡赤十字血液センター
12/19	平成27年度第3回臨床一般部門研修会	静岡市産学交流センター
12/19	平成27年度衛生検査所精度管理責任者等研修会	静岡県産業経済会館
1/9	平成27年度第3回臨床生理部門研修会	聖隷浜松病院
1/27	平成27年度静岡市衛生検査所精度管理責任者等研修会	静岡市城東保健福祉エリア
1/29	静岡県標準化事業 第15回東部地区意見交換会	三島商工会議所
2/6	平成27年度第4回臨床一般部門研修会	山口駅前ビル
2/13	平成27年度第3回輸血・細胞治療部門研修会	山口駅前ビル
2/14	第16回静岡血液フォーラム	静岡労政会館
2/27	平成27年度第2回染色体遺伝子検査部門研修会	静岡赤十字病院
3/5	平成27年度第3回病理細胞診研修会	静岡赤十字病院
3/5	平成27年度第3回臨床微生物部門研修会	静岡県教育会館
3/11	静岡県標準化事業 第7回中西部地区意見交換会	市立島田市民病院

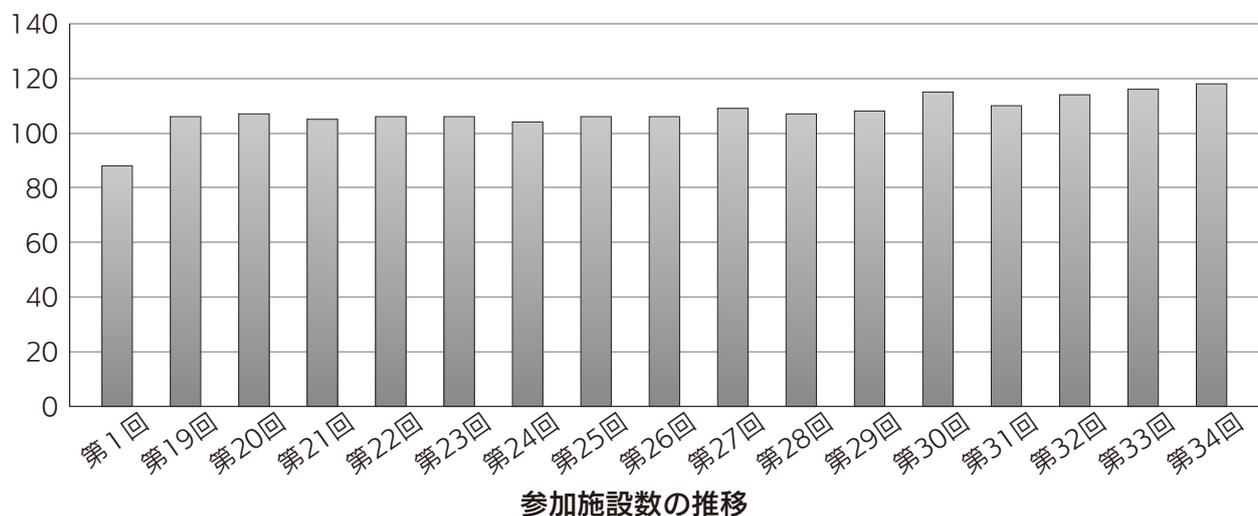
3/12	平成27年度第2回生物化学分析部門研修会	静岡赤十字病院
平成28年度		
開催日	研修会名	開催会場
5/14	平成28年度第1回臨床血液部門研修会	静岡市立静岡病院
5/21	平成28年度静岡県臨床細胞学会 第37回春期学術集会	静岡市立静岡病院
5/27	静岡県標準化事業 第16回東部地区意見交換会	三島市民文化会館
5/28	平成28年度第1回輸血・細胞治療部門研修会	あざれあ
6/4	平成28年度第1回生物化学分析部門研修会	静岡市立静岡病院
6/17	静岡県臨床細胞学会 平成28年度第1回東部症例検討会	沼津市立病院
6/19	平成28年度第1回病理細胞部門研修会	静岡赤十字病院
6/25	平成28年度第1回臨床一般部門研修会	静岡市産学交流センター
6/25	平成28年度第1回臨床生理部門研修会	静岡市立静岡病院
7/2	平成28年度第1回臨床微生物部門研修会	静岡赤十字病院
7/2	平成28年度第2回輸血・細胞治療部門研修会	静岡労政会館
7/9	平成28年度第2回臨床血液部門研修会	グランシップ
8/6	平成28年度第2回病理細胞部門研修会	静岡赤十字病院
9/10	平成28年度第2回生物化学分析部門研修会	静岡県立総合病院
9/16	静岡県標準化事業 第8回中西部地区意見交換会	市立島田市民病院
10/1	平成28年度第2回臨床生理部門研修会	静岡市立静岡病院
10/15	平成28年度第2回臨床微生物部門研修会	静岡赤十字病院
10/22	平成28年度第3回臨床血液部門研修会	静岡市立静岡病院
10/29	平成28年度静岡県臨床細胞学会 秋期学術集会	静岡市立静岡病院
11/5	第10回いびき・睡眠時無呼吸研究会	グランドホテル浜松
11/11	平成28年度第2回東部症例検討会	沼津市立病院
11/12	平成28年度第2回臨床一般部門研修会	静岡市産学交流センター
11/20	平成28年度第1回染色体遺伝子検査部門研修会	静岡赤十字病院
11/20	平成28年度第3回生物化学分析部門研修会	静岡県立総合病院
12/17	平成28年度第3回臨床生理部門研修会	あざれあ
1/28	平成28年度第3回臨床一般部門研修会	パルシェ
2/10	静岡県標準化事業 第15回東部地区意見交換会	三島商工会議所
2/11	平成28年度第3回病理細胞部門研修会	静岡赤十字病院
2/19	第17回静岡血液フォーラム	グランシップ
平成29年度		
開催日	研修会名	開催会場
4/22	平成29年度第1回臨床血液部門研修会	CSA貸会議室
4/22	平成29年度第1回生物化学分析部門研修会	静岡県立総合病院
5/12	静岡県標準化事業 第9回中西部地区意見交換会	市立島田市民病院
6/3	平成29年度第1回臨床一般部門研修会	静岡市産学交流センター
6/24	平成29年度第1回病理細胞部門研修会	静岡赤十字病院
6/24	平成29年度第1回臨床生理部門研修会	静岡市立静岡病院
7/1	平成29年度第2回臨床血液部門研修会	静岡市立静岡病院
7/21	静岡県標準化事業 第18回東部地区意見交換会	三島商工会議所
8/19	平成29年度第2回病理細胞部門研修会	浜松医科大学
8/26	平成29年度第1回臨床微生物部門研修会	アクトシティ浜松
9/2	平成29年度第1回輸血・細胞治療部門研修会	あざれあ
9/9	平成29年度日本検査血液学会静岡支部サーベイ報告会	静岡赤十字病院
9/16	平成29年度第3回臨床血液部門研修会	静岡市立静岡病院
10/7	平成29年度第2回臨床一般部門研修会	静岡市産学交流センター
10/12	平成29年度浜松市衛生検査所精度管理責任者等研修会	浜松市口腔保健医療センター
10/14	平成29年度第2回臨床生理部門研修会	静岡赤十字病院
10/21	平成28年度第2回臨床微生物部門研修会	アクトシティ浜松

10/21	第11回静岡いびき・睡眠時無呼吸研究会	ニッセイ静岡駅前ビル
10/22	精度保証施設認定制度およびJCCLS 共用基準範囲採用についての説明会	あざれあ
10/28	伊豆市社会福祉大会	修善寺生きいきプラザ
10/28	第7回日本検査血液学会静岡支部 形態セミナー	静岡市立静岡病院
11/18	平成29年度第2回輸血・細胞治療部門研修会	あざれあ
12/2	平成29年度第3回臨床生理部門研修会	静岡市立静岡病院
12/9	平成29年度衛生検査所精度管理責任者等研修会	静岡商工会議所
12/10	平成29年度第3回輸血・細胞治療部門研修会	静岡赤十字血液センター
1/26	静岡県標準化事業 第19回東部地区意見交換会	三島商工会議所
1/27	平成29年度第2回生物化学分析部門研修会	静岡県立総合病院
1/30	平成29年度衛生検査所精度管理責任者等研修会	静岡市城東保健福祉エリア
2/10	平成29年度第4回臨床生理部門研修会	静岡県産業経済会館
2/10	平成29年度第1回染色体遺伝子検査部門研修会	静岡赤十字病院
2/10	平成29年度第3回臨床一般部門研修会	静岡市産学交流センター
2/18	第18回静岡血液フォーラム	CSA貸会議室
3/3	平成29年度第3回病理細胞部門研修会	静岡赤十字病院

精度管理調査事業

(平成14年度から29年度)

開催数	調査期間	参加施設	部門	項目	備考	報告会開催日
第19回 (平成14年度)	5月29日から 6月6日	106	6	38	臨床化学、免疫血清、血液、微生物、輸血、一般	12月1日
第20回 (平成15年度)	5月28日から 6月7日	107	6	37	臨床化学、免疫血清、血液、微生物、輸血、一般	11月30日
第21回 (平成16年度)	5月26日から 6月5日	105	5	35	臨床化学、免疫血清、血液、微生物、輸血	11月28日
第22回 (平成17年度)	5月25日から 6月6日	106	6	25	臨床化学、免疫血清、血液、微生物、輸血、病理	11月27日
第23回 (平成18年度)	5月24日から 6月5日	106	6	27	臨床化学、免疫血清、血液、微生物、輸血、病理	11月19日
第24回 (平成19年度)	5月23日から 6月4日	104	6	39	臨床化学、免疫血清、血液、微生物、輸血、病理	11月18日
第25回 (平成20年度)	5月21日から 6月2日	106	6	42	臨床化学、免疫血清、血液、微生物、輸血、病理	11月16日
第26回 (平成21年度)	5月20日から 6月1日	106	6	47	臨床化学、免疫血清、血液、微生物、輸血、病理	11月22日
第27回 (平成22年度)	5月19日から 6月1日	109	5	44	臨床化学、血液、微生物、輸血、病理	12月12日
第28回 (平成23年度)	5月18日から 6月1日	107	5	45	臨床化学、血液、微生物、輸血、病理	11月27日
第29回 (平成24年度)	5月16日から 6月1日	108	5	46	臨床化学、血液、微生物、輸血、病理	12月16日
第30回 (平成25年度)	5月15日から 5月31日	115	5	49	臨床化学、血液、微生物、輸血、病理	12月8日
第31回 (平成26年度)	5月14日から 5月31日	110	5	48	臨床化学、血液、微生物、輸血、病理	12月14日
第32回 (平成27年度)	5月13日から 5月30日	114	5	48	臨床化学、血液、微生物、輸血、病理	12月13日
第33回 (平成28年度)	5月11日から 5月28日	116	5	50	臨床化学、血液、微生物、輸血、病理	11月23日
第34回 (平成29年度)	5月10日から 5月26日	118	5	50	臨床化学、血液、微生物、輸血、病理	10月22日



特別寄稿 ニューリーダー研修受講者より

医療環境に対応する臨床検査部門の役割

地方独立行政法人静岡県立病院機構
静岡県立総合病院 平松直樹



静岡県臨床衛生検査技師会が創立65周年を迎えられまして、誠におめでとうございます。また、日頃の技師会活動に対しまして敬意を表します。私たちの臨床検査技師として有する技術が静岡県の医療の発展に貢献し、日々仕事に精励できるのも技師会の支えがあるからこそと感謝いたします。

【国の情勢】

医療・介護の需要が増大する2025年に向けて、地域包括ケアシステムの構築が進む中、医療提供体制の改革が始まります。その中で各県単位における地域医療構想が具体化します。急性期病床の見直し等、病院を取り巻く環境が大きく変化していきます。

更に診療報酬の改定により病院収益は左右され、2019年に予定されている消費税率の引き上げにより大きな影響が出てきます。このように様々な要因により職場環境に変化が生じますが、信頼が得られる検査室の構築のために職員が一丸となり取り組む必要があります。

【働き方改革】

6月に働き方改革関連法が成立、2019年4月に施行されます。その主な内容は、①勤務間インターバル②宿日直体制③時間外労働の上限規制④同一労働・同一賃金⑤年休取得の義務化等、私たち臨床検査技師が定年まで働き続けることが可能な勤務体制を定年延長の議論が進む中で、技師会においてもその方向性を示していくことが求められます。そこで、働き方とは「人生への問いかけ」です。自らの仕事について真剣に考えなければ真の「働き方改革」は実現できません。

【これからの検査室】

平成30年4月の診療報酬改定時にはダヴィンチによる対象手術症例の範囲拡大がありました。また、人工知能が医療分野で開発が進む中、今後は検査室においても積極的に導入されます。安心で質の高い検査結果を提供するために必要な品質・精度管理基準に対応可能なシステム構築が求められます。さらに、ゲノム医療の推進に基づく遺伝子診断に臨床検査部門としての役割を担う必要性が明確になります。検査室の体質改善や個人の能力向上、意識改革を目指す為には、個人がチームの一員として検査室での責務を全うしていく姿勢が大切です。

【職員教育】

医療制度改革の時代を迎え今後、病院機能の改革とその戦略が加速化していきます。その中で臨床検査技師としてのスキルアップと業務に対する責任の明確化・実行が今後の課題となります。その中で学術活動・認定資格取得に取り組み、個人のモチベーションの向上が職場の活性化につながる一つの要因となります。しかしその前に大切なことは、自らが置かれた場所での働き方です。その意味を知り、最善を尽くし、お互いに敬意と思いやりの心を忘れずに仕事に向き合うことです。

【最後に】

今後、更に想定される大規模災害時の病院内における臨床検査部門の確実な稼働を目的とし、検査機器・人員配置の確保が可能な体制を準備しておく必要があります。安定した医療提供体制を担う臨床検査部門が盤石な組織として成り立つには、静岡技活動の発展が必要不可欠であり、そこに私たち会員が積極的に協力していく体制が必要です。

地域ニューリーダー育成研修会に参加して ～今後の私の役割～

磐田市立総合病院 臨床検査技術科 大井直樹



静臨技創立65周年、おめでとうございます。

私は平成26年度から静臨技臨床検査総合部門員となり、技師会活動に足を踏み入れました。部門長や部門員、静臨技役員の方々に色々とお教えいただきながら、「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」、「認知症対応力向上講習会」の開催、「全国・中部圏支部医学検査学会」、「検査と健康展」等のお手伝いをさせていただいていました。しかし、技師会や臨床検査技師の未来のあり方を真剣に考えることなく、平成29年度後半を迎えていました。そんなある日、静臨技会長より日臨技主催の「地域ニューリーダー育成研修会」への参加依頼があり、「基本は断らない」という私のポリシーのもと、研修会の目的や内容を理解していないまま、「参加させていただきます！」と返答しました。すると、1ヶ月後に日臨技事務局から研修会の案内状とともに210ページにわたる日臨技創立65周年記念誌が届き、それを熟読し改善が必要な日臨技事業の理由と問題点をまとめ、提出するという事前課題があり、通常の研修会との違いを察することとなりました。

平成30年1月に東京の日臨技会館で開催された「地域ニューリーダー育成研修会」に静臨技代表として参加することとなりました。この研修会の目的は、『①医療情勢や国の政策を学び、臨床検査技師の進むべき未来や日臨技活動のあり方について共有を図る。②組織目標達成に向けた事業展開の考え方や、プロジェクト成功に向けた現状分析、課題解決力、計画立案などの手法を習得する。③日常業務にも活用できるマネジメントスキルを習得する。』です。各担当執行理事より、日臨技の組織や事業についての概要説明、宮島会長による医療情勢と政策、臨床検査技師の進むべき未来と次世代リーダーに求めるものと題した講義、日臨技事業の課題解決案作成を目的としたグループワーク及び発表会、そして初日の夜は交流会と盛り沢山の内容でした。グループワークではオフサイトミーティングとステップ表（MTS：目標設定を通じた管理）という考え方と手法を学び活用しました。オフサイトミーティングは気楽に真面目な話をするをコンセプトとし、グループメンバーの感じていることや、経験、思いなどをありのままに共有し、相談や協力がしやすくなる関係性を築き、チーム力を高め、創造的な活力を生み出していきます。ステップ表は目標共有、全員参加、自力実行をコンセプトとし、目標達成への道筋やキーワード、イメージ、行動のステップ、協力者の共感等、必要な情報を1枚にまとめ、見える化する創造的目標達成システムです。また、「なぜなぜ5回」の思考を合わせることで、ものごとの因果関係やその裏に潜む真の原因を突き止めることができ、問題解決の糸口を見つけることができます。最終日の発表会に向けて、お互いを尊重しあい活発で楽しいグループワークを行い、日臨技事業の課題解決のためのステップ表の作成を終えたのは22時を過ぎた頃でした。そして、研修会を終了した私たちに課せられた課題は、リーダーシップを発揮し、都道府県技師会でこのような研修会を開催することでした。

平成30年度から静臨技臨床検査総合部門長となり、8月に西部で研修会を開催し、12月には中部、東部で研修会を開催する予定です。そのような中、10月に熱海にて過去4回開催された日臨技主催「地域ニューリーダー育成研修会」の参加者対象に2泊3日の「地域ニューリーダー育成研修会」が開催され、静臨技代表として参加させていただくこととなりました。この研修会の目的は、『①「地域ニューリーダー育成研修会」受講後の自らの取り組みを振り返り、成果の確認と課題を明確にし、今後の取り組みを構築する。②刻々と変化する社会、医療情勢を学び、これらを踏まえた認識を新たな観点で議論できる見識を持つことにより、臨床検査技師の進むべき未来を描き、共有する。③参加者同士の交流を深めることにより、都道府県技師会における情報共有や提供、連携を図る。』です。当日、熱海駅に着くと前回の研修会に参加した仲間と再会し、バスで会場となるホテルに向け山を登ること30分。いよいよ研修会という宿舎が始まりました。医療情勢や日臨技の組織や事業についての詳細説明、宮島会長によるリーダー論の講義、職場や静臨技での前回研修会を経た後の活動状況の振り返りと今後の自分の役割についての考察、夜は恒例の懇親会、そして、10年後日臨技のあるべき姿へ向けてのロードマップについての提案書作成及び発表会、予想以上の濃密な内容でした。研修会の最後には参加者が決意表明として漢字一文字を選択し宣言する場が設けられました。私の選んだ漢字は『動』。どんなに的確な問題点を導き出しても、どんなに理想のビジョンを掲げても、どんなに綿密な計画を立てても動かなくては、何も変わりません。周りを巻き込む動きをしなくては、何も変えることはできません。リーダーはビジョンを明確にし、周りの人を巻き込み目的意識を共有するために動き、周りを動かし、そして、ビジョン達成まで動き、動かし続けなければいけません。

今後、職場や静臨技で周りの理解を得ながらできることから確実に行動していきたいと思えます。『とにかく動き、行動します！』これが私の役割です。

今回の研修会で全国に大切な仲間ができました。その仲間との絆を大切に、前に進んでいきたいと思えます。

このような貴重な研修会に参加させていただき、静臨技会長をはじめ、理事の方々、そして会員の方々に心より感謝申し上げます。

未来に適応できる臨床検査技師を目指して

日本臨床衛生検査技師会中部圏支部 臨床血液部門長
独立行政法人地域医療機能推進機構 三島総合病院 大橋 勝春



静岡県臨床衛生検査技師会創立65周年、おめでとうございます。

私は現在、学術部臨床血液部門に携わって9年になります。部門に携わることで、学術的知識に身に付けることはもとより、他の部門員や講師の先生方との施設間の情報交換を始め、経験に基づいた貴重な話を聞くことができ、大変有意義な経験ができていますと感謝しています。

静岡県は、日本検査血液学会が本州で唯一、支部を置く程、血液分野の学術活動に熱心な県です。静臨技臨床血液部門でも、年4～5回開催する主催研修会の企画をする際、会員の皆様のスキルアップやニーズに応えられるよう、部門内で活発な討議を重ね1回1回大切に企画運営しています。中でも、歴代の部門員の尽力で毎年続けられている“静岡血液フォーラム”は19回を数え、県内外より150名以上の参加者のもと、高い評価をいただいております。他県からも一目置かれる研修会となっています。また、年々増え続ける参加会員の皆様の熱心に学ぼうとする姿勢を身をもって感じ、研鑽をサポートするさらなる企画を考える原動力ともなっています。

この学術事業は臨床血液部門のみならず、静臨技ではどの部門でも、学びたいと思う会員の皆様に対するサポート体制がしっかりされていると感じています。

また、私は第3期地域ニューリーダー育成講習会にも参加させていただきました。宮島会長の『日臨技の未来を担うリーダーとは』と題した講演で、「医療チームの中で、今後、臨床検査技師がどのように業務変化をしていくかで検査技師の未来は決まる！」と語られ、既に迎えた超高齢社会に臨床検査技師も変化していかなければならない事を感じました。

現在、臨床検査全体を捉えた場合、医師の具体的な指示の下、検査前の説明、採血や検体採取、検体測定、検査結果の解釈、検査後の説明と言う一連の工程作業において、臨床検査技師が積極的な関与をしているとは言えない！と感じていますが、この一連の作業を担い、遂行し、医師の診断に繋げる業務体系に変革する時代がきていると思います。自分自身、日臨技で進めている、“検査説明・相談のできる技師育成事業”に参加して、検査全体の工程作業において積極的な関与をする為には、臨床上で必要な知識・技術の習得に努めなければならないと改めて感じました。それには今後、我々1人1人が将来を見据え、臨床検査技師として臨床検査各領域における自らを研鑽する専門性と、診療や病院運営上のレベルアップに繋ぐ上で多能性の重要性を認識し、10年先20年先の事を意識して行動できる技師を目指さねばなりません。日々のルーチンワークをこなすだけでなく、学術的な知識を深めることで個人がスキルアップし、仕事を完遂できた喜びを得、そしてそれが各施設での臨床支援につながることもなると思うので、今後も多くの皆様が技師会活動に積極的に参加して下さる事を願ってやみません。

静臨技創立75周年・100周年には、臨床検査全体において積極的な関与をしている！と言える会員が増えていることを願い、自分自身も日々研鑽を重ねていきたいと思っています。

3 表彰

叙勲受章者

- 勲五等 瑞宝双光章
川 越 功 (澤記念会神経科 浜松病院) 平成16年4月29日
- 勲五等 瑞宝双光章
泉 正 和 (浜松医科大学医学部附属病院) 平成27年4月29日
- 勲五等 瑞宝双光章
山 口 浩 司 (聖隷三方原病院) 平成27年4月29日
- 勲五等 瑞宝双光章
横 地 常 広 (静岡県立総合病院) 平成28年4月29日

厚生労働大臣表彰受章者

- 於 日本臨床衛生検査技師会創立55周年・法人化45周年記念式典 ホテルオークラ東京
平成20年2月8日
柴 崎 光 三 (協立十全病院)
泉 正 和 (浜松医科大学医学部附属病院)
- 於 日本臨床衛生検査技師会創立60周年・法人化50周年記念式典 品川プリンスホテル
平成23年11月11日
高 木 義 弘 (静岡県立こども病院)
齋 藤 辰 男 (県西部浜松医療センター)
- 於 日本臨床衛生検査技師会創立65周年・法人化55周年記念式典 霞山会館
平成29年6月23日
三 宅 和 秀 (静岡厚生連清水厚生病院)
伊 藤 喜 章 (静岡厚生連遠州病院)
山 田 哲 司 (聖隷三方原病院)

静岡県知事表彰受章者

- 於 静岡県臨床衛生検査技師会創立65周年記念式典 静岡グランドホテル中島屋
平成30年6月2日
豊 田 次 郎 (榛原医師会臨床検査センター)

日本臨床衛生検査技師会表彰

各受章者

平成16年度 学術研究奨励賞 シスメックス形態検査賞	関根久実 (静岡赤十字病院)
平成17年度 学術研究奨励賞 生物化学分析部門 (常光ELP賞)	佐野元裕 (静岡県立こども病院)
平成18年度 学術研究奨励賞 シスメックス形態検査賞	佐野元裕 (静岡県立こども病院)
平成19年度 学術奨励賞 優秀演題賞	関根久実 (静岡赤十字病院)
平成21年度 学術奨励賞 優秀演題賞	佐野あゆみ (静岡赤十字病院)
平成25年度 学術奨励賞 特別奨励賞	宮崎研一 (焼津市立総合病院)
平成28年度 学術奨励賞 最優秀論文賞 優秀論文賞 優秀演題賞	村越大輝 (静岡県立総合病院) 鈴木駿輔 (静岡県立総合病院) 須藤敬文 (静岡赤十字病院)

永年職務精励表彰受章者

平成15年度 表彰受章者	27名	平成16年度 表彰受章者	31名
平成17年度 表彰受章者	29名	平成18年度 表彰受章者	20名
平成19年度 表彰受章者	30名	平成20年度 表彰受章者	119名
平成21年度 表彰受章者	30名	平成22年度 表彰受章者	39名
平成23年度 表彰受章者	33名	平成24年度 表彰受章者	34名
平成25年度 表彰受章者	36名	平成26年度 表彰受章者	29名
平成27年度 表彰受章者	36名	平成28年度 表彰受章者	54名
平成29年度 表彰受章者	40名	平成30年度 表彰受章者	42名

(受章者数のみ)

中部地区臨床衛生検査技師会・ 日本臨床衛生検査技師会中部圏支部表彰

各受章者

- 第52回 日本臨床衛生検査技師会中部圏支部検査医学会 平成26年11月10日授与
 学術奨励賞 佐々木 理 恵 (静岡県立総合病院)
- 第53回 日臨技中部圏支部検査医学会 平成27年9月26日授与
 学術奨励賞 窪 田 亜 希 (静岡県立こども病院)
- 第54回 日臨技中部圏支部検査医学会 平成28年12月10日授与
 学術奨励賞 杉 山 聡 (富士脳障害研究所附属病院)

静岡県臨床衛生検査技師会表彰

名誉会員表彰受章者

於 平成18年度社団法人静岡県臨床衛生検査技師会総会 アクトシティ浜松研修センター
 平成18年5月31日

岡 山 虎 男 (第5代静岡県臨床衛生検査技師会会長)
 宇佐美 元 章 (第6代静岡県臨床衛生検査技師会会長)
 川 越 功 (第8代静岡県臨床衛生検査技師会会長)

於 静岡県臨床衛生検査技師会創立65周年記念式典 静岡グランドホテル中島屋
 平成30年6月2日

泉 正 和 (第10代静岡県臨床衛生検査技師会会長)

功労者表彰受章者

平成15年度

八 木 弥 八 (静岡赤十字病院) 野 沢 清 (桜ヶ丘総合病院)
 高 橋 満 (町立浜岡総合病院)

平成18年度

中 西 健 二 (静岡厚生連遠州病院) 古 橋 章 吉 (聖隷予防検診センター)

平成20年度

永 田 弘 (静岡県予防医学協会)

平成21年度

松 川 昭 宏 (株)エスアールエル静岡沼津ラボラトリー)

平成25年度

泉 正 和 (浜松医科大学医学部付属病院) 齋 藤 辰 男 (浜松医療センター)

平成28年度

榛 葉 智 之 (公立森町病院)

豊 田 次 郎 (榛原医師会臨床検査センター)

平成30年度

杉 澤 きよ美 (沼津市立病院)

栗 田 昭 (磐田市立総合病院)

学術業績者表彰受章者

第33回医療功労賞 (読売新聞社主催、厚生労働省後援)

於 帝国ホテル東京 平成17年3月14日

八 木 弥 八 (静岡赤十字病院)

第42回小島三郎記念技術賞 (公益財団法人黒住医学研究振興財団)

於 野口英世記念会館 平成19年5月11日

大 畑 雅 彦 (静岡赤十字病院)

永年職務精励表彰受章者

平成15年度	表彰受章者	17名	平成16年度	表彰受章者	29名
平成17年度	表彰受章者	28名	平成18年度	表彰受章者	30名
平成19年度	表彰受章者	21名	平成20年度	表彰受章者	27名
平成21年度	表彰受章者	23名	平成22年度	表彰受章者	25名
平成23年度	表彰受章者	30名	平成24年度	表彰受章者	31名
平成25年度	表彰受章者	62名	平成26年度	表彰受章者	42名
平成27年度	表彰受章者	52名	平成28年度	表彰受章者	41名
平成29年度	表彰受章者	38名	平成30年度	表彰受章者	34名

(受章者数のみ)

学術奨励者表彰受章者

平成15年度 特別奨励賞

米 山 昌 司 (静岡県立がんセンター)

曾 根 利 久 (市立島田市民病院)

村 松 一 巳 (県西部浜松医療センター)

平成17年度 特別奨励賞

酒 井 満 (順天堂大学医学部付属病院)

関 根 久 実 (静岡赤十字病院)

廣 野 裕 章 (志都呂クリニック)

平成18年度 特別奨励賞

田 代 守 義 (伊豆保険医療センター)

村 井 信 夫 (静岡県立総合病院)

小 椋 龍 司 (社会保険浜松病院)

平成20年度 特別賞 (あしなが表彰)

池ヶ谷 佳寿子 (静岡市立清水病院)

加 藤 智 行 (浜松医科大学医学部付属病院)

児 玉 由美子 (順天堂大学医学部付属静岡病院)

平成21年度 特別賞（あしなが表彰）

橋ヶ谷 尚 路（焼津市立総合病院） 外波山 幸 稔（静岡厚生連遠州病院）
永 田 かおり（静岡県立静岡がんセンター病理診断科）

平成22年度 わかふじ奨励賞

鈴木 泰 秀（静岡厚生連遠州病院） 楠 山 美 保（静岡市立静岡病院）
落 合 真 澄（静岡県立総合病院） 山 本 計 希（浜松労災病院）
長 田 真 幸（聖隷三方原病院）

平成23年度 わかふじ奨励賞

佐々木 奈津美（浜松医療センター） 齋 藤 文 香（浜松医科大学医学部附属病院）
久 米 克 英（静岡厚生連遠州病院） 大 竹 麻衣子（静岡県立こども病院）
村 松 志保美（市立島田市民病院） 北 野 遼（静岡厚生連清水厚生病院）
田 中 芳 次（NTT東日本伊豆病院） 佐 野 克 典（沼津市立病院）

平成24年度 わかふじ奨励賞

石 井 浩 崇（NTT東日本伊豆病院） 栗 岡 純 子（静岡県立総合病院）
佐 藤 晃（熱海所記念病院） 長 田 真 幸（聖隷三方原病院）
村 越 大 輝（静岡県立総合病院） 中 村 和 也（静岡厚生連清水厚生病院）
阿 部 将 人（静岡県立静岡がんセンター）

平成25年度 わかふじ奨励賞

佐 藤 晃（熱海所記念病院） 五十嵐 正 人（浜松医療センター）
和 田 侑 子（聖隷浜松病院） 小 林 祐 子（静岡厚生連遠州病院）
野 口 梨 絵（静岡県立総合病院） 島 田 誠（熱海所記念病院）
望 月 茜（聖隷三方原病院） 田 口 さやか（浜松医療センター）

平成26年度 わかふじ奨励賞

高 崎 将 一（静岡赤十字病院） 小杉山 晴 香（静岡県立総合病院）
島 田 誠（熱海所記念病院） 深 澤 聡（聖隷浜松病院）
須 藤 淳（静岡市立清水病院） 古 川 由香利（伊豆保険医療センター）
岡 田 宇 史（静岡厚生連遠州病院） 福 井 望（聖隷健康診断センター）

平成28年度 わかふじ奨励賞

川 井 孝 太（磐田市立総合病院） 吉 見 太志郎（静岡厚生連静岡厚生病院）
加 藤 成 美（聖隷浜松病院） 藤 田 悠 乃（すずかけセントラル病院）
細 井 麻 純（静岡市立静岡病院） 土 屋 明 実（順天堂大学医学部附属静岡病院）
滝 創 紀（富士宮市立病院） 宇 野 圭 祐（聖隷浜松病院）
坂 本 望 奏（熱海所記念病院）

平成29年度 わかふじ奨励賞

原 田 紗 希（静岡県立総合病院） 増 田 未 優（静岡市立静岡病院）

中 田 亜 希（聖隷三方原病院）
緑 川 沙也華（熱海所記念病院）

大 橋 悟（坂の上在宅医療支援医院）
鳥 居 見 咲（すずかけセントラル病院）

特別表彰受章者

特別賞

於 静岡県臨床衛生検査技師会創立65周年記念式典 静岡グランドホテル中島屋
平成30年6月2日
山 口 浩 司（聖隷三方原病院）

会長賞

於 静岡県臨床衛生検査技師会創立60周年記念式典 静岡グランドホテル中島屋
平成25年6月22日
松 岡 敏 彦（浜松医療センター）

於 静岡県臨床衛生検査技師会創立65周年記念式典 静岡グランドホテル中島屋
平成30年6月2日
三 宅 和 秀（静岡厚生連清水厚生病院） 菌 田 明 広（静岡県立総合病院）
市 川 千津子（静岡済生会総合病院）

医療支援感謝状

於 静岡県臨床衛生検査技師会平成28年度定時総会 静岡県男女共同参画センターあざれあ
平成28年6月11日
杉 山 弥 生（静岡市立静岡病院） 大 井 直 樹（磐田市立総合病院）
深 澤 聡（聖隷三方原病院）

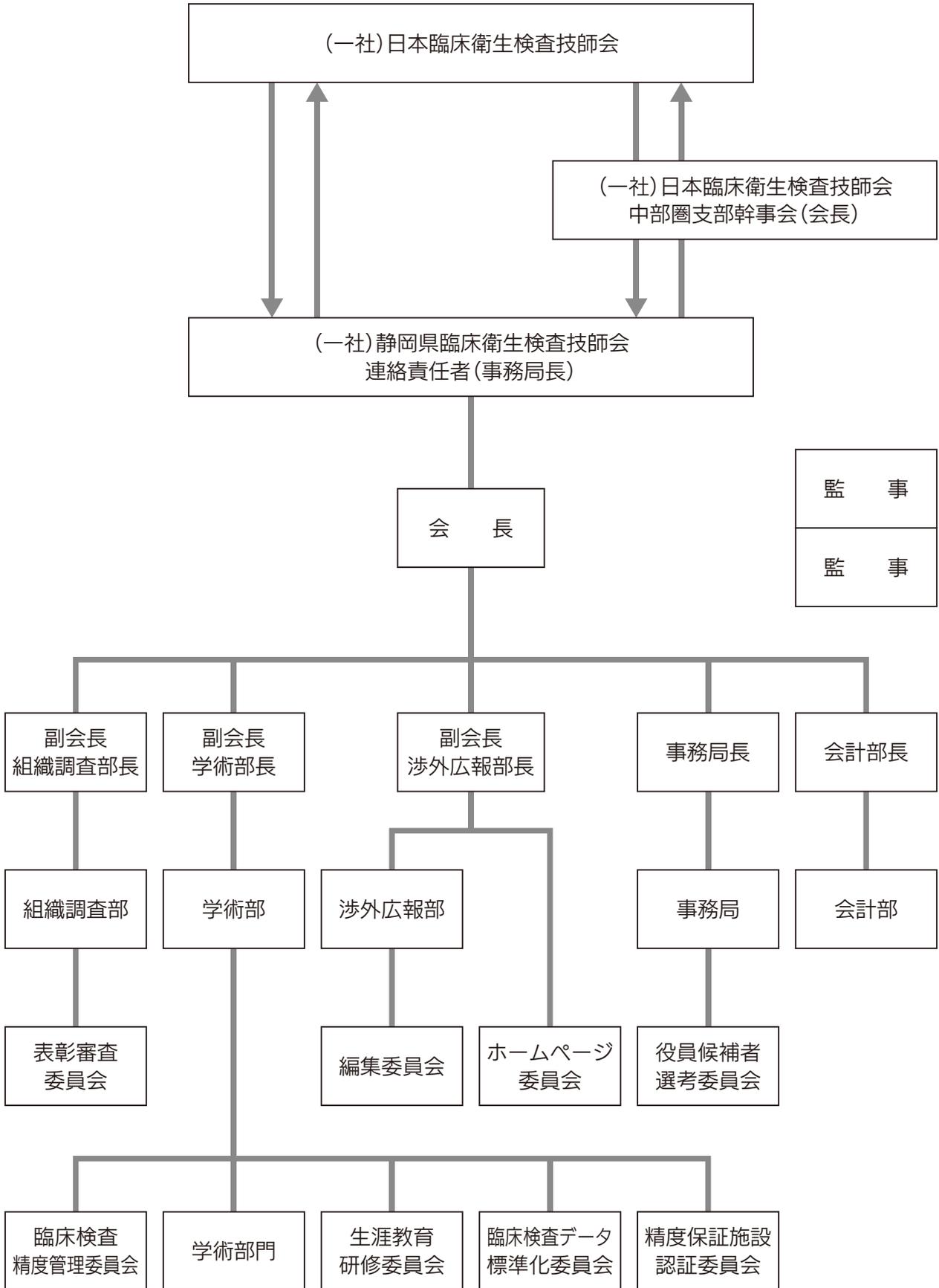
4 静岡県臨床衛生検査技師会 資料

静岡県臨床衛生検査技師会役員一覧 (平成14年以降)

役職\年度	平成14・15年度	平成16・17年度	平成18・19年度	平成20・21年度	平成22・23年度
会 長	柴崎光三	高木義弘	泉正和	泉正和	横地常広
副 会 長	古橋章吉	松川昭宏	松川昭宏	高島吉則	山口賢
	高木義弘	高島吉則	高島吉則	松川昭宏	高島吉則
常 務 理 事	渡辺数由	泉正和	上林寛司	上林寛司	上林寛司
	泉正和	藤原誠	藤原誠	藤原誠	松川昭宏
	荒浪途高	朝比奈利憲	豊田次郎	伊藤喜章	三宅和秀
理 事	松川昭宏	榛葉智之	溝口壱	横地常広	松岡敏彦
	早川雅弘	半田雅則	遠藤俊彦	佐野克典	勝又俊郎
	吉岡辰泰	渡辺時治	石川隆之	豊田次郎	原田勉
	榊原薫	豊田次郎	稲葉優香	高橋篤	海野和浩
	荒井知子	村松孝恵	井林伸之	杉山八寿子	宇治川昌克
	小嶋恵子	村松宗子	村松宗子	川原教次	池ヶ谷やす代
	太田眞仁	古橋章吉	杉山八寿子	堀井靖久	栗原五美
	高橋満	齋藤辰男	廣野裕章	大森健彦	釋悦子
	兼子光治	石川隆之	川原教次	片瀬史朗	川原教次
	榛葉智之	鈴木佳子	鈴木佳子	村松宗子	高橋篤
事務局 長	森本典子	荒浪途高	齋藤辰男	齋藤辰男	伊藤喜章
会計部 長	齋藤辰男	小嶋恵子	榛葉智之	榛葉智之	豊田次郎
監 事	井上孝司	柴崎光三	渡辺時治	石川隆之	石川隆之
	谷崎隆行	吉岡辰泰	荒浪途高	松下芳昭	榛葉智之
顧 問	菅野剛史	菅野剛史	菅野剛史	菅野剛史	菅野剛史
	吉永帰一		岡田幹夫	鈴木勝彦	鈴木勝彦

役職\年度	平成24・25年度	平成26・27年度	平成28・29年度	平成30・31年度
会 長	横地常広	三宅和秀	山口浩司	伊藤喜章
副 会 長	原田勉	鈴木雅人	杉澤きよ美	須田達也
	三宅和秀	藺田明広	藺田明広	大石和伸
常 務 理 事	松岡敏彦	山口浩司	清水憲雄	清水憲雄
	松川昭宏	稲村義男	都築農夫志	羽切政仁
	藺田明広	三原利仁	中島和浩	坂根潤一
理 事	山口浩司	山田哲司	直田健太郎	齋藤晴義
	勝又俊郎	杉澤きよ美	須田達也	石井浩崇
	鈴木雅人	井川千春	勝又隆子	勝又隆子
	海野和浩	都築農夫志	羽切政仁	齋田英之
	高島吉則	市川千津子	松本誠司	加茂川暢彦
	市川千津子	新村喜明	遠藤三佳	鈴木淳二
	栗原五美	川口貴子	川口貴子	川口貴子
	加藤智行	清水憲雄	山田哲司	直田健太郎
	清水憲雄	加藤智行	佐原卓夫	佐原卓夫
	高橋篤	梶間弘美	鈴木真紀子	本多譲
事務局 長	伊藤喜章	伊藤喜章	伊藤喜章	榛葉智之
会計部 長	豊田次郎	豊田次郎	市川千津子	鈴木真紀子
監 事	渡辺時治	渡辺時治	藤原誠	藤原誠
	榛葉智之	榛葉智之	三宅和秀	中島和浩
顧 問	菅野剛史	篠原彰	篠原彰	紀平幸一
	鈴木勝彦			
名 誉 会 員		川越功	川越功	川越功
				泉正和

静岡県臨床衛生検査技師会組織図 (平成30年度)



特 集

第67回日本医学検査学会IN浜松

【会 期】

2018年5月12日（土）～13日（日）

【運 営】

学会長 山口 浩司（聖隷三方原病院：静岡県臨床衛生検査技師会会長）
 実行委員長 伊藤 喜章（静岡厚生連遠州病院：静岡県臨床衛生検査技師会事務局長）
 事務局長 藪田 明広（静岡県立総合病院：静岡県臨床衛生検査技師会副会長）
 事務局 一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会
 運営事務局 (株)JTBコミュニケーションデザイン ミーティング&コンベンション事業部

【会 場】

アクトシティ浜松 〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町111-1
 オークラクトシティホテル浜松 〒430-7733 静岡県浜松市中区板屋町111-2
 ホテルクラウンパレス浜松 〒430-8511 静岡県浜松市中区板屋町110-17

【テーマ】

Let's go this way —その道を進もう—

多様な役割のなかで、新たな存在価値を示す

【内 容】

招待講演Ⅰ：「Made in Mt. Fuji ふじのくに“ものづくり”支援システム」

～臨床現場のニーズを製品化する～

(一財)ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター センター長 植田 勝智
 (司会：副学会長 三宅 和秀)

招待講演Ⅱ：「光の可能性を求めて —2026年、世界を変える『イ』を—」

浜松ホトニクス株式会社 代表取締役社長 晝間 明
 (司会：学会長 山口 浩司)

教育講演：ひとを笑顔に導く！「笑いの五原則」

株式会社WMcommons Wマコト (中山 真・中原 誠)
 (司会：実行委員長 伊藤 喜章)

公開講演：人間関係をつくるコミュニケーション力

明治大学文学部 教授 齋藤 孝
 (司会：事務局長 藪田 明広)

一般演題：563演題（口演：537演題 示説：26演題）

特別企画

教育講演：10部門

基調講演：2部門（学会長・会長）

シンポジウム：15部門

フォーラム：2部門（臨床血液・輸血細胞治療）

ワークショップ：検体採取技術体験セミナー

国際学生フォーラム：6演題

ランチョンセミナー：5/12（土）13社 5/13（日）12社

スイーツセミナー：5/12（土）5社

企業展示：79企業

情報交換会

学術部門員を中心に企画した特別企画の一部を紹介します

臨床血液フォーラム 〈WHO分類2016 ～あなたの施設は対応していますか？〉

司会 聖マリアンナ医科大学病院 井本 清美
静岡市立静岡病院 加茂川暢彦

WHO分類2016で知っておきたいこと ～臨床に必要な知識を把握しよう！～

NTT東日本関東病院 後藤 文彦

末梢血液像と骨髓像の実践的見方

～WHO2016で変更となった症例も入れ基礎から詳しく説明します～

獨協医科大学病院 新保 敬

【企画の趣旨】

2016年、WHO血液腫瘍分類の一部が改訂された。その中には日常検査で遭遇する可能性のある骨髓異形成症候群（MDS）、急性赤白血病（AML-M6a）が含まれている。

今回のセミナーでは、WHO血液腫瘍分類の変更点とそれに伴うMDSを中心とした分類方法をしっかりと把握し、施設内はもとより地域で情報が浸透することを目的とした講演をしていただく。

輸血細胞治療フォーラム 〈多様なニーズに応える輸血検査室を求めて〉

司会 静岡県立静岡がんセンター 梁瀬 博文

臨床から求められる輸血管理体制と対応能力

東邦大学医療センター大森病院 奥田 誠

輸血検査室におけるISO15189認定取得の意義

富山大学医学部付属病院 道野 淳子

【企画の趣旨】

臨床側から求められる検査室のニーズを考慮した場合、その種類は多様化していると考えられる。昨今ではISO15189の認定取得に伴う、高品質な検査結果を求めるような、臨床検査室の本来の姿も求められている。輸血検査室は製剤管理と一元管理することが求められているが、そのような中、特に臨床側から要求されるニーズは多様化しており、また、検査の品質向上は安全な輸血療法にもつながる。

盤石な管理体制を整えることは、施設の安全管理体制にも寄与するものになる。そのようなニーズに応えるような管理体制とは何か、昨今話題のISO15189の品質管理体制を含めて、業務管理体制について学ぶことを目標とする。

シンポジウム I 輸血 〈小規模医療機関（在宅輸血を含む）における輸血療法の問題点〉

司会 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 千葉 正志
東邦大学医療センター大森病院 奥田 誠

小規模医療機関の輸血療法を考える医師の立場から

青森県立中央病院 北澤 淳一

小規模医療機関・在宅輸血の輸血療法としての看護の立場から

クレア訪問看護ステーション 大熊佳世子

輸血検査のminimum requirement

広島国際大学 国分寺 晃

輸血検査に関する問題点とその取り組み

～小規模医療機関（在宅を含む）における輸血ガイド小委員会の活動を中心に～

金沢赤十字病院 二木 敏彦

【企画の趣旨】

輸血療法を実施している医療機関の約80%は小規模医療機関である。小規模医療機関では、在宅輸血を含めた検査体制・輸血管理体制などに多くの問題点がある。問題点を明確にして、地域輸血検査体制の実態の把握および今後の展望について議論を行いたい。

血液型検査、交差適合試験を含む輸血検査のminimum requirementをどう考えるか。また、輸血用血液製剤の管理体制や輸血療法実施についての安全性確保についても議論を行いたい。我々、臨床検査技師が小規模医療機関や在宅医療における輸血療法をサポートしていける可能性がある。

シンポジウムⅡ 精度管理 〈法改正を受けての検体検査の品質・精度管理のあるべき姿〉

	司会 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 副会長	横地 常広
	日本臨床検査医学会／群馬大学大学院 医学系研究科臨床検査医学	村上 正巳
医療法・臨検法改正の経過		
	社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院	丸田 秀夫
遺伝子関連検査における法改正への取組と今後の展望		
	日本臨床検査医学会／浜松医科大学	前川 真人
ブランチラボ・衛生検査所における法改正への取組と今後の展望		
	日本衛生検査所協会／株式会社福山臨床検査センター	奥原 俊彦
日臨技における法改正への取組と今後の展望		
	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	滝野 寿

【企画の趣旨】

平成28年10月19日、「ゲノム情報を用いた医療等の実用化推進タスクフォース」から「ゲノム医療等の実現・発展のための具体的方策について（意見取りまとめ）」が報告された。その中に示された遺伝子関連検査の品質・精度確保の必要性に端を発し、①医療機関及びブランチラボ・衛生検査所に業務委託される検体検査についての品質・精度管理、②遺伝子関連検査の品質・精度の確保、③検体検査分類の省令委任への変更と分類の見直し、以上の3点について整備するため医療法・臨検法の改正が行われた。本法改正によりEBMの根幹をなす検体検査の品質・精度が担保され、医療の質の更なる向上につながるものとする。現在でも省令内容の議論が行われているところであるが、今回は、本法改正の経過とともに、検体検査の品質・精度管理に関する改正事項に対する取り組みと今後の展望について議論したい。

シンポジウムⅢ RCPC 〈臨床検査技師による臨床検査技師のためのRCPC〉

	司会 浦和医師会メディカルセンター	神山 清志
	国立大学法人大阪大学医学部附属病院	堀田 真希
一般検査		
	さいたま市立病院	山浦 久
血液検査		
	山梨大学医学部附属病院	風間 文智
臨床化学		
	千葉県循環器病センター	末吉 茂雄
免疫血清		
	千葉県循環器病センター	齊藤 雅一

【企画の趣旨】

臨床検査技師として検査値を客観的に判読する目を養う。診断や疾患当てではない。

シンポジウムⅣ 在宅 〈在宅医療における臨床検査と臨床検査技師の医療ニーズ〉

	司会 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 会長	宮島 喜文
	医療法人社団杏生会 文京根津クリニック	任 博
在宅医療における医療ニーズと多職種連携への期待		
	厚生労働省医政局 地域医療計画課	松岡 輝昌
在宅診療医師による臨床検査（技師）の期待		
	在宅医療学会 理事長	藤澤 真一
在宅医療への検査技師の取り組み ～実践報告～		
	医療法人社団杏生会 文京根津クリニック	西成田睦未

【企画の趣旨】

団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けた取り組みとして政府は様々な政策を打ち出しているが、その施策の一つに在宅医療への積極的な推進があげられる。そこで今回のシンポジウムは在宅医療を積極的に推進している行政からは在宅医療の現状と、臨床検査技師も含めたそれらを取り巻く多職種連携について概況をお話しいただく。実際の在宅医療に従事している医師からは在宅における臨床検査（技師）に求められる検査や実際の運用などをお話しいただく。2人の発言を受けて臨床検査技師の立場からは日臨技理事として取り組んできた概況と今後の課題などを報告する。さらにパネルディスカッションでは在宅での臨床検査（技師）のニーズを見出し臨床検査技師の方向性を啓発していきたい。

シンポジウムV 病理 〈病理検査技師が活躍する新たなステージ

～先端医学の技術が未知なる病理の扉をひらく～

	司会 浜松医科大学医学部 再生・感染病理学講座	河崎 秀陽
	名古屋市立大学大学院 医学研究科	滝野 寿
がん個別化治療におけるコンパニオン診断法としての免疫組織化学染色	神戸大学大学院 保健学研究科病態解析学領域	嶋志田伸吾
血液疾患の染色体遺伝子検査と診療貢献	北海道大学病院	藤澤 真一
次世代シーケンスによるゲノム病理学	東京医科歯科大学難治疾患研究所 ゲノム病理学分野	石川 俊平

【企画の趣旨】

近年、医療技術の発展には目覚ましいものがあり、自施設で遺伝子レベルの検査が日常的に行われている。それに伴い患者の治療や予後予測に関わる重要かつ精度の高い検査技術が病理検査に従事する臨床検査技師に求められている。

本シンポジウムでは、免疫組織化学染色やFISH法、フローサイトメトリー法、リアルタイムPCR法といった遺伝子を標的とした技術および次世代シーケンスといった医療の質を向上させる先端医学技術を身近なものとして聴講者に再認識して頂き、今後病理検査技師に求められる技術として予備知識を深めたいと考えている。講師の先生方にはこれまでの基礎的な技術を始め、最新トピックスを紹介して頂き、病理に従事する検査技師の新たな活躍の場になりうることを、そして新たな存在価値をもたらすためにはどのような知識・技術が重要かを打診していただきたいと願う。

シンポジウムVI 生理 〈生理検査における精度管理と安全性の確保〉

	司会 社会福祉法人恩賜財団済生会 松坂総合病院	山本 幸治
心電図領域検査領域における精度管理と安全性の確保	帝京大学医学部附属病院	富原 健
呼吸器領域から	奈良県立医科大学附属病院	高谷 恒範
神経生理領域から	三重県立総合医療センター	坂下 文康
超音波検査の精度管理と安全性の確保	群馬県立心臓血管センター	岡庭 裕貴

【企画の趣旨】

臨床検査における精度管理は、信頼性の高い結果を臨床に提供するために必要な業務のひとつとなっている。

生理検査では個人差が大きく、分析器同様の精度管理は難しいが、生体を検査対象とするため、安全性を考慮した精度管理が必要である。今回の企画では、生理機能検査の各方面から、感染対策を含めた精度管理についてお話いただき、今後の業務の参考となることを期待する。

シンポジウムVII 微生物 〈微生物検査室に必要な遺伝子検査〉

	司会 東京医科大学 微生物学分野	大楠 清文
	浜松医科大学医学部附属病院	名倉 理教
簡単に始められる In House PCR	天草地域医療センター	磯崎 将博
筑波メディカルセンター病院での遺伝子検査の実際	筑波メディカルセンター病院	野竹 重幸
今まで行ってきた解析事例のトピックス	愛知医科大学病院	坂梨 大輔
耐性菌と遺伝子検査	神戸大学医学部附属病院	中村 竜也

【企画の趣旨】

微生物検査室における遺伝子検査の役割には、早期診断を目的とした病原微生物の早期検出および、同定が困難な菌に対しての遺伝子同定と耐性菌検出などが挙げられる。

磯崎先生には、In house PCRの有用性と導入について、野竹先生には実際にお使いになられている遺伝子（PCR）検査機器の使用経験について、坂梨先生には今まで解析された遺伝子検査の結果についてトピックスをご提示いただきたいと考えている。中村先生には耐性菌の遺伝子検査の重要性についてご教示いただきながら、様々な立場での微生物検査室における遺伝子検査について活発なディスカッションを予定している。

シンポジウムⅧ 精度管理 〈検査の委託や受託における精度管理向上を目指して〉

司会 株式会社福山臨床検査センター 奥原 俊
 聖隷三方原病院 山田 哲司
 当院細菌検査室の取り組み ～外部委託の立場から～
 聖隷浜松病院 石原 冬馬
 検査の委託や受託における精度管理向上を目指して ～病院からみた検査委託の精度管理～
 聖隷三方原病院 北畑 友美
 受託する立場から
 株式会社シー・アール・シー 岩川 明子
 登録衛生検査所の立場から
 株式会社エスアールエル オペレーション部門集荷事業部 杉田 賢

シンポジウムⅨ 生物化学分析 〈共用基準範囲とJLAC検査項目コードの現在と未来：臨床検査データの有効利用に向けて〉

衛生検査所の立場から
 株式会社福山臨床検査センター 奥原 俊彦
 高度急性期、急性期病院の立場から
 静岡県立総合病院 久住 裕俊
 健診施設の立場から
 岡崎市医師会公衆衛生センター 佐藤 美穂
 統括講演：共用基準範囲とJLAC検査項目コードの重要性
 司会 九州大学大学院医学研究院 臨床検査医学 康 東天

【企画の趣旨】

基準範囲は科学的手順に従い純粋に統計学的に決定され、日本に1つの筈だが日臨技サーベイでは項目毎に100種類前後が使用されており、医療連携と医療ビッグデータを用いた疾病・健康管理が重要な現在、ビッグデータ構築と有効利用出来るシステム構築が急務である。

検査値の時間的空間的比較性の保障、その判断基準の統一と項目コードの統一が必須であり、これら現状と問題点について病院、登録衛生検査所、健診施設、それぞれの立場でお話しいただきディスカッションしたい。

シンポジウムⅩ 臨地実習 〈多様なニーズに対応できる臨床検査技師の育成〉

司会 静岡医療科学専門学校 鈴木真紀子
 岐阜医療科学大学 高崎 昭彦
 基調講演
 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 副会長 横地 常広
 パネルディスカッション
 北里大学病院 臨床検査部 三浦 芳典
 昭和医療技術専門学校 山藤 賢
 浜松医療センター 江間 千夏
 静岡県立総合病院 大石 祐
 他、若手技師及び学生が参加

【企画の趣旨】

臨地実習は、臨床検査技師の卒前教育において、非常に重要な位置を占める。しかし、内容などは各養成施設において統一はされておらず、受け入れ側である病院においても明確な縛りはない。今回の企画では、養成施設などカリキュラムの改正も踏まえながら、臨地実習について、現状の問題点についてそれぞれの立場から意見交換を行う。実際に臨地実習を経験した学生やこれから臨地実習に臨む学生の意見も取り入れながら、技師会、臨床現場、養成施設、学生が同じベクトルで未来に進めるよう、綿密

な連携を築く良い機会になることを期待する。

学生は、自らが目指す臨床検査技師の未来を技師会や臨床現場が、どう考えているのかを知る良い機会となる。是非、多くの未来を担う学生に参加していただき、共に臨床検査技師の未来を考えたい。

シンポジウムXI がん医療 〈がん医療のこれからを考える〉

司会 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 副会長 横地 常広
 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 滝野 寿
 がん対策推進基本計画（第3期）の概要について 厚生労働省健康局 がん・疾病対策課 丸野 正敬
 認定病理検査技師の現状と展望 ～がん対策推進基本計画（第3期）を受けて～
 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 滝野 寿
 がんゲノム医療の概要について ～がんゲノム医療コーディネーターに期待するもの～
 日本臨床腫瘍学会／慶應義塾大学医学部 消化器内科 浜本 康夫
 ヴァーチャルスライドを活用したがん診断の展望
 一般社団法人日本病理学会／
 東京大学医学部附属病院 地域連携推進・遠隔病理診断センター 佐々木 毅

【企画の趣旨】

平成28年10月19日、「ゲノム情報を用いた医療等の実用化推進タスクフォース」から「ゲノム医療等の実現・発展のための具体的方策について（意見取りまとめ）」が報告された。その中に示された遺伝子関連検査の品質・精度確保の必要性に端を発し、①医療機関及びブランチラボ・衛生検査所に業務委託される検体検査についての品質・精度管理、②遺伝子関連検査の品質・精度の確保、③検体検査分類の省令委任への変更と分類の見直し、以上の3点について整備するため医療法・臨検法の改正が行われた。本法改正によりEBMの根幹をなす検体検査の品質・精度が担保され、医療の質の更なる向上につながるものとする。現在でも省令内容の議論が行われているところであるが、今回は、本法改正の経過とともに、検体検査の品質・精度管理に関する改正事項に対する取り組みと今後の展望について議論したい。

シンポジウムXII 病棟業務 〈患者・多職種から求められる病棟常駐臨床検査技師 ～各地の実践例～〉

司会 独立行政法人地域医療機能推進機構 群馬中央病院 深澤 恵治
 社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院 吉田 功
 病棟業務専任チームという選択肢 熊本大学医学部附属病院 長島 美紀
 全病棟横断して対応する専従配置という選択肢 医療法人社団富家会 富家病院 大竹 京子
 急性期病棟への常駐配置という選択肢 関越中央病院 石井 智
 マンパワー不足でも病棟業務に関わる意義 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 副会長 横地 常広

【企画の趣旨】

臨床検査技師の職域拡大や患者への安心安全を目的とした臨床検査技師による病棟業務推進は、その活動を強く啓発する意味で、多くの日臨技学会・支部学会などで病棟業務ミニシンポジウムとして開催し広く会員に周知したところである。今回のシンポジウムではそれら数多く実施した病棟業務ミニシンポジウムを総括するためのシンポジウムとして企画をした。シンポジストに各地から病棟業務を積極的に実践されている方々からの現状の報告と、当会の横地副会長から人手不足を解消するヒントを自身の経験をもとにした解決策の報告を聴講者へご披露して頂く。今回のシンポジウムを期に全国で臨床検査技師による病棟業務の推進が一層加速することを期待したい。

シンポジウムXIII 遺伝子 〈ゲノム医療への臨床検査技師の参画

～病理分野における次世代シーケンサーを用いたクリニカルシーケンス～

司会 千葉大学付属病院 糸賀 栄
 クリニカルシーケンスの運用における課題と今後の展開について 国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 柿島 裕樹
 病理・細胞診検体を用いたNGS解析と当院での取り組み 地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院 雨宮 健司

臨床検査技師がゲノム検査の道に進むときは ～必要なものと役割～

慶応義塾大学医学部 腫瘍センター 柳田絵美衣

【企画の趣旨】

遺伝子技術の発達とそれに基づくゲノム医療の普及は、疾患概念の変化や診断技術の向上、分子標的薬の開発に貢献してきた。

近年次世代シーケンサー（Next Generation Sequencer：NGS）による網羅的遺伝子解析が安価で提供可能となるに伴い、特にがん領域において病理検体より、多数の遺伝子解析を同時に行う臨床的シーケンスが注目されている。

この新技術の臨床検査への実用化にあたっては、検査精度の維持と臨床情報の管理を含め多くの取り決めが必要となる。

本シンポジウムでは、3つの施設における臨床的シーケンス導入にあたっての実際的な取り組み・経験を紹介する。今後、導入を考えている施設の関係者には不可欠な内容である。

シンポジウムXIV 検体採取 〈検体採取業務の院内実施の現状と問題点〉

司会 三重大学医学部附属病院 森本 誠

鼻腔・咽頭からの検体採取への取り組み

聖隷浜松病院 石原 幹

臨床検査技師による皮膚採取の取り組み

富家病院 大竹 京子

当クリニックの検体採取について

～培養の為の検体採取方法からウイルス抗体キットを使用した検査まで～

医療法人社団柴山クリニック 鈴木 知子

【企画の趣旨】

検体採取業務が検査技師の業務範囲となり現実的に院内実施されている施設の現状を講演頂き、今後院内実施予定の施設の参考になれば幸いである。また、問題点（一般的採血者とインフルエンザ患者が隔離されていない等）を抽出し解決策を練る機会として考える。

シンポジウムXV 一般 〈尿沈渣検査法JCCLS GP1-P4の改訂に向けて〉

司会 東京女子医科大学病院 横山 貴

株式会社LSIメディエンス 山村 一志

改訂の概要

慶應義塾大学医学部臨床検査医学 菊池 春人

新規追加する成分について

東京大学医学部附属病院 宿谷 賢一

硝子円柱の鑑別基準案

藤田保健衛生大学 星 雅人

【企画の趣旨】

尿沈渣検査法のガイドラインであるJCCLS GP1P4は、各検査室における教本としてだけでなく、全国の検査施設の尿沈渣検査の標準化に大きく貢献してきました。そして、初版の発刊より約7年の歳月が流れ、その間に新たな知見も増え、尿沈渣にも更なる精度が求められてきています。

そこで、今回のシンポジウムでは現在JCCLSが改訂作業を進めている新しいガイドラインの改訂案について紹介して頂き、これからの尿沈渣検査について議論していきたいと思っております。

教育講演 I (生物化学分析)

司会 磐田市立総合病院 清水 憲雄

臨床検査の品格

浜松医科大学医学部 臨床検査医学講座 前川 真人

【企画の趣旨】

臨床検査は標準化されてきたとはいえ、測定法による違いはまだ残っている。その理由には測定対象が少しずつ異なっているものもあるわけであるが、臨床医にはわかっていないことがたくさんあり、臨床検査のプロが説明するべきである。他にも、臨床検査のプロとして身につけておいていただきたい礼儀作法にあたることについて、私見を述べたい。

教育講演Ⅱ (生理)

司会 厚生連松阪中央病院 中西 繁夫

マンモグラフィと乳房超音波検査の総合判定

静岡県立静岡がんセンター 乳腺画像診断科兼生理検査科 植松 孝悦

【企画の趣旨】

乳癌は日本人女性の11人に1人が罹患するとされており、自覚症状のない女性でも乳がん検診を受けることが推奨されている。日本初の大規模ランダム化比較試験「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験 (J-START)」では、40歳代の女性においてマンモグラフィに超音波検査を加えることで早期乳がんの発見率が約1.5倍になるなどの結果が得られた。マンモグラフィと超音波検査を併用する場合には総合判定を行うことで、超音波検査による要精査率の上昇を抑え、乳癌発見に貢献できると考えられている。

今回の企画で、マンモグラフィと超音波検査の総合判定についてお話いただくとともに、超音波検査の有効性を検証するプロジェクトである『J-START』を含めた今後の乳がん検診の方向性についてもご講演いただく。

教育講演Ⅲ (一般)

司会 株式会社LSIメディエンス 山村 一志

マラリアの最新研究及び最新情報について やはり注目したいマラリアin 寄生虫症

浜松医科大学 ウイルス・寄生虫学講座 石井 明

【企画の趣旨】

マラリアは熱帯・亜熱帯の約100ヵ国以上で流行し、年間約2億人の罹患者及び約63万人が死亡する極めて重要度の高い寄生虫疾患である。また、日本においては土着マラリアこそ撲滅されたものの輸入マラリア等による年間報告例は50例前後あり、診断の遅れは致命的となることから検査技師にはマラリアを鑑別するための知識と技術が求められる。今回、浜松医科大学の石井 明准教授にマラリアについての最新トピックスについて御講演していただく。

教育講演Ⅳ (遺伝子)

司会 株式会社ビー・エム・エル 園山 政行

遺伝学からみた「いのち」とはなにか ～染色体遺伝子検査の理解と大切さを知る～

池内 達郎

【企画の趣旨】

染色体遺伝子検査のほとんどは、外部機関への委託にて実施されている。そのため結果解釈についての理解は難しいと捉えられているようである。池内先生に染色体遺伝子の基礎についてわかりやすく講義していただき、染色体遺伝子検査結果解釈と臨床診断等についての知識習得を図る。

「染色体の基礎」と「染色体検査の臨床応用」についてご講演いただき、最近の分子学的技法についても学習し、遺伝子染色体検査の重要性を知る好機とさせていただきます。

教育講演Ⅴ (微生物)

司会 三重大学医学部附属病院 中村 明子

AMR 対策における微生物検査室の役割

名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部 八木 哲也

【企画の趣旨】

薬剤耐性菌の問題が年々深刻化しているなか、国は2016年4月に「薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン」を取りまとめた。耐性菌の発生を遅らせ、拡大を防ぐために、医療をはじめ各分野への啓発活動、薬剤耐性の発生状況や抗菌薬の適正使用などについて2020年までの5年間で実施すべき事項をまとめた行動計画である。微生物検査室として取り組むべき課題をご提示いただき、今後の臨床検査技師の役割についてご講演いただく。

教育講演Ⅵ (生物化学分析)

司会 磐田市立総合病院 春口 公哉

検査室からの診療支援 ～聖隷浜松病院の取り組み～

聖隷浜松病院 臨床検査科 米川 修

【企画の趣旨】

臨床検査医として永年に渡って蓄積された「検査データの読み方」を事前に登録し、臨床検査システムから受信した検査オーダー・検査結果を解析ロジックに基づきリアルタイム自動解析する医師後方支援・医療安全貢献について講演頂きます。

専門外の疾病見落とし防止、疑い病名に対する追加検査の提案により診断の早期化、病院への信頼保障が期待されるシステムです。

教育講演Ⅶ (生理)

呼吸器疾患の病態から検査まで ～知っておきたい呼吸器疾患の知識～

司会 奈良県立医科大学附属病院 高谷 恒範
滋賀医科大学 呼吸器内科 長尾 大志

【企画の趣旨】

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の患者数増加が懸念されている現在、呼吸機能検査は呼吸器疾患の診断に重要な検査となっている。しかしながら患者の病態を理解したうえで検査を行っている技師は多くないかもしれない。本講演では呼吸器疾患について、病態や呼吸機能検査以外の検査結果も併せてご講演いただく。

教育講演Ⅷ (病理)

病理医と病理検査技師のコミュニケーションの重要性

～信頼される病理の仕事、新たな環境づくりを目指して～

司会 焼津市立総合病院 田森 徹
三重県厚生連 鈴鹿中央総合病院 村田 哲也

【企画の趣旨】

我々技師は、一社会人としての基本的なマナーは知っている。
しかし本当に出来ていると胸を張って言えるだろうか？
挨拶やコミュニケーションの重要性など今一度見直すことで、仕事に対する姿勢や考え方など新たな視点で自身の行動を考え直す機会になればと考える。
安全でやりがいのある病理検査のために、病理医と技師がどのような信頼関係を図り、情報を共有し、共感力を養うことが求められるのかを考える企画としたい。

教育講演Ⅸ (血液)

リンパ腫 up to date ～検査技師が知っておきたいkey point～

岡山大学医学部 保健学科病態検査学講座 佐藤 康晴

司会 三島総合病院 大橋 勝春

【企画の趣旨】

近年、増加傾向を示す悪性リンパ腫について、特に押さえておくべき形態学的特徴やフローサイトメトリーを始めとした検査結果解釈の要点について講演していただき、日常検査からの臨床支援を目指します。また、基礎的な概要から統計、悪性度による分類、医師の視点から見る臨床症状等、多岐に渡り解説していただきます。

行列のできるスキルアップ研修会

スキルアップセミナー1 病理細胞

〈病理検体取扱いマニュアルの神髄を探る

～マニュアルに込められた想い、そして新たな未来へのメッセージ～

司会 浜松医療センター 院長補佐 小澤 享史
静岡赤十字病院 山田 清隆

【基調講演】病理検体の重要性をめぐる諸問題

大阪大学大学院 医学系研究科病態病理学 森井 英一

内視鏡検査介助者からみた病理検体の取り扱いについて

磐田市立総合病院 榛葉 由佳

日常業務とマニュアル遵守の間にある理想と現実・標準化に向けた取り組み ―病理検体の受付―

富士市立中央病院 渡邊 広明

日常業務とマニュアル遵守の間にある理想と現実・標準化に向けた取り組み ―病理検体処理～薄切―

静岡県立総合病院 岩崎 朋弘

デジタルパソロジーがもたらす未来と、求められる役割

浜松医科大学医学部附属病院 栗田 佑希

「病理検体取扱いマニュアル」を業務工程フロー図に落とし込む

―目的達成のためのプロセスの可視化と活用方法―

株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院 検査技術科 根本 誠一

【企画の趣旨】

日本病理学会病理検体処理ガイドラインワーキンググループは、昨年、病理検体を扱うすべての者を対象とした「病理検体取扱いマニュアル」を監修した。本マニュアルは検体取り扱いにおける標準化の先駆的なものと思われ、実際に業務フローに組み込んだ実績をお持ちの、ひたちなか総合病院 根本誠一技師にその実情を講演して頂きたいと考えている。

また、県内施設の現状を紹介し、今一度自施設のマニュアルと比較検討することで、安全かつ安心できる病理業務を実現していく意識・業務改革に繋げる事を目的としたい。

さらに、総論としてマニュアル監修に携わられた大阪大学 森井英一先生に病理検体取扱いマニュアルに込められた想い、そしてこれからの業務にどのような影響を望まれるのかをご講演頂きたいと考えている。

スキルアップセミナー2 臨床血液

〈末梢血液検査をマスターし、血液疾患を見落とさない知識を身につけよう！〉

	司会 三島総合病院 沼津市立病院	大橋 勝春 杉澤きよ美
血算の基礎 ～実践に必要な知識～ 誤報告をしないために		
	遠州病院	市川佐知子
血球分析装置から判る血液疾患の見方・考え方・血液像の形態		
	東京大学医学部附属病院	常名 政弘
末梢血液像観察のポイント ～基礎的な見方・所見のとり方～		
自動血球分析装置の上手な活用方法	聖マリアンナ医科大学病院	井本 清美

スキルアップセミナー3 生物化学分析

〈認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師の為の講習会〉

	司会 磐田市立総合病院	春口 公哉
精度保証の基本①（精度保証の全体体系、バリデーション、勧告法）		
	熊本保健科学大学 保健科学部	池田 勝義
精度保証の基本②（精度管理と精度保証、検査データの臨床的有用性）		
	学校法人中部大学	松本 祐之
検査室内部の精度保証体制の整備		
	東北医科薬科大学病院	小堺 利恵
外部精度管理および地域における精度保証		
	産業医科大学病院	早原 千恵
免疫検査の精度保証		
	東京慈恵会医科大学附属第三病院 中央検査部	阿部 正樹
診療現場・チーム医療における精度保証		
	学校法人天理よろづ相談所学園 天理医療大学	畑中 徳子
ISO15189を用いた精度保証		
	徳島大学病院 診療支援部	中尾 隆之

【企画の趣旨】

2014年に設置された「臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師」認定制度は、臨床化学・免疫化学の進歩・発展を図ることを目的とし、学術的側面から実践的な側面をもち、分析化学から臨床医学までを広く包括することが求められている。昨今、医療の地域連携により医療情報は患者とともに病院から病院へと移動していく時代のおとずれとともに検査情報の共有化が必要とされ、すべての医療機関に利用できるJCCLS共用基準範囲（2013. 3. 31に公表）の導入が求められている。

このような背景のもと、本制度は化学的分析手法を用いた測定法全般の技術開発やデータの医療・環境保全・食品安全等への提供、さらには疾病の病因・病態の解明や治療・予防への寄与を目指しており、こうした精度保証体制の確立と維持管理を担う技師の育成を目的として本セミナーを開催する。

スキルアップセミナー4 認定救急検査技師

〈救急診療の安全性を考える ～事例に学び、経験値を上げる！～〉

	司会 川崎医科大学附属病院 中央検査部微生物検査室 大阪府三島救命救急センター 医療技術部検査科	河口 豊 竹下 仁
--	---	--------------

初期診療の安全性について ～チーム医療のあり方～

社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院 救急科 寺坂 勇亮
救急医療における輸血業務の安全性について ～事例を中心に検証する～

新潟県立十日町病院 検査科 高橋 政江
院内感染対応

三重大学医学部附属病院 中央検査部／感染制御部 中村 明子
中毒症例における二次被災の防止について

株式会社ファルコバイオシステムズ草津総合病院ラボラトリー 福田 篤久

【企画の趣旨】

救急医療の本質は緊急性の高い患者に、一刻も早く処置・治療を施すことにある。一方で、救急医療という医療特性に由来する医療事故の危険性が高いことも事実である。すなわち、緊急性に従属する時間的制約や情報不足、重症度に伴う侵襲度合いの高さ、ヒトやモノの質と量の不足などのさまざまな危険因子を抱えている。安全性の構築は極めて重要な課題であり、救急医療の標準化の推進、チーム医療の充実など行政や学会などを主体とした組織的取り組みがなされている。

このような背景において、臨床検査技師が救急医療の現場に関わり始めた今日の現状において、救急医療における安全性について、知識・技術の習得は不可欠であるとの認識から本セミナーを企画した。

救急医療における安全性についての概論と臨床検査に関連性の高い分野における事例を紹介いただき、救急医療における危険因子の把握と安全性を担保するために必要な知識・技術を共有し、個々の取り組みの一助となることを期待する。

スキルアップセミナー5 認定認知症領域検査技師

〈極めよう！神経心理検査〉

司会 JCHO群馬中央病院 深澤 恵治
臨床心理士から見る神経心理検査の実際

鳥取大学大学院医学研究科 臨床心理学専攻 竹田 伸也
臨床および研究での神経心理学的検査の活用

国立長寿医療研究センター 櫻井 孝

【企画の趣旨】

臨床検査技師による神経心理検査を広める意味において、実際の検査を行っている臨床心理士の立場から神経心理検査のピットフォールを教示していただくこと。さらには国立長寿医療センターの櫻井先生による臨床での活用方法を教授していただき臨床検査技師としての認知症領域の知識をより一層深めていくものとする。

スキルアップセミナー6 POCセミナー

〈事件は現場で起きている！その血糖測定、大丈夫？ ～血糖測定におけるピットフォールを学ぶ～〉

司会 春日井市民病院 後藤 慎一
西知多総合病院 服部 聡

【基調講演】周術期における血糖管理の重要性について

血糖モニタリングの視点での考察

春日井市民病院 佐々木洋光
血糖測定の現場に潜む危険 どう伝える？

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷リバーサイド病院 中川 裕美
〈実習〉

国内で発売されている代表的なPOCT対応血糖装置を利用して誤った測定を行い、何が問題かを検証し、安全かつ正確な血糖測定方法を学ぶ。

司会 株式会社ビー・エム・エル 山崎 家春

【企画の趣旨】

平成28年の「国民健康・栄養調査」では糖尿病有病者とその予備群を合わせると2,000万人と報告された。また、入院患者の高齢化が進み、併存症として糖尿病を患う患者も多くみられることから、ベッドサイドでの血糖測定の必要性が増すことが推測される。今回は、講演にて周術期の血糖管理の重要性を学び、実習では安全な血糖測定を実施するためにはどんなピットフォールが潜んでいるか学び、POCコーディネータとして血糖装置利用者へ安全な血糖測定を指導できる人材育成を目的に本セミナーを開催する。

スキルアップセミナー7 臨床生理

〈実践で役立つ超音波検査〉

	司会 静岡県立こども病院	藤下 真澄
伝授!! 私の左室壁運動評価方法		
	群馬県立心臓血管センター 技術部	岡庭 裕貴
頸部動脈ガイドラインの変更も含めて		
	有隣厚生会 富士病院	木下 龍男
腹部エコーのステップアップに必要な基本と臨床応用		
	静岡県立静岡がんセンター 生理検査科	南里 和秀

【企画の趣旨】

超音波検査は現在の医療にとってはなくてはならない検査となっている。
各分野でご活躍されている先生方に、実践で役立つ内容・検査側から臨床へアピールするポイントなど、最近注目されている内容もふまえてご講演いただく。
超音波検査に携わる方々の、日常業務の疑問点の解決や明日から行う検査の自信に繋がるような研修にしたいと考える。

スキルアップセミナー8 臨床一般

『臨床の知りたい』に答える これからの一般検査

	司会 岐阜赤十字病院	林 晃司
	社会医療法人宏潤会大同病院	浅井 千春
	名古屋第二赤十字病院	安土みゆき
	株式会社エスアールエル静岡事業部 静岡がんセンター	新村 尚美
腎移植後BKウイルス腎症 ～臨床医の悩みと検査部門への期待～		
	福岡大学医学部腎臓・膠原病内科学	升谷 耕
新たな尿中結晶成分キサンチン結晶		
	国立大学法人 神戸大学医学部附属病院	大沼健一郎
髄液 一目置かれる結果報告を目指して		
	諏訪中央病院	保科ひづる
臨床が知りたい! Fabry病の早期診断と治療に役立つマルベリー細胞・小体の情報		
	東京女子医科大学病院	横山 貴

【企画の趣旨】

我々が検査業務に従事する傍らで新たな医学情報が日々見出されており、それに伴い臨床から検査室へ求められることは増えてきている。臨床一般検査の部門において臨床が欲していることは何かをテーマとし、検査知識の更新を図る。

スキルアップセミナー9 臨床微生物

〈質量分析・PCRがあっても欠かせない従来の同定法〉

	司会 聖隷浜松病院	釋 悦子
	中東遠総合医療センター	上村 桂一
VITEK MSの使用経験 3類感染症, 食中毒起因菌を中心に		
	静岡市立静岡病院	杉本 直樹
MALDIバイオタイパーの使用経験 ～導入後1年の経験から～		
	市立島田市民病院	栗田 泉
遺伝子同定の前に押さえていただきたい基本性状		
	東京医科大学 微生物学分野	大楠 清文
忘れてはいけない性状確認		
	東京大学医学部附属病院	佐藤 智明

【企画の趣旨】

ここ数年、質量分析装置 (TOF-MS) による同定が普及した。質量分析装置およびPCRを使っても、従来の性状確認培地による確認は不可欠なことがある。
このセッションでは、シンポジウム形式にて立場の異なる検査技師からそれぞれの経験談を交えながら、質量分析装置やPCRがあっても必要不可欠な性状確認培地をもう一度見直していく。
今後、質量分析装置やPCRの導入を検討している施設だけでなく、微生物検査の初心者にも必要な性

状確認についても参考となりうる情報提供を行いたい。

スキルアップセミナー10 輸血細胞治療

〈輸血検査の定石と最善の一手〉

司会 静岡済生会総合病院 中野 翔太
 カラム凝集法の特性を理解したイレギュラー反応の考え方
 バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社 診断薬カスタマーサポート部 小黒 博之
 直接抗グロブリン試験陽性時における輸血検査と対応
 東邦大学医療センター大森病院 日高 陽子

【企画の趣旨】

昨今の輸血検査の動向として、自動分析器の普及が進んでおり、数年前から全国的に半数を超える状況となっている。また輸血検査では自己抗体を保有する患者の輸血で悩まされることもあり、追加検査の種類、対応も多岐にわたることが多い。

輸血自動機器ではカラム凝集法が採用されることが多い状況の中、この方法での検査の特性等を捉えつつ、異常反応がみられた場合に経験則から、検査を次の展開へもっていくことも増えている。

これらの分析能力、判断能力、決断力を養いスキル向上として本企画を提案し、少しでも多くの方に理解を広め、速やかに適合血を準備できる輸血検査室と人材育成を目標とする。

スキルアップセミナー11 染色体遺伝子

〈資格試験にチャレンジ!! 「染色体遺伝子検査認定資格を取ろう!」〉

司会 国立がん研究センター 若井 進
 認定臨床染色体遺伝子検査制度・認定試験（遺伝子分野）を受験して
 静岡赤十字病院 山崎 大央
 認定臨床染色体遺伝子検査制度・認定試験（染色体分野）を受験して
 公益財団法人天理よろづ相談所病院 中川 美穂
 日本人類遺伝学会認定資格・細胞遺伝学認定士を受験して
 有限会社胎児生命科学センター 鈴木 翔太
 遺伝子分析科学認定士制度・初級認定試験を受験して
 静岡県立総合病院 菅沼 涼平

【企画の趣旨】

遺伝子異常と疾患との関連が解明され、さらに分子標的治療薬の開発とコンパニオン診断薬等、遺伝子関連検査は様々に展開されている。そのような中、遺伝子関連検査については院内実施の有無にかかわらず、適正な検査依頼～検体の取り扱い～結果の解釈までの知識習得は必須であると考え。実際の業務でないことから、遺伝子検査については難解のように捉えられているようであるが、遺伝子検査への知識習得の手段として各種認定試験取得への取り組みを勧めたい。

【参加数】

会 員 3,522名 賛助会員 479名 非会員 195名 学 生 173名
 企業関係者 1,733名 市民公開講座 818名 情報交換会 約560名

【総括】

・開会式

開会式と展示会場オープニングセレモニーを一か所で開催した。企業展示ホール前の通路で実施したため若干狭く感じたが、おかげさまで多くの方のご参加をいただき盛大な開会式となった。

・公開講演

著名人の講演を企画した。天候が悪く豪雨となり、集客に不安があったが、入場者数は818名と盛況となった。前回同様公開講演会場は1,000名規模の会場が必要である。

・一般演題

昨年よりは微減だがほぼ同数の演題数となった。昨年の6月と同時期開催だったが、再募集・再々募集を行い演題数の確保ができた。

・特別企画

教育講演・シンポジウム・フォーラム等は静臨技学術部門を中心に、全国の会員の協力のもと、検査業界の現状に即した盛会な特別企画となった。

・企業展示

昨年の幕張の83社とまではいかなかったが、近い出展数を確保できた。地方開催ということで心配をしたが努力の甲斐もあって79社の協力を得られた。締め切り後も数社の希望があったが、会場の都合でお断りをした経緯もあった。展示会場は、昨年ほどの十分な広さではなかったが、それが適度なコンパクト感ある配置に集約でき、常に来場者が多く見えて、大盛況に感じ企業側から好評を得た。別棟に企業関係者専用控室等を配置し休憩時は移動してもらうことがあったが、メリハリもできて企業としても使い勝手がよかったようである。

・学会情報交換会

メインホテル内の宴会場にて開催した。エントランスホールを含め600名規模の会場だったが、定員に近い参加者があり、料理は足りていたが、すこし圧迫感を与えたかもしれない。静岡県らしいおもてなしと特色を生かした情報交換会を目指し、メニューやパフォーマンスを披露した。参加者の皆様からは「さすが！静岡県らしい斬新で面白い情報交換会だった。」と嬉しい言葉を頂いた。

参加者数が4,300名を超える盛会な学会を静岡県で開催することができた。学会開催にあたり、静岡県や浜松市、県医師会、そして地元、静岡県臨床衛生検査技師会会員の絶大な協力があったからこそ成しえた学会であった。





アクトシティ浜松

第67回日本医学検査学会を終えて



学会長 山口 浩 司 (静臨技会長)



第67回日本医学検査学会を平成30年5月12日(土)・13日(日)の両日、静岡県浜松市のアクトシティ浜松・オークラアクトシティホテル浜松・ホテルクラウンパレス浜松で開催いたしました。

今学会のテーマは、新たなステージで活躍する未来の姿を具体的にイメージする場としたいと考え、メインテーマを「Let's go this way —その道を進もう—」、サブテーマは「多様な役割のなかで、新たな存在価値を示す」といたしました。時代の変化と共に医療従事者に求められる役割も変化し、これからの臨床検査技師の人づくりやサービス提供をどのように行っていくか、ということに様々な道があるということの意味しました。

今学会は、がんゲノム関連や医療法改正など話題の内容が数多く企画され、両日共に多くの会場で満席となる程に盛況であり、全般を通して充実した実りある学会が開催できたと感じています。

シンポジウムでは初めての試みとなる日臨技と(一社)日本衛生検査所協会とのコラボレーション企画を「検査の委託や受託における精度管理向上を目指して」と題し、それぞれの立場から発表と質疑応答が行なわれました。相互理解を深めたうえで連携を強化し委託と受託の一連における更なる精度管理向上を目指していくために、今後もこの企画が継続されることを望みます。また、シミュレーターを用いた“検体採取実践セミナー”も、初めての試みでしたが参加された会員には良い企画だったとの評価をいただきました。

また、Wマコト先生や齋藤孝先生のご講演は、コミュニケーション能力の向上に向けてお役に立てたのではないのでしょうか。両先生の会場は笑の絶えない楽しい雰囲気にも包まれていました。

学会長講演でお伝えしましたが、人生100年時代においても価値ある業務で活躍し続けるために、主体性のある臨床検査技師を目指すことを心掛けていただきたいと思います。意志あるところに必ず道は開けます！

さて、次回の第68回日本医学検査学会は(一社)山口県臨床検査技師会の渋田秀美学会長のもと、2019年5月18日(土)・19日(日)に下関市で開催されます。多くの皆様のご参加により盛会に開催されますことを祈念申し上げます。

末筆ではございますが、本学会の開催にあたりご指導をいただきました日臨技の皆様、中部圏支部ならびに静臨技役員や学術部門の皆様、運営に携わりました関係者の皆様、ご参加いただきました全国の会員・賛助会員の皆様、多大なるご協力を賜りました各協賛企業の皆様に心よりお礼を申し上げます。

37年ぶりの静岡県開催を終えて！

学会実行委員長 **伊藤喜章**（静臨技 事務局長）
 学会事務局長 **蘭田明広**（静臨技 副会長）

夏到来を感じさせた土曜日、打って変わって曇天から豪雨となった日曜日、そんな5月の二日間（12日、13日）に浜松において第67回日本医学検査学会が開催されました。初日の朝礼では日臨技宮島会長、および山口学会長にありがたいお話を頂戴し、諸注意の後、蘭田学会事務局長の「がんばろう！」の気合い入れで学会実行委員一同、いち早いスタートを切りました。その後は会場準備に専念し、定刻に展示イベントホール前にて開会のテープカットを行うことが出来ました。



開会式：テープカット

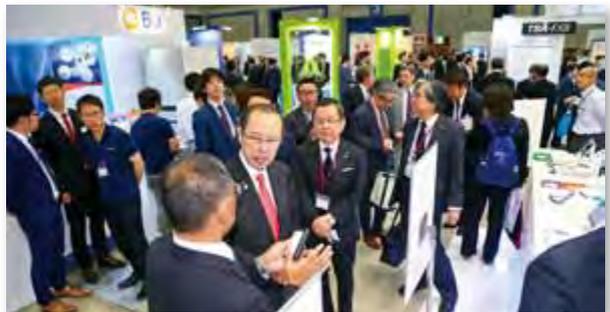
今学会は会員の事前登録が2,025名と多く、受付の渋滞がある程度緩和できましたが、やはり初日朝一番は、当日の参加者及びランチョンチケットの取得に多くの方が見え、例年同様の混雑はあったものの大きなトラブルもなく終えることができました。最終的には学生173名を含め4,300人余の来場者を数えるほどの大盛況で、自分たちの目標値も達成でき、実行委員一同安堵しております。特に初動から1年以上も陣頭指揮にあたった山口学会長の慶びは我々以上にひとしおのことと思います。一般演題563題、学会長講演や基調講演のほか、招待講演2題、公開講演1題、教育講演10題、ほかシンポジウムなどの特別演題が34分野80演題と、幅広い分野で開催ができたことに大変満足しております。特に一般の方に開放する市民公開講演は、悪天候の中、集客に少し不安はあり



公開講演：齋藤孝先生 熱弁

ましたが、案じていた心配をよそに818名の参加があり、会場は大いに盛り上がりました。講演終了後、会場からアンコールが掛かり、齋藤先生もご多忙な日程にもかかわらず再び登壇、追加講演して頂けたのは非常に印象的でした。学会初日夜の情報交換会も多数の方にご参加いただき、非常に盛り上がりを見せました。ただ、会場が500人規模の広さであったため、想定を超える参加者により皆様にその圧迫感で少し窮屈な思いをさせてしまいましたこと、改めてお詫び申し上げます。

また、企業展示は79社、ランチョン・スイーツの共催セミナーには30社と、大変多くの企業・賛助会員の皆様にご協力いただきましたこと、本当に感謝しております。ご支援ご協力ありがとうございました。おかげ様で静岡流の“おもてなし”が出来ました。



展示企業へお礼の訪問：宮島会長・山口学会長

最後になりますが、今学会の準備期間中や会期中に、日臨技理事や事務局の皆様には懇切丁寧なご指導、ご協力を頂き、本当にありがとうございました。また、第65回開催の兵庫県実行委員会ならびに前回開催の千葉県実行委員会の皆様には円滑な学会準備に向け、多大なご指導ご鞭撻を頂き、誠にありがとうございました。今回の成功は、皆様のご協力あっての賜物と深く感謝申し上げます。

学会日程表

2018年5月11日(金)

施設名	アクトシティ浜松											オークラアクトシティホテル浜松			
	大ホール・中ホール			コンgresセンター						研修交流センター		第9会場	第10会場	第11会場	
会場名	総合受付	PCセンター	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場			第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	第11会場	
階部屋名	B1F/1F ロビー・コンgresセンター エントランスロビー	1F 大ホール ホワイエ	B1F 中ホール	3F 31会議室	4F 41会議室	4F 43 会議室	4F 44 会議室	5F 52 会議室	5F 53 会議室	5F 54 会議室	2F 音楽工房 ホール	6F 62研修 交流室	3F チェルシーI	3F チェルシーII	3F メイフェア
8:00															
9:00															
10:00															
11:00															
12:00			行列のできるスキルアップ研修会 Part IX 受付場所：アクトシティ浜松 81F 第2会場（中ホール）ロビー 受付開始時間は各講座開始1時間前からとなります												
13:00	参加受付 12:00～17:00 日臨検会員、 非会員 受付 B1F ロビー	PC受付 12:00～17:00		13:00～17:00 スキルアップ 臨床血液 末梢血液検査を マスターし、血 液疾患を見落と さない知識を身 につけよう！								13:30～19:00 スキルアップ 臨床一般			
14:00	賛助会員、 関連学会、 団体 受付 1F コンgresセンター エントランスロビー		14:00～18:00 スキルアップ 病理細胞 病理検体取扱い マニュアルの神 髓を探る ～マニュアルに 込められた想い、 そして新たな 未来への メッセージ～	14:00～18:00 スキルアップ 生物化学分析 認定臨床化学・ 免疫化学精度保 証管理検査技師 のための講習会	14:00～16:00 スキル アップ 認定救 急検査 技師	14:00～18:00 スキル アップ 認定認 知症領 域検査 技師	14:00～15:30 スキル アップ POCセミナー 「事件は現 場で起きて いる！」その 血腫測定、 大丈夫？」 ～血腫測定 におけるピ ットフォール を学ぶ～				14:00～18:00 スキルアップ 臨床生理 実践で役立つ 超音波検査	14:00～17:30 スキルアップ 臨床微生物 質量分析・PCR があっても欠か せない従来の同 定法			
15:00															
16:00										15:30～17:00 スキルアップ POC実習室				15:00～17:00 スキルアップ 輸血細胞 治療 輸血検査の定石 と最善の一手	15:00～17:00 スキルアップ 染色体遺伝子 資格試験に チャレンジ!! 「染色体遺伝 子検査認定資格 を取ろう！」
17:00															
18:00															
19:00															

2018年5月12日(土)

施設名	アクティシティ浜松										
	大ホール・中ホール				コンgresセンター					研修交流センター	
会場名	総合受付	PCセンター	クローク	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場
階部屋名	B1F/1F ロビー・コンgresセンター エントランスロビー	1F 大ホール ホワイエ	B1F ロビー	1F 大ホール	B1F 中ホール	3F 31会議室	4F 41会議室	4F 43・44会議室	5F 52・53・54 会議室	2F 音楽工房 ホール	6F 62研修交流室
8:00											
9:00	参加受付 8:00~17:00 日臨技会員、非会員 受付 B1F ロビー	PC受付 8:00~17:00	クローク受付 8:00~18:30				9:00~9:50 細胞1 243~247	9:00~9:40 微生物1 1~4	9:00~9:30 免疫血清1 75~77	9:00~9:40 生理4 264~267	
10:00	賛助会員、 関連学会、 団体 受付 1F コンgresセンター エントランスロビー			9:20~9:50 学会長講演 山口 浩司	9:20~10:50 シンポジウムⅠ 輸血 小規模医療機関 (在宅輸血を含む) における輸血療法 の問題点	9:20~10:50 シンポジウムⅢ RCPC 臨床検査技師による 臨床検査技師の ためのRCPC	10:00~12:00 シンポジウムⅤ 病理 病理検査技師が 活躍する新たな ステージ ~先端医学の技術が 未知なる病理の 扉をひらく~	9:40~10:20 微生物2 5~8	9:30~10:00 免疫血清2 78~80	9:40~10:20 生理5 268~271	
11:00				11:00~12:00 基調講演 宮島 喜文	11:00~12:00 教育講演Ⅰ 生物化学分析 臨床検査の品格			10:00~11:00 微生物3 9~12	10:00~10:30 免疫血清3 81~83	10:20~10:50 生理6 272~274	
12:00					12:10~13:10 ランチョン セミナー1 シスメックス(株)	12:10~13:10 ランチョン セミナー2 キャノン メディカル システムズ(株)	12:10~13:10 ランチョン セミナー3 株式会社カイン	12:10~13:10 ランチョン セミナー4 ニプロ(株)	12:10~13:10 ランチョン セミナー5 デンカ生研(株)	12:10~13:10 ランチョン セミナー6 ロシュ・ ダイアグノス ティックス(株)	
13:00					13:20~14:50 シンポジウムⅡ 精度管理 法改正を受けての 検体検査の品質・ 精度管理の あるべき姿	14:00~14:50 在宅医療 527~531	13:20~13:50 病理1 193~195	13:20~14:00 生理1 253~256	13:20~13:50 臨床化学1 152~154	13:20~14:50 シンポジウムⅥ 生理 国際学生 フォーラム	13:20~14:50 生理 生理検査における 精度管理と 安全性の確保
14:00				13:30~14:30 招待講演Ⅰ 植田 勝智 Made in Mt. Fuji ふじのくにのものづく り 実証システム ~臨床現場のニーズ を製品化する~			13:50~14:20 病理2 196~198	14:00~14:40 生理2 257~260	13:50~14:20 臨床化学2 155~157		
15:00						15:00~16:30 シンポジウムⅣ 在宅 在宅医療における 臨床検査と 臨床検査技師の 医療ニーズ	14:20~14:50 病理3 199~201	14:40~15:10 生理3 261~263	14:20~14:50 臨床化学3 158~160		
16:00				16:00~17:00 教育講演 Wマコト ひとを笑顔に導く! 「笑いの五原則」	バイオルガン 演奏		15:00~15:50 スイーツ セミナー1 中外製薬(株)	16:00~16:30 病理4 202~204	14:50~15:20 臨床化学4 161~163	15:00~15:50 スイーツ セミナー2 フクダ電子(株)	15:00~16:20 日韓 シンポジウム
17:00					17:10~18:10 学会式典		16:30~17:00 病理5 205~207		15:20~15:50 臨床化学5 164~166		
18:00											
19:00											

アクトシティ浜松			オークラアクトシティホテル浜松				ホテルクラウンパレス浜松					施設名				
大ホール		展示イベントホール														
示説会場1	示説会場2	展示発表会場	第9会場	第10会場	第11会場		第12会場	第13会場	第14会場	第15会場	第16会場	会場名				
2F 大ホール ホワイエ	2F 大ホール ホワイエ	1F イベントホール	3F チェルシー I	3F チェルシー II	3F メイフェア	4F 平安	3F 松の間A+B	3F 松の間C	4F 芙蓉の間A	4F 芙蓉の間B	4F 芙蓉の間C	階 部 屋 名				
		8:30~8:50 開会式										8:00				
9:00~10:00 ポスター掲示		9:00~17:00 展示発表会	9:00~9:40 一般1 366~369	9:00~9:40 チーム医療1 490~493			9:00~9:40 血液1 112~115	9:00~9:30 管理運営1 446~448	9:00~9:40 生理9 282~285	9:00~9:40 遺伝子・染色体1 436~439	9:00~9:30 微生物6 19~21	9:00				
			9:40~10:20 一般2 370~373	9:40~10:20 チーム医療2 494~497			9:40~10:20 血液2 116~119	9:30~10:10 管理運営2 449~452	9:40~10:20 生理10 286~289		9:50~10:50 教育講演IV 遺伝子 遺伝学からみた 「いのち」とはなにか	9:30~10:10 微生物7 22~25	10:00			
			10:20~10:50 一般3 374~376	10:20~11:00 チーム医療3 498~501			10:30~12:00 臨床血液 フォーラム 臨床血液フォーラム WHO分類2016 ~あなたの施設は 対応していますか?	10:10~10:50 管理運営3 453~456	10:20~11:10 生理11 290~294			10:10~10:50 微生物8 26~29	10:00			
			10:50~11:20 一般4 377~379	11:00~11:40 チーム医療4 502~505				10:50~11:30 管理運営4 457~460		11:10~11:50 生理12 295~298		10:50~11:20 微生物9 30~32	11:00			
			11:20~12:00 一般5 380~383					11:30~12:00 管理運営5 461~463				11:20~11:50 微生物10 33~35	11:00			
			12:10~13:10 ランチオン セミナー7 シーモンスヘルスクア ダイアグノスティクス㈱	12:10~13:10 ランチオン セミナー8 栄研化学㈱	検体採取 技術体験 セミナー			12:10~13:10 ランチオン セミナー9 ベックマン・ コールター㈱	12:10~13:10 ランチオン セミナー10 株式会社ハイ テクノロジーズ	12:10~13:10 ランチオン セミナー11 東ソー㈱	12:10~13:10 ランチオン セミナー12 株式会社メディカ	12:10~13:10 ランチオン セミナー13 オーソングリニカル ダイアグノス ティクス㈱	12:10~13:10 ランチオン セミナー13 オーソングリニカル ダイアグノス ティクス㈱	12:00		
13:30~14:00 示説1 536~538	13:30~14:00 示説6 548~550		13:20~14:50 教育講演III 一般 マラリアの最新研究 及び最新情報 について やはり注目したい マラリア in 寄生虫症	13:20~14:00 チーム医療5 506~509				14:00~14:50 チーム医療6 510~514		13:20~13:50 血液3 120~122	13:20~13:50 教育1 471~473	13:20~14:00 生理13 299~302	13:20~14:00 輸血1 404~407	13:20~14:50 シンポジウムVII 微生物 微生物検査室に 必要な遺伝子検査	13:20~14:50 シンポジウムVII 微生物 微生物検査室に 必要な遺伝子検査	14:00
14:00~14:30 示説2 539~541	14:00~14:20 示説7 551~552									13:50~14:20 血液4 123~125	13:50~14:20 教育2 474~476	14:00~14:40 生理14 303~306	14:00~14:40 輸血2 408~411			14:00
14:30~14:40 示説3 542	14:20~14:40 示説8 553~554									14:20~14:50 血液5 126~128	14:20~14:50 教育3 477~479	14:40~15:20 生理15 307~310	14:40~15:20 輸血3 412~415			14:00
14:40~15:00 示説4 543~544	14:40~15:00 示説9 555~556									14:50~15:20 血液6 129~131	15:00~15:50 スイーツ セミナー5 極東製薬工業㈱	15:20~16:00 生理16 311~314	15:20~16:00 輸血4 416~419	15:00~16:00 教育講演V 微生物 AMR対策に おける微生物 検査室の役割	15:00~16:00 教育講演V 微生物 AMR対策に おける微生物 検査室の役割	15:00
15:00~15:30 示説5 545~547	15:00~15:30 示説10 557~559		15:00~15:50 スイーツ セミナー3 アークレイ㈱	15:00~15:50 スイーツ セミナー4 富士フィルム 和光純薬㈱					15:20~15:50 血液7 132~134		16:00~16:40 生理17 315~318	15:25~16:55 輸血細胞治療 フォーラム 輸血細胞治療フォーラム 多様なニーズに対応する 輸血検査室を求めて			15:00	
15:30~15:50 示説12 562~563	15:30~15:50 示説11 560~561										16:00~16:40 教育4 480~483				16:00	
14:30~14:40 示説3 542			16:00~16:30 一般6 384~386	16:00~16:40 公衆衛生 400~403							16:40~17:10 教育5 484~486				16:00	
15:50~17:00 ポスター閲覧			16:30~17:00 一般7 387~389												17:00	
									18:30~20:30 情報交換会						18:00	
												19:00				

2018年5月13日(日)

施設名	アクアシティ浜松											
	大ホール・中ホール				コンgresセンター				研修交流センター			
会場名	総合受付	PCセンター	クローク	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場	
階部屋名	B1F/1F ロビー・コンgresセンター エントランスロビー	1F 大ホール ホワイエ	B1F ロビー	1F 大ホール	B1F 中ホール	3F 31会議室	4F 41会議室	4F 43・44会議室	5F 52・53・54 会議室	2F 音楽工房 ホール	6F 62研修交流室	
8:00	参加受付 8:00~13:00 日臨検会員、非会員 受付 B1F ロビー 賛助会員、 関連学会、 団体 受付 1F コンgresセンター エントランスロビー	PC受付 8:00~13:00	クローク受付 8:00~15:00									
9:00					8:30~10:00 シンポジウムⅧ 精度管理 検査の委託や 受託における 精度管理向上を 目指して	8:30~10:00 シンポジウムⅪ がん医療 がん医療の これからを考える	8:30~9:10 生理18 319~322	8:30~9:10 生理23 339~342	8:30~9:20 細胞2 248~252	8:30~9:10 病理10 223~226	9:00~9:30 遺伝子・染色体2 440~442	
10:00						9:30~10:00 教育6 487~489	10:10~11:50 シンポジウムⅩ 臨床実習 臨床実習の在り方 ~求められる 臨床実習とは~	10:40~11:40 教育講演Ⅵ 生物化学分析 検査室からの診療支援 - 夏津浜松病院の 取り組み	9:10~9:50 生理19 323~326	9:10~9:50 生理24 343~346	9:20~10:00 病理6 208~211	9:30~10:00 遺伝子・染色体3 443~445
11:00						10:10~11:50 シンポジウムⅨ 生物化学分析 共用基準範囲と JLAC検査項目 コードの現在と未来 : 臨床検査データの 有効利用に向けて	10:10~11:50 シンポジウムⅩ 臨床実習 臨床実習の在り方 ~求められる 臨床実習とは~	10:30~11:10 生理21 331~334	10:30~11:10 生理26 351~354	10:30~11:10 生理25 347~350	10:00~10:40 病理7 212~215	9:40~10:20 病理12 230~233
12:00						12:00~13:00 ランチョン セミナー14 富士テレビオ株	12:00~13:00 ランチョン セミナー15 株シノテスト	12:00~13:00 ランチョン セミナー16 バイオ・ラッド ラボラトリーズ株	12:00~13:00 ランチョン セミナー17 ニットーボー メディカル株	12:00~13:00 ランチョン セミナー18 協和メディックス株		
13:00					13:10~14:10 招待講演Ⅱ 轟馬 明 光の可能性を求めて ~2026年、世界を 変える「イ」を~	13:10~14:30 シンポジウムⅫ 病棟業務 患者・多職種から 求められる 病棟常駐臨床検査技師 ~各地の実践例~	13:10~14:10 教育講演Ⅶ 生理 呼吸器疾患の 病態から検査まで	13:10~13:40 生理28 359~361	13:10~14:10 教育講演Ⅷ 病理 病理医と病理検査技師の コミュニケーション の重要性	13:10~13:40 管理運営6 464~466		
14:00							13:40~14:20 生理29 362~365			13:40~14:20 管理運営7 467~470		
15:00				14:40~15:40 公開講演 齋藤 孝 人間関係をつくる コミュニケーションカ								
16:00												
17:00												
18:00												
19:00												

アクトシティ浜松		オークラクトシティホテル浜松						ホテルクラウンパレス浜松					施設名					
大ホール		展示イベントホール	第9会場		第10会場	第11会場	第12会場		第13会場	第14会場	第15会場	第16会場	会場名					
示説会場1	示説会場2	展示発表会場	3F チェルシー I	3F チェルシー II	3F メイフェア	4F 平安	3F 松の間A+B	3F 松の間C	4F 芙蓉の間A	4F 芙蓉の間B	4F 芙蓉の間C	階 部 屋 名						
												8:00						
8:30~12:30 ポスター閲覧		9:00~15:30 展示発表会	8:30~9:00 免疫血清7 93~95	8:30~9:00 血液8 135~137	検体採取 技術体験 セミナー		8:30~9:10 輸血4 416~419	8:30~9:00 微生物14 48~50	8:30~9:10 チーム医療7 515~518	シンポジウムXV 一般 尿沈渣検査法 JCCLS GP1-P4の 改訂に向けて	8:30~9:00 臨床化学6 167~169	9:00						
			9:00~9:40 免疫血清8 96~99	9:00~9:40 血液9 138~141			9:10~9:50 輸血5 420~423	9:00~9:40 微生物15 51~54	9:10~9:50 チーム医療8 519~522		9:00~9:30 臨床化学7 170~172	9:30~10:00 臨床化学8 173~175	9:00					
			9:40~10:10 免疫血清9 100~102	9:40~10:10 血液10 142~144			9:50~10:30 輸血6 424~427	9:40~10:20 微生物16 55~58	9:50~10:30 チーム医療9 523~526		10:00~10:30 臨床化学9 176~178	10:00~10:30 臨床化学10 179~182	10:00					
			10:10~10:40 免疫血清10 103~105	10:20~11:50 教育講演区 血液 リンパ腫 up to date			10:30~11:10 輸血7 428~431	10:20~11:00 微生物17 59~62	10:40~11:40 シンポジウムXIV 検体採取 検体採取業務の 院内実施の 現状と課題点		10:00~10:50 一般8 390~393	11:10~11:40 臨床化学11 183~185	10:00					
			10:40~11:10 免疫血清11 106~108				11:00~11:40 微生物18 63~66	11:20~11:50 一般10 397~399	11:00									
			11:10~11:40 免疫血清12 109~111															
								12:00~13:00 ランチョン セミナー19 アポット ジャパン株	12:00~13:00 ランチョン セミナー20 積水メディカル株			12:00~13:00 ランチョン セミナー21 株イムコア	12:00~13:00 ランチョン セミナー22 東洋紡株	12:00~13:00 ランチョン セミナー23 ニプロ株	12:00~13:00 ランチョン セミナー24 ラジオメーター株	12:00~13:00 ランチョン セミナー25 株カイノス	12:00	
			12:30~14:00 ポスター撤去						13:10~13:40 血液11 145~147			13:10~13:50 微生物12 40~43	13:10~13:50 微生物19 67~70	13:10~13:50 情報システム 432~435		13:10~13:40 臨床化学12 186~188	13:40~14:20 臨床化学13 189~192	13:00
									13:40~14:20 血液12 148~151			13:50~14:30 微生物13 44~47	13:50~14:30 微生物20 71~74	13:50~14:30 その他 532~535				14:00
												15:00						
												16:00						
												17:00						
												18:00						
												19:00						

学会を終えて 学術企画を運営して頂いた学術部門長の皆様より一言

学術特別企画 シンポジウムでの熱心な討論の様子



日臨技 横地副会長



【臨床一般部門】

この度、第67回日本医学検査学会において、行列ができるスキルアップ研修会、教育講演、シンポジウムの3つの企画を計画、進行するという大役を初めて務めさせていただきました。当初は何から手をつけるべきか分からないことばかりで途方に暮れることもありましたが、部門員やその他の他施設の先生方のご助力もあり、無事に3企画を完遂することができました。この得難い貴重な経験をもとに今度は自分が誰かの助けとなればと思います。

山村 一志（株式会社LSIメディエンス） 川井 孝太（磐田市立総合病院）

【臨床検査総合部門】

総合部門では、「検体採取業務の院内実施の現状と問題点」というテーマでシンポジウムを企画しました。鼻腔・咽頭ぬぐい液、皮膚、便について、臨床検査技師が採取を行っている施設の先生方にご講演いただきました。実際に検査を行っている臨床検査技師による検体採取が、検査結果の質を高める要素であるということを、みなさんに理解していただくよい機会になったと思っています。

弘島 大輔（浜松市リハビリテーション病院） 大井 直樹（磐田市立総合病院）

【病理細胞部門】

全国学会という大きなゴールに向けて右も左もわからない中、部門員同士で知恵や人脈を出し合ううちに少しずつ企画の基盤が整い、柱が太くなっていくことを実感しました。企画は参加者があって初めて生きるものであり、そのニーズに沿った立案の難しさを再認識しました。成功も失敗もありましたが、部門内でこの経験を共有しながら、患者さんが安全で安心する病理診断に寄与できる学術活動を今後も継続していきたいと思っています。

山田 清隆（静岡赤十字病院） 渡邊 広明（富士市立中央病院）

【生物化学分析部門】

スキルアップセミナーは全国学会史上初の生物化学分析部門企画を浜松という地方の田舎で開催する冒険に対して臨床化学会の先生に手探りでアポをとり勇気と希望を振り絞って頑張り、大人数の受講者を参集する事が出来ました。学会2日目の午前に生物化学分析部門企画のシンポジウムと教育講演がバッティングして参加者から多くのクレームを浴びましたので被らないスケジュールを最優先するべきと思いました。

春口 公哉（磐田市立総合病院）

【染色体遺伝子部門】

Let's go this way ～その道を進もう～ 大会テーマに相応した学会が開催されたこと、大会長はじめ事務局の皆様のご尽力によるものと存じます。染色体遺伝子部門においても、スキルアップセミナー、教育講演、シンポジウムにはそれぞれに多くの参加をいただき、熱心に聴講され活発な質疑応答へとつなげてくださいました。各企画に協力くださった先生方に感謝致すばかりです。

大棟久美江（静岡赤十字病院） 阿部 将人（県立静岡がんセンター）

【臨床血液部門】

浜松で開催された日本医学検査学会が大盛況で行われ、参加者にとって実りのある学会として無事終了したことは、少しでも学会運営に携わることのできたスタッフの一人として大変誇らしく思います。事前準備等に尽力されたスタッフの皆さんには感謝しきれません。私自身、今回の学会で多くのことを学ぶことができました。この経験を活かし、今後の学術活動にも役立てていきたいと思っています。

大橋 勝春（三島総合病院） 渡邊 正博（浜松医療センター）

【臨床微生物部門】

数年前に浜松での学会開催の決定が通告され、スキルアップセミナーの企画がそれぞれの部門に一任されたところから始まりました。

同時にシンポジウムと教育講演のテーマ決定が必要だったことから、スキルアップセミナーのテーマ選定にとっても苦慮したことを覚えています。当部門では、「質量分析・PCRがあっても欠かせない従来の同定法」をスキルアップセミナーのテーマにしました。

それぞれのテーマが決まってから、講師・司会の選出、時間枠の決定などいろいろと課題が次から次に出てきました。しかし、当部門員一同は日常業務多忙の中、全国学会の開催に協力できるのは幸運だと「できることはやりますよ」とお互い協力しながら達成できた学会でした。

上村 桂一（中東遠総合医療センター）

【臨床生理部門】

企画にあたり、全国の生理検査担当者が今知りたいことは何か。をまず考えました。当日までは、皆様に足を運んでもらえるか不安もありましたが、立ち見になってしまう企画もあり、大盛況に終わることができました。運営スタッフとして学会に携われたことは非常に貴重な経験でした。この経験を県内の研修会で活かせるよう、これからも努力していきたいと思っています。

杉山 聡（富士脳障害研究所附属病院）





第67回 日本医学検査学会
第12会場、16会場
浜松

学会受付：朝一番の風景



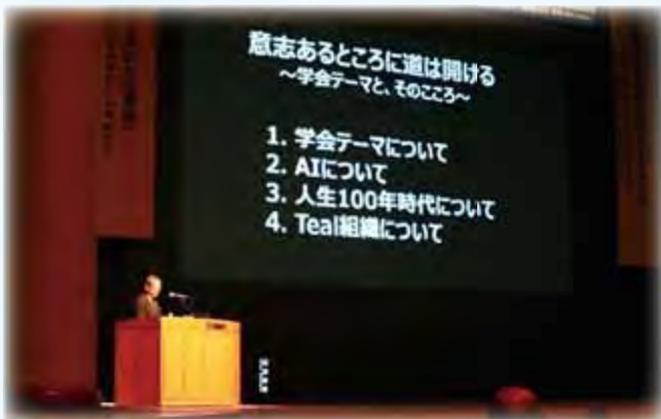
開 会 式



宮島 日臨技会長



山口 学会長



意志あるところに道は開ける
～学会テーマと、そのころ～

1. 学会テーマについて
2. AIについて
3. 人生100年時代について
4. Teal組織について

学会長講演



基調講演の様子



日臨技 宮島会長



会場が一体となった齋藤 孝先生の公開講演



Wマコト先生 教育講演



晝馬先生 招待講演



学会式典と学術表彰の風景



大盛況の情報交換会風景



静岡の銘酒
富士誉



うなぎ茶漬け



浜松餃子



様々な学会のひとコマ



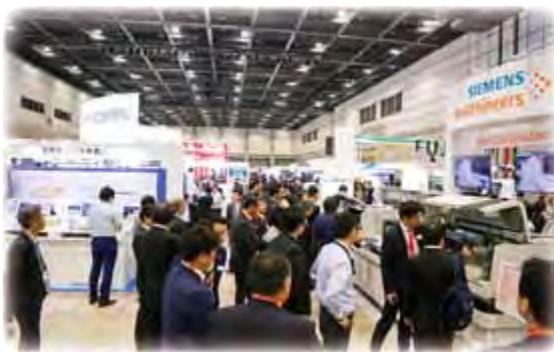
前川先生の
教育講演



米川先生の
教育講演



多企業から出展があった展示会場の風景





大盛況を称え合う
宮島会長と山口学会長



学会終了の一本締
(三宅副学会長)



懇親会一本締を終えて
(伊藤実行委員長)



第67回日本医学検査学会 実行委員（日臨技および静臨技理事）

都道府県別一般演題数

都道府県	微生物	免疫血清	血液	臨床化学	病理	細胞	生理	一般	公衆衛生	輸血	情報システム	遺伝子、染色体	管理運営	教育	チーム医療	その他	総合計
北海道		1		4	3	1	2						1		1		13
青森県																	0
岩手県	1									1						1	3
宮城県	3			1		1	1	1					1	2			10
秋田県			1			1											2
山形県							1								1		2
福島県		2		1													3
茨城県	4	2		1	1		1	1			1	1	1	2			14
栃木県		1		2	1		3	1							1		9
群馬県	1									1						1	3
埼玉県	3	2	1	1	5	1	1	2					1	1			18
千葉県	4	1	2	1			2					1			1		12
東京都	6	10	3	4	3		14	6		2			2		4	2	56
神奈川県	6	1	2	1	2		7	4		3	1	1			4		32
新潟県	2			3	1	1						1	2		1		11
富山県							1			1							2
石川県	1		1				1	1						1			5
福井県		1					2					1			1		5
山梨県								1					1		1		3
長野県	3				1		1	1		1							7
岐阜県	1	1	1	1	2		8	1							1		16
静岡県	10	4	9	1	13	5	23	2	2	4		1	1		6	4	85
愛知県	5	3	8	2	8	2	13	4	2	1	1	1	5	8	7		70
三重県			1	1	1		3	1					1				8
滋賀県	1				1		1								1		4
京都府													1		1		2
大阪府	3	1	3	2	3		5	3		7	1		1	1	3		33
兵庫県	5	1		2	3		1	2		1		2	3	1			21
奈良県	2	1	1	3	3					2			1				13
和歌山県	2	1															3
鳥取県																	0
島根県							1										1
岡山県	1			2	1		4			1			1		1		11
広島県	1		1		2		2										6
山口県	1	1		3			1	1				1		1	1		10
徳島県	1			1													2
香川県			2	1													3
愛媛県	1		1				2			1							5
高知県							2	1									3
福岡県	2	3	3	2			8						1	1		1	21
佐賀県	2						1			1							4
長崎県	1				1					1					1		4
熊本県	1			1			2										4
大分県			1														1
宮崎県					1												1
鹿児島県														1			1
沖縄県	2							1							1		4
日本臨床衛生検査技師会	1		1				2										4
日臨技賛助会員	1																1
日本衛生検査所協会				1													1
日本臨床検査薬協会	2																2
日本臨床検査学教育協議会																	0
日本臨床検査医学会							1						1		1		3
学生		1			2		1										4
その他																	0
合計	80	38	42	41	58	12	118	34	4	28	4	10	25	19	39	9	561

展示発表会出展会社一覧

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| アークレイ株式会社 | デンカ生研株式会社 |
| アイ・エム・アイ株式会社 | 東ソー株式会社 |
| アイ・エル・ジャパン株式会社 | 東洋羽毛東海販売株式会社 静岡営業所 |
| アイディールブレン株式会社 | 東洋器材科学株式会社 |
| 株式会社アイディエス | 東洋紡株式会社 |
| アイテック阪急阪神株式会社 | 日水製薬株式会社 |
| 旭電機化成株式会社 | ニッソーボーメディカル株式会社 |
| アジア器材株式会社 | 株式会社日本シューター |
| アボットジャパン株式会社 | 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 |
| アルフレッサファーマ株式会社 | ニプロ株式会社 |
| 株式会社石川コンピュータ・センター | 日本光電工業株式会社 |
| 株式会社イムコア | 日本電子株式会社 |
| 株式会社エイアンドティー | 日本ビーシージー製造株式会社 |
| 栄研化学株式会社 | 一般社団法人日本臨床検査機器・試薬・システム振興協会 |
| 株式会社エスアールエル | バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 |
| エッペンドルフ株式会社 | パルステック工業株式会社 |
| 株式会社エリメントHRC | 株式会社ビー・エム・エル |
| 株式会社LSIメディエンス | 株式会社日立製作所 |
| 株式会社エル・エム・エス | 株式会社日立ハイテクノロジーズ |
| オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社 | フィンガルリンク株式会社 |
| 株式会社オネスト | フェザー安全剃刀株式会社 |
| オルガノ株式会社 | フクダ電子株式会社 |
| 関東化学株式会社 | 富士通株式会社 |
| キヤノンメディカルシステムズ株式会社 | 富士レビオ株式会社 |
| 協和メデックス株式会社 | ブルカー・ジャパン株式会社 |
| 久保田商事株式会社 | プレシジョン・システム・サイエンス株式会社 |
| 株式会社グライナー・ジャパン | ベックマン・コールター株式会社 |
| クリーンケミカル株式会社 | 株式会社堀場製作所 |
| 小林クリエイト株式会社 | 株式会社ミズホメディー |
| サクラファインテックジャパン株式会社 | ミナト医科学株式会社 |
| シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社 | 村角工業株式会社 |
| シスメックス株式会社 | メルク株式会社 |
| 株式会社常光 | 株式会社薬進 |
| ジョンソンエンドジョンソン株式会社 | ヤマサ醤油株式会社 |
| 新菱冷熱工業株式会社 | 株式会社ユーケンサイエンス |
| 株式会社スズケン | ライカマイクロシステムズ株式会社 |
| 積水メディカル株式会社 | ラジオメーター株式会社 |
| 株式会社タウンズ | 和光純薬工業株式会社／富士フィルム株式会社／ |
| チェスト株式会社 | 富士フィルムメディカル株式会社 |
| DSファーマバイオメディカル株式会社 | |
| 株式会社テクノメディカ | |

(五十音順)

学会委員会構成

学 会 長：山口 浩司
 副 学 会 長：三宅 和秀
 実 行 委 員 長：伊藤 喜章
 副 実 行 委 員 長：清水 憲雄, 杉澤きよ美, 直田健太郎
 事 務 局 長：藪田 明広
 学 会 会 計 部 長：豊田 次郎
 会 計 部 長 補 佐：市川千津子

○学会組織委員会

池澤 剛 相山 広美 長沢 光章 丸田 秀夫 横地 常広

○学会運営部会

池澤 剛 伊藤 喜章 藪田 明広 長沢 光章 山口 浩司

○実行委員会

遠藤 三佳 梶間 弘美 勝又 隆子 川口 貴子 佐原 卓夫 榛葉 智之
 鈴木真紀子 須田 達也 都築農夫志 中島 和浩 羽切 政仁 藤原 誠
 松本 誠司 山田 哲司

○学会顧問

川越 功 泉 正和

○査読委員

青島 克子 秋山 貴子 足立 華美 阿部 将人 天野加奈子 雨宮 直樹
 五十島輝美 井出 雅子 伊藤 勇氣 井原 綾那 岩崎 朋弘 上村 桂一
 近江美安子 大井 直樹 大熊 悠樹 太田原慎也 大塚 美和 大野 真一
 大場加央里 大橋 勝春 大棟久美江 尾形 裕以 岡根谷知美 岡本 晴香
 勝又ちとみ 加藤 好洋 亀山 拓哉 萱場 理恵 川井 孝太 川添 由紀
 北畑 友美 栗田 昭 栗田 佑希 黒田 志保 黒山 祥文 斉藤実佳子
 佐野 直子 塩川 一樹 清水美千絵 菅沼 涼平 杉山 聡 杉山 春香
 杉山 弥生 高林 保行 滝浪 雅之 田代 広 玉木 温子 田森 徹
 手老 真弓 富永 祥子 中島 裕美 中野 翔太 名倉 理教 新村 喜明
 原 宜紀 原田 雅章 春口 公哉 弘島 大輔 古田 政敏 本田 勝丈
 増田 容子 松島 江理 三浦 幸恵 村越 大輝 梁瀬 博文 山口 聡子
 山田 清隆 山田 将臣 山村 一志 山本 理恵 吉見太志郎 渡邊 広明
 渡辺 弘美 渡邊 正博

編集後記

平成30年、一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会は創立65周年を迎えました。これを祝福するかのようになり、5月には全国学会が本県で開催されました。このような中、創立65周年記念誌を発刊することとなり、編集作業の統括責任者を仰せつかりました。これまで技師会活動にやや消極的であった私には、「任重くして道遠し」と感じておりましたが、こうして創立65周年記念誌が発刊されることに深い安堵を覚え、喜びを噛み締めております。

今回、記念誌を作成するにあたり、およそ半年間、当会創立50周年記念誌及び他県の記念誌を参考に作業を進めてまいりました。前発刊から15年間の当技師会史を簡潔にまとめ、大きな行事である静岡県での全国学会を盛り込みました。15年間の情報収集とその後の編集作業は、実に変なことでした。何度も技師会事務所へと足を運び、議事録や会報などを閲覧しました。また、作業する職場と自宅におけるPC用ソフトウェアのバージョン違いに起因する問題に何度もぶつかりました。校正を終えたと思っても、抜け落ちたことや間違いなどは本当にないだろうか、と心配は尽きません。予め、お詫び申し上げたいと存じます。

この記念誌が技師会活動などを振り返ることだけでなく、今後の技師会活動に少しでも貢献できれば幸いです。そして、当技師会が70、80周年と続くなか、会員の皆様には大いに活躍され、輝かしい足跡を残して頂くことを切に願います。

最後に、記念誌の編集にあたり、資料などの提供や業務でお忙しい中での編集ならびに文面チェックなどとしてご尽力頂きました、日本臨床衛生検査技師会をはじめとした諸団体及び会員の皆様には心より感謝を申し上げます。

編集統括責任者 須田 達也

資料提供

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 事務局
一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部事務局及び所属技師会

編集担当者

編集統括責任者	須田 達也	裾野赤十字病院		
編集担当責任者	藪田 明広 鈴木 雅人	静岡県立総合病院 富士市立中央病院	松本 誠司 杉澤きよ美	静岡市立清水病院 沼津市立病院
編集担当者	坂根 潤一 鈴木 淳二 勝又 隆子 遠藤 三佳	静岡県立こども病院 藤枝市立総合病院 富士宮市立病院 静岡市立静岡病院	石井 浩崇 佐原 卓夫 本多 讓 磯部明日香	NTT東日本伊豆病院 浜松医療センター 中東遠総合医療センター 静臨技事務所



平成31年3月吉日 印刷
平成31年4月吉日 発行

発行者 一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会
会長 伊藤 喜章

発行 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15
ヴィラセーユー稲川207
一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会
電話 054-287-6337

印刷 みどり美術印刷株式会社



薩埵峠 (静岡市)



弁天島 (浜松市)



茶畑 (掛川市)



駿府城公園 (静岡市)

(写真：本多 譲)